

# 経営（事業）計画書

令和3年度（第48期）



社会福祉法人さつき会

## 法人の経営理念(願うこと)

『私たちは、社会福祉事業を通して地域社会・住民にとってなくてはならない存在であり続ける。』

(趣旨)

社会福祉法人さつき会は、地域や施設において『尊厳にみちた環境で人としてごく当たり前の生活を保障されるべき高齢者』に対して、常に高齢者の立場に立った良質高度な高齢者福祉サービスを提供し、地域から、社会から愛され、信頼される事業主体になることを目指すこと。

## 法人の使命(果たすこと)

『高齢者の自立した尊厳ある、人間らしい生活を守る』

## 法人のビジョン(目指すこと)

- 一 自分が入りたいと思える施設をつくる
- 一 自分が住み続けたいと思える地域をつくる
- 一 自分と仲間が働きやすく働きがいのある職場をつくる

## 法人の介護理念(大切にすること)

- 一 人間尊重  
一人ひとりをかけがえない人間として大切にします
- 一 当事者主体  
その人の人生や生活の主体は、相手にあることを大切にします
- 一 利用者本位  
常に相手の身になり、相手の立場に立って考え行動することを大切にします

## 社 是(求められること)

### 自立(自律)      信頼      創造

#### 一 自立(自律)

自ら考え、自ら判断し、自らの良心と社会的規範に従い行動し、決定する。その結果について自ら責任を持つ。職員一人ひとりが自立(自律)の心を真に理解し、育み、持てる力を十分に発揮することによって、法人の発展と自己実現の達成に結びつけていくことを目指すものである。

#### 一 信頼

法人の持続的な発展のためには、職員相互の信頼関係を大切にし、サービス・活動を通して顧客満足度をより一層高め、お客様の信頼を得ることです。

#### 一 創造

経営は創造であり、各職員一人ひとりが常に進取の心を養い、自己啓発を進め、知恵と創意と工夫によって優れた介護の技法を創造するとともに、職員の力を結集して豊かで安心できる高齢社会に貢献し得る介護サービスを創出していくことである。

## 社 訓(心がけること)

### 1. 常に主体性をもって行動します。

私たちは、自らの置かれた境遇や立場や状況を他人や私たちを取り囲むもののせいにするのではなく、先ず、その中で自分たちに何ができるかを考え行動します。

### 2. 常にお客様の身になって行動します。

私たちは、お客様を大切にします。ご利用者・お客様のニーズの把握に努め、具体的な内容として居室の清潔性、同居者との相性、入浴回数、食事内容、食事時間、職員の対応等種々多様に考えられます。それらのニーズに即応した良質な介護サービスが提供できるよう介護技術の専門性を磨き、気配りし、利用者・お客様に満足していただけるようお客様の身になって行動します。

### 3. 常に目的をもち計画的に行動します。

私たちは、計画、目的、反省、改善のないところには進歩はあり得ないことを肝に銘じ、計画・実践・反省評価のサイクルを全ての業務・活動の原則とし、1日・1週間・1か月・1年の単位において計画し、最終の姿(目的)を描いてから行動します。

### 4. 常に人を理解してから、理解されるよう努めます。

私たちは、自分たちのことを理解してもらおうとする前に、相手の言い分を十分理解しようと努めます。

### 5. 常に人と人との交わりの中で、相乗効果を発揮するよう努めます。

私たちは、自分の考えと異なる考えを柔軟に受け入れ、相違点を尊び、お互いのいいところは認め伸ばし、弱いところは合い補いながら、相乗効果が発揮されるよう努めます。

### 6. 常に重要事項を優先するよう、心がけます。

私たちは、日々の活動の中で、緊急ではないが、重要なことを意識的にスケジュール化して活動します。日々の学習であったり、将来を見据えた若手職員の育成であったり、つまり長いスパンで物事を考えた場合に重要なことをさします。

### 7. 常に相手と自分が共に満足する結果が得られることを考えて行動します。

私たちは、皆のために十二分な結果が得られることを信じ、自分だけの満足だけではなく、相手(時には顧客であり、上司であり、部下であり、同僚であり、協力者である)の満足を考え、双方にとって有益で満足のいく結果をめざします。

### 8. 常に自分自身を研く努力をします。

私たちは、自分たちの生活において、肉体的・知的・社会的・情緒的・精神的に自分のもっている能力を維持し、伸ばすための時間を意識してつくります。

第5次<2019-2021> さつき会中期経営3か年計画(基本方針・職場目標・重点目標・重点事項)

基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

全事業所職場目標

『仕事の目的と最適な手段を考えて、自ら進んで行動する』

| 1. 多様な人材採用・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備   | 2. 業務の可視化による効率化と介護ロボット・ICT等の活用による業務省力化   | 3. 利用者・家族・地域住民の健康・生きがいがつくりと良質高度なチームケア(サービス)の提供   | 4. 適性利益の確保と内部統制の強化  |
|--|--|--|---|
| (人材育成)   | (業務改善)   | (利用者・家族・地域へのサービス)  | (業績・財務)   |
| <p>多様な人材(外国人・アクティブシニア等)の採用と働き方の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)生活アシスタントの養成・採用・定着と介護の入門的研修の実施</li> <li>・外国人介護福祉士人材育成事業への参画と受入体制づくり</li> <li>・社会福祉士養成校(旭大・名寄)からの実習受入</li> <li>・新たな就業時間・雇用形態についての検討</li> </ul> | <p>社内業務の可視化・基準化・標準化によるムリ・ムラ・ムダのない業務体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の仕事と業務プロセスの見える化の推進(全職員)</li> <li>・見える化された後の部門毎によるムダ取り・偏り改善の推進</li> </ul>                             | <p>施設・在宅における自立支援・中重度化対応・重症化予防の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おとしよりと職員の笑顔が増える暮らし・楽しみづくり</li> <li>・施設・在宅部門におけるトータルケアの強化</li> <li>・食事サービスの質向上</li> <li>・医療体制及び介護・医療連携の強化</li> </ul> | <p>在宅サービスの利用者数の増加と稼働率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅・短期・通所・訪問・小規模の魅力ある事業所づくり</li> <li>・短期・通所・訪問の旭川市への市場拡大</li> <li>・特養・GH待機者の確保</li> <li>・町内の潜在ニーズの掘り起こし、効果的なPR、地域包括支援センターとの連携強化</li> </ul> |
| <p>さつき会のより良い未来を牽引する中核人材(ネクストリーダー・幹部候補)の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつき会の未来を創るネクストリーダー研修会の実施</li> <li>・総合職・専任職の仕事の明確化</li> <li>・施設・事業所のケアと運営を担う幹部候補の育成</li> </ul>  | <p>介護ロボット・ICT・IOT活用による業務省力化・情報連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹ケアシステム(ワイズマン)の入替の検討・実施</li> <li>・在宅におけるICTによる介護・医療連携の推進</li> <li>・目的と期待効果を明確にした介護ロボットの導入の研究・試用</li> </ul> | <p>住民参加による元気創り・生涯活躍の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民参加型介護予防事業の充実</li> <li>・友の会・サポーター・地域食堂等担い手の活動支援と協力</li> <li>・各事業所の地域交流スペース等の有効活用</li> </ul>                                    | <p>事業所毎の実行性ある予算管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所毎による予算編成と管理</li> <li>・財政健全化推進チームの活性化</li> </ul>  |
| <p>職員の成長とレベルアップを図るための施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・階層別研修教育プログラムの作成</li> <li>・チャレンジ・公募による研修・委員会活動の推進</li> <li>・面談制度の見直し</li> <li>・介護力向上研修の強化・充実</li> </ul>  | <p>将来を見据えた人員配置の見直しと最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の仕分けと専門職・非専門職の定数配置の見直し</li> <li>・人事異動の定期化</li> </ul>  | <p>安心・快適な居住環境整備と防災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷹栖さつき苑の改修・改築・増床等の基本構想の策定</li> <li>・防災用品の整備</li> <li>・中期修繕計画</li> <li>・地域(行政・地域住民等)との連携</li> </ul>                                | <p>既存事業の強化・拡張及び新規事業開発の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種加算の取得</li> <li>・鷹栖地区高齢者住宅・サービス拠点の検討(統廃合含む)</li> <li>・混合介護・独自事業等の検討・試行</li> </ul>   |
| <p>安心と希望を持ち長く働ける職場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルスに関わる研修の企画と実施</li> <li>・有給休暇・リフレッシュ休暇の取得推進</li> <li>・キャリアパスと給与制度の見直し</li> </ul>  |  |  |   |

## 1 第5次中期経営3か年計画 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

## 2 令和3年度 全事業所職場目標

『仕事の目的と最適な手段を考えて、自ら進んで行動する』

社会がさつき会に求めていることは、「良い仕事」である。さつき会の仕事の目的は、「良いケア（サービス）を提供してお客様（利用者・家族・地域住民）に喜んでもらうこと」「良い職場をつくり、職員が働きやすく・働きがいを得られること」「良い経営を行い、社会から信頼・信用されること」である。

一人ひとりの職員は、常に自分が担当する仕事の目的と成果を意識するとともに、生産性・効率性の向上が図られる仕事の方法を自ら進んで考え行動し、「良いケア・良い職場・良い経営」の実現を図る。

## 3 令和3年度 事業活動のポイント

### (1) 多様な人材採用・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備

- ① プロフェッショナルな介護従事者の安定確保を図るため、外国人介護福祉士人材育成事業への参画を図り、令和3年4月からさつき会に入職する外国人介護従事者の受入及び定着支援の体制づくりに着手する。
- ② アクティブシニアの就労・生涯活躍と介護の仕事のイメージチェンジを図るため、鷹栖町との連携による「介護の入門的研修」の実施及び介護以外の仕事を担当する「ケアアシスタント」の採用及び定着支援を推進する。
- ③ 新規学卒者及び転職者希望者を対象とした、合同企業説明会に参加するとともに、法人独自の入社説明会・インターシップを開催する。  
また、若手職員を巻き込みながらSNS・オンラインによる法人の魅力発信を日常化し、LINE・オンライン等による求職者からの質問・申込みに対応する。
- ④ さつき会の経営理念・ビジョンを理解・共感し、さつき会をより良くするために、主体性を持って行動する中核職員を育成するために「さつき会の未来を創るネクストリーダー研修会」を実施する。
- ⑤ 利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育

プログラムを階層別<新任職員(入社時研修・フォローアップ研修)、総合職研修、専門職研修、専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修>に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。

- ⑥ 定期面談において部下が考える目標、上司が期待する目標を相互に確認した上で、その期の個人目標を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。令和3年度は、一般職2級を除く常勤全職員が実施する。
- ⑦ 対人援助による感情労働の職種が多い事業特性を踏まえて、メンタルヘルス研修の実施、有給休暇・リフレッシュ休暇の取得推進を通じて、安心と希望を持ち長く働ける職場環境の整備を図る。
- ⑧ 「介護職員処遇改善加算」「特定介護職員等処遇改善加算」を活用し、一定の経験と資格と技能を有する者、指導的役割を担う介護職員、介護職員以外の職員等に対して処遇改善を図るとともに、キャリアパスと給与制度の見直しに着手する。

## (2) **介護ロボット・ICT等の活用と業務の可視化による効率化による業務の省力化**

- ① 介護従事者の事務・記録作業の軽減・科学的介護の推進・職員間のコミュニケーション活性化・介護従事者の魅力の向上を図るために介護ロボット・ICT等の導入を推進する。
- ② 組織横断的な「(仮称)ICT推進委員会」を設置し、職員への効果的な情報提供、タブレット端末・パソコンなどの電子機器の活用を推進する。
- ③ 有限の職員体制においてサービスの質の維持・向上を図るために、全ての職員が「仕事の見える化」(業務の可視化)を行い、業務の効率化と改善の基礎資料を作成する。

## (3) **利用者・家族・地域住民の健康・生きがいづくりと良質高度なチームケア(サービス)の提供**

- ① ケアの仕事の原点は、利用者の笑顔と元気が見られることである。短時間でも効果のあるアクティビティを取り入れ、利用者職員がともに笑顔になれる時間を意図的・計画的につくり、それらをケアの仕事で得られる魅力として、アクティビティ委員会・若手職員等が中心となりながらSNSを活用し定期的に発信する。
- ② 全事業所においてトータルケアシステム(多職種協同による重度化

対応・重症化予防の仕組み)を運用し、最適化したケアの提供と重症化予防に務め、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかに笑顔のある暮らしを支援する。

- ③ 自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より安全に食べることを実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事サービスの質向上を図るとともに、適正な予算の下に給食サービス業務が行われるよう業務の効率化・省人化を図る。
- ④ 鷹栖町内で高齢者介護に関わる情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ出向き介護講座やサロン(地域の茶の間)の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に「高齢期における健康・介護リスクと予防法」についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。
- ⑤ 施設が平常時から災害時まで、安心・快適に暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行する。
- ⑥ 施設のマンパワーだけで利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守ることは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上(生活の質向上)を図るための「協力者」として、更なる意見・協力を得て共に活動する。
- ⑦ 今後、特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑が、さらなる安全性・快適性と施設機能の向上を図るとともに、法人が健全かつ安定した経営を維持していくために必要となる改築・増床等の基本構想の策定に着手する。

#### (4) 適性利益の確保と内部統制の強化

- ① 居宅・通所・訪問・小規模・短期入所の在宅サービスは、前期高齢者の需要増が見込まれる事業である。団塊世代のニーズを満たす魅力ある事業所づくりと新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、利用者数の増加と稼働率向上を図る。
- ② 社会福祉法人は、公益性の高い法人であり法令遵守、不正防止、組織統治、業務の効率化が要求されている。「人に仕事がつくのではなく、仕事に人がつくようになる」ために、ルール(マニュアル、手順書、チェックリスト)を整備し、チーム内で仕事のシェアと定期的なジ

ョブローテーションを行う。

- ③ 各事業所に部門計画・活動計画の達成と適正収支差額（事業活動収支差額10%）を確保するために、各課長が予算管理（①計画と編成、②予算に基づく執行、③予算・実績の差異分析と評価、④改善活動への提案と実行）を実施する。
- ④ 全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、法人全体の事業活動収入の10%を事業活動収支差額72,619,900円）に掲げ、その運営管理（マネジメント）をつかさどる月次業績検討会議の活性化を図る。
- ⑤ サービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。
- ⑥ いかなる環境下においても、全ての事業所において「良いケア・良い職場・良い経営」の実現を図り維持するため、その羅針盤となる第6次中期経営3か年計画の策定に着手する。

### 3 計数計画（事業活動収入）

単位:千円

| 事業所                        | 令和2年度<br>決算見込 | 令和3年度<br>当初予算 | 差異      | 予算上の<br>積算根拠  | 業績管理上の<br>目標値 |
|----------------------------|---------------|---------------|---------|---------------|---------------|
| 法人本部                       | 7,714         | 6,816         | -898    |               |               |
| 特養ホーム鷹栖さつき苑                | 215,664       | 212,707       | -2,957  | 稼働率96%        | 稼働率98%        |
| ショートステイ                    | 35,561        | 31,915        | -3,646  | 稼働率85%        | 稼働率92%        |
| デイセンターさつき苑                 | 66,988        | 65,958        | -1,030  | 1日平均24名       | 1日平均27名       |
| 介護センター                     | 24,498        | 25,166        | 668     | 利用者平均175名     | 利用者平均180名     |
| GHなごみの家                    | 87,048        | 84,712        | -2,336  | 稼働率97%        | 稼働率98%        |
| SHなごみの家                    | 65,934        | 65,413        | -521    | 登録者平均22.5名    | 登録者平均23名      |
| 特養ホームぬくもりの家えん              | 106,312       | 102,382       | -3,930  | 稼働率97%        | 稼働率98%        |
| SHぬくもりの家えん                 | 57,693        | 55,848        | -1,845  | 登録者平均23.5名    | 登録者平均23.5名    |
| サービス付き高齢者向け住宅<br>ぬくもりの家たかほ | 27,650        | 26,714        | -936    | 稼働率95%(17.1名) | 稼働率97%(17.4名) |
| ヘルパーステーション                 | 39,697        | 37,184        | -2,513  | 月間訪問900件      | 月間訪問900件      |
| 地域介護予防活動支援事業               | 4,620         | 4,634         | 14      |               |               |
| 地域リハビリテーション活動支援事業          | 1,044         | 1,060         | 16      |               |               |
| 介護予防普及啓発事業                 | 3,945         | 4,303         | 358     |               |               |
| 地域交流スペース運営事業               | 1,512         | 1,387         | -125    |               |               |
| 合計                         | 745,880       | 726,199       | -19,681 |               |               |



#### 4 第5次中期経営業績計画

| 事業所名                        | 5次計画 | 令和<br>元年度  | 令和<br>2年度  | 令和<br>3年度   |
|-----------------------------|------|------------|------------|-------------|
|                             | 4次実績 | 平成<br>28年度 | 平成<br>29年度 | 平成<br>30年度  |
| 特養ホームさつき苑稼働率                | 5次計画 | 98.0%      | 98.0%      | 98.0%       |
|                             | 4次実績 | 98.5%      | 98.0%      | 97.0%       |
| ショートステイ稼働率                  | 5次計画 | 95.0%      | 95.0%      | 95.0%       |
|                             | 4次実績 | 96.1%      | 97.0%      | 97.0%       |
| デイセンター1日平均利用者               | 5次計画 | 25人        | 27人        | <u>27人</u>  |
|                             | 4次実績 | 23.3人      | 22.1人      | 22.8人       |
| 介護センター年間平均利用者実人数            | 5次計画 | 135人       | 145人       | <u>175人</u> |
|                             | 4次実績 | 124人       | 137人       | 129人        |
| グループホーム稼働率                  | 5次計画 | 98.0%      | 98.0%      | 98.0%       |
|                             | 4次実績 | 98.1%      | 98.3%      | 98.3%       |
| 小規模多機能なごみの家<br>年間平均登録者人数    | 5次計画 | 21.5人      | 22人        | 23人         |
|                             | 4次実績 | 21.1人      | 19.3人      | 16.8人       |
| 特養ホームぬくもりの家えん稼働率            | 5次計画 | 98.0%      | 98.0%      | 98.0%       |
|                             | 4次実績 | 99.0%      | 99.3%      | 97.0%       |
| 小規模多機能ぬくもりの家えん<br>年間平均登録者人数 | 5次計画 | 23.5人      | 23.5人      | 24人         |
|                             | 4次実績 | 20.9人      | 20.1人      | 22.0人       |
| サービス付き高齢者向け住宅稼働率            | 5次計画 | 94.0%      | 94.0%      | 94.0%       |
|                             | 4次実績 | 0%         | 94.0%      | 100%        |
| ヘルパーステーション<br>月間延べ訪問回数      | 5次計画 | 900回       | 950回       | 900回        |
|                             | 4次実績 | 609回       | 755回       | 762回        |

#### 5 組織機構

別紙1「組織機構図」のとおり

#### 6 要員計画

期首人員 156名（正職89名、嘱託1名、パート66名）

期末人員 168名（正職91名、嘱託1名、パート76名）

(1)令和3年4月1日付けで、常勤介護職員7名（専門学校卒4名、大学卒2名、中途採用1名）を新規採用する。

- (2)職員一人ひとりの成長と顕在化していない能力の発現を期待して、積極的に事業所間の異動・研修交流を進める。
- (3)法人全体の目標離職率を5%以下とする。

**7 部門別事業計画書**

別紙2「事業計画書（部門計画）」のとおり

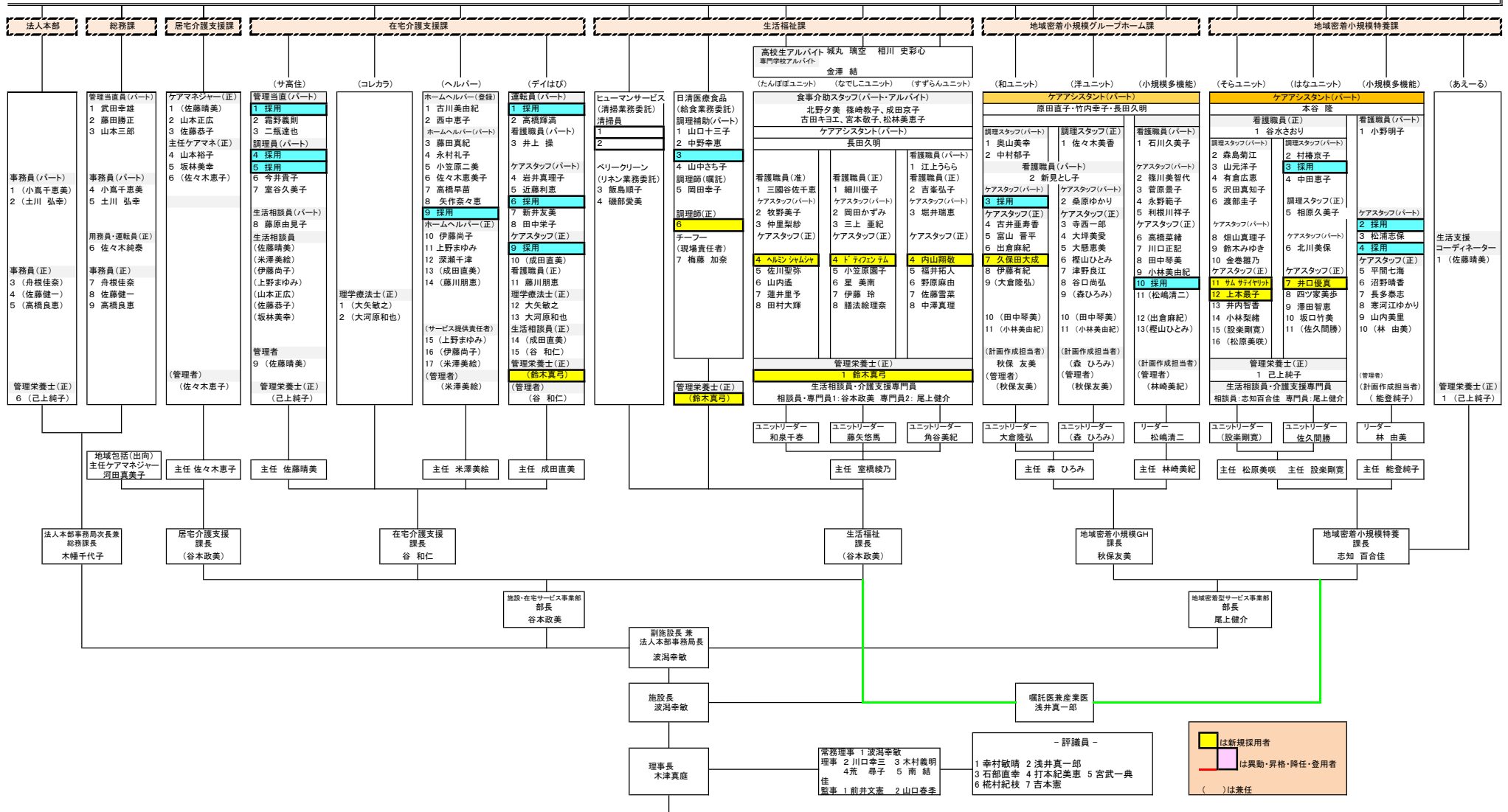
**8 年間行事・研修予定**

別紙3「令和3年度 行事・研修予定表」とおり

**9 収支予算書**

別紙4「資金収支予算書（当初）」「事業活動計算書（当初）」のとおり

『自立した尊厳ある人間らしい生活を保障されるべき高齢者』



**【法人の経営理念】**  
「私たちは、社会福祉事業を通して地域社会・住民にとってなくてはならない存在であり続ける。」

**【法人の使命】**  
「高齢者の自立した尊厳ある、人間らしい生活を守る」

**【法人のビジョン】**  
「自分が入りたいと思える施設をつくる」  
「自分が住みたいと思える地域をつくる」  
「自分と仲間が働きやすく働きがいのある職場をつくる」

**【法人の介護理念】**  
一人間尊重(一人ひとりをかけがえのない人間として大切にします)  
当事者主体(その人の人生や生活の主体は、相手にあることを大切にします)  
利用者本位(常に相手の身になり、相手の立場に立って考え行動することを大切にします)

**【社是】**  
自立(自律) 信頼 創造

事業所名(部署)

総務課

## 1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

## 2. 重点目標

- (1) 笑顔とやさしさ・思いやりのある心のこもった窓口対応に努めます。
- (2) 良質高度な総務サービスの提供に努めます。
- (3) 利用者本位の生活空間の提供に努めます。
- (4) 働きやすい職場環境づくりに努めます。

## 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動  | 取組み事項                     | 取組み内容  | 新規/継続 | 担当者             |             |
|-----|-----------|---------------------------|--|-------|-----------------|-------------|
|     |           |                           |  |       | 主査              | 補佐          |
| 1   | (1)(3)(4) | 施設環境の維持管理                 | ①全事業所の建物・付属設備・車両等の定期点検及び必要な営繕を計画的に行うとともに、環境点検シートに基づく点検を実施する。<br>②おもてなしの心を表すため、来客者への接遇対応、毎週実施している玄関及び大ホールの清掃並びに環境整備を継続して行う。さらに四季のしつらえ、新規入居者への受入時対応充実。<br>③担当制による各施設・事業所の物品庫等の整理・整頓を推進する。(備品台帳に基づく現品確認を実施する) | 新規/継続 | 佐々木<br>高橋<br>舟根 | 全職員         |
| 2   | (2)(3)    | 災害対策・感染症対策                | ①防災用品・備蓄品の完備及び各種災害訓練(非常連絡網確認訓練含 各拠点年2回)の実施。<br>②地域住民・行政等との連携による、実効性のある災害対策の組織構築を行う。<br>③感染症対応事務の推進及び感染症対策物品の確保・整備実施。   | 新規/継続 | 木 幡             | 高 橋・<br>佐々木 |
| 3   | (2)(4)    | 仕事の見える化の推進<br>(業務推進体制の構築) | ①朝会及び課内定例会議により、課員の業務スケジュールを確認し、効率的・安定的な業務の推進を図る。<br>②各事務担当職員不在時においても、業務を推進できるように必要なマニュアル(ボランティア受け入れマニュアル、利用料金受領マニュアル、労務管理事務マニュアル等)を整備して事務処理方法の標準化と効率化を図る。<br>③業務分担を変更し、課員全体で本部・総務課事務を推進できる体制を確立する。         | 新規/継続 | 木 幡             | 全職員         |
| 4   | (1)(4)    | 働きやすい職場づくり                | ①有給休暇の計画な取得を推進する。(リフレッシュ休暇の積極的取得(最低7日間))<br>②衛生委員会の設置及び開催<br>③職場環境改善(施設・設備・車両・備品類の日常的な点検・整備等)を行う。  | 新規/継続 | 佐藤<br>佐々木       | 木 幡         |

### 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動  | 取組み事項                                | 取組み内容   | 新規／継続 | 担当者      |     |
|-----|-----------|--------------------------------------|---|-------|----------|-----|
|     |           |                                      |   |       | 主査       | 補佐  |
| 5   | (2)       | 会計事務の適正処理                            | ①経理規程に基づき、適正な事務処理を行う。<br>②各事業所の予算管理を適正に推進するため、担当課長との連携を強化する。<br>③物品購入事務処理等会計処理の統一化を推進する。  | 継続    | 舟根       | 木幡  |
| 6   | (4)       | 職員全体研修                               | ①職員全体研修を体系化し、計画に基づき確実に実施する。(交通安全研修・メンタルヘルス研修・接遇研修・職員育成研修等)<br>②総務課職員が講師となって研修を実施する。(各事業所単位実施)   | 新規／継続 | 木幡<br>高橋 | 全職員 |
| 7   | (1)(2)(4) | 職員の資質向上のため研修受講・資格取得並びに課内会議・課内研修の定期開催 | ①積極的に外部研修を受講し、受講職員による伝達研修を実施する。<br>②積極的に業務に関連する資格取得する。(資格に関する情報を得る)<br>③定期的に課内会議開催し、課員内で積極的な情報交換を実施する。<br>④定期的な課内職員研修開催(良質高度な総務サービス提供に向けて、法人・総務部門職員に求められる役割等) | 新規／継続 | 全職員      | 木幡  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 法人本部

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容  | 実施担当者 | 4月            | 5月  | 6月   | 7月  | 8月  | 9月   | 中間評価   | 10月  | 11月  | 12月                                      | 1月  | 2月  | 3月  | ゴール(達成目標)   | 最終評価 | 評価内容 |
|---------|----------|---|--|-------|---------------|---|--|---|---|--|--|--|--|--|---|---|---|---|------|------|
| 1       |          | 職員の成長とレベルアップを図るための研修計画の策定・実施と資格管理の一元化。  | 社内研修の計画・実施・管理。   | 尾上    | 新任職員研修<br>計画  | 年間研修計画作成<br>新任リーダー研修<br>総合職昇格試験                         | 新任総合職研修<br>基礎介護力向上<br>研修打ち合わせ  | 基礎介護力向上<br>研修(ダンス<br>ファーム)  |   |  |  | 基礎介護力向上<br>研修(食事)                              | 総合職昇格試験<br>② 基礎介護力向上<br>研修(排せつ)  | 新任総合職研修<br>基礎介護力向上<br>研修(上級)①            | 基礎介護力向上<br>研修(医療)                                 | 基礎介護力向上<br>研修(認知症)                                | 基礎介護力向上<br>研修(上級)②  | 研修計画の策定と計画に基づいた研修の実施。<br>人材育成システムによる研修・資格情報管理。  |      |      |
| 2       |          | 人材育成システムを活用した職員研修・資格管理。   | 人材育成システムを活用した職員研修・資格管理。  | 尾上    | 資格関連研修の<br>実施 | システム操作確認<br>31-介護支援専門<br>員実地試験申し込み<br>確認                | 人材育成システム<br>資格情報入力<br>ケアマネ試験受験<br>対策講座   | 研修予定・実施情<br>報の入力  | 12-介護福祉士<br>受験申し込み<br>社会福祉士受験<br>申し込み   | 社会福祉士受験<br>対策講座  |  | 10-介護支援専門<br>員試験                               |  | 31-介護福祉士<br>国家試験(筆記)                     | 社会福祉士<br>国家試験                                     | 26-介護福祉士<br>合格発表                                  | 介護支援専門員、介護資格、管理者関連<br>資格など定着上必要とされる資格・研修を<br>一元管理し、もれなく、計画的に資格の取得<br>ができるようにする。 |   |      |      |
| 3       |          | 外国人人材の受け入れ及び定着を支援する。  | 外国人スタッフの日常生活と仕事をサポートするための外国人サポートチーム(B-Pro)の発定・運営。<br>・定着支援<br>・交流やイベント参加<br>・介護福祉士試験サポート   | 尾上    | 計画            | 日本語能力試験<br>①申し込み  | B-Pro会議(目的<br>年間計画の策定)   | B-Pro会議②<br>(交流会について)<br>4日本語能力試験<br>①<br>買い物支援   | 買い物支援<br>外国人スタッフとの<br>交流会   | 買い物支援<br>日本語能力試験<br>②申し込み<br>B-Pro会議③  |  | 福寿祭参加<br>買い物支援                                 | 買い物支援<br>B-Pro会議④  | 5日本語能力試験<br>②<br>買い物支援                   | 31介護福祉士国<br>家試験<br>買い物支援<br>B-Pro会議⑤              | 買い物支援<br>冬のイベント                                   | 買い物支援<br>新採用スタッフ引<br>越①(R3年度はな<br>し)<br>B-Pro会議⑥                                | ・B-Proの発定と運営。<br>・外国人スタッフが安心して生活し働くことが<br>できる。<br>・交流イベントの実施。   |      |      |
| 4       |          | 外国人介護人材育成支援協議会の会議・イベントへの参加。<br>・特定技能実習人材の受け入れに関する業務。(アムジャパン、オノデラユーザープラン)  |  | 尾上    | 計画            | 15名学生歓迎交<br>流会(東川)                                      | 19名学生歓迎交<br>流会(東川)   | アムジャパン利<br>用申し込み  | 4.5卒業生奨学生<br>セミナー(旭福等)  |  |  |  |  |  |   |   |   | ・外国人介護人材育成支援協議会主催の<br>会議・交流会等の参加と関係づくり。<br>・特定技能実習生の受け入れに向けた情報収集<br>と準備。  |      |      |
| 5       |          | 介護ロボット・ICTの推進により業務の効率化と職員の負担軽減を図る。  | ICT推進チームの発定・運営。<br>・新介護情報システムの導入・運用<br>・オンライン会議研修の導入について<br>・最新のICT機器の情報収集と導入・活用<br>・LINEWORKSの活用<br>・スタッフのデジタルリテラシーの向上<br>・ペーパーレス化の取り組み | 尾上    | 計画            | ICT推進チーム設<br>置要綱の策定                                     | ICT推進チームの<br>発定(目的と年間<br>計画の策定)  | オンライン研修・会<br>議について  | 介護情報システム<br>勉強会①<br>(概説)  | 介護情報システム<br>勉強会②<br>(新介護情報シス<br>テムの構成につい<br>て)   |  | ICT先進施設見学<br>予定                                | 新介護情報シス<br>テム勉強会③<br>(新介護情報シス<br>テム移行につい<br>て)                               | 次年度ICT関連専<br>門研修・予備化<br>職員向けシステム<br>勉強会④ |   |   |   | ・ICT推進プロジェクトチームの発定と運営。<br>・オンライン研修導入について検討す<br>る。<br>・令和3年度導入予定の介護情報システム、<br>介護ロボットの活用普及・評価と検証。<br>・ICT取り組み先進施設の視察(または勉強<br>会)の実施。<br>・スタッフのデジタルリテラシーの向上とICT<br>機器の活用による業務負担の軽減。<br>・システム導入後の紙の使用量削減(前年<br>比-5%)。 |      |      |
| 6       |          | ・新介護情報システムの導入と導入事務・運用支援。<br>・シルエット見守りセンサの使用検証<br>・科学的介護推進システム(LIFE)運用の定着支援。<br>・LINEWORKSの運用・管理。                            |  | 尾上    | 計画            | LIFE導入・運用開<br>始<br>LINEWORKSでの<br>入職・退職職員の<br>登録と削除(随時) | LIFE関連情報入<br>力(初月)<br>新介護情報シス<br>テム運用(決定)<br>LINEWORKS活<br>用の情報収集・利<br>用促進(継続) | ICT導入補助金申<br>請事務(調査)<br>LIFE(3ヶ月評価)<br>WMと新システム<br>への連携データ確<br>認                        | WMへ基本情報入<br>力(～11月完了)<br>シルエット見守り<br>センサの運用・検証<br>(仮)   | LIFE経過措置(10<br>日まで)<br>1～食費改定  |  | ICT導入補助金申<br>請事務(本申請)                          | LIFE(9ヶ月評価)<br>介護情報システム<br>契約<br>PCタブレット品<br>LINEWORKSの利<br>用に関する職員ア<br>ンケート | システム移行①                                  | システム移行完<br>了。新システム運<br>用開始。<br>システム操作ファ<br>ローアップ① | システム移行完<br>了。新システム運<br>用開始。<br>システム操作ファ<br>ローアップ② | LIFE(12ヶ月評<br>価)<br>システム操作ファ<br>ローアップ③  | ・新しい介護情報システムと関連機器を導入<br>し職員が安心して運用できる。<br>・シルエット見守りセンサを効果的に活用で<br>きる。<br>・全ての事業所においてLIFEを導入・運用<br>できる。<br>・LINEWORKSの活用により、情報共有が円<br>滑に簡単にできるようになる。<br>※職員アンケートにより、7割以上の職員の<br>良い評価を得る。                           |      |      |
| 8       |          | ・法人内のパソコン・ネットワーク・サーバー、メール等の購入・保守・管理に関すること。<br>・社内データのセキュリティ保護に関すること。<br>・NASからクラウドストレージへの移行。                                |  | 尾上    | 計画            | クラウドストレ<br>ージについての情報<br>収集                              | クラウドストレ<br>ージの選定と設計  | クラウドストレ<br>ージの設計  | NASからクラウド<br>ストレージ契約<br>・データ移行  | 新規パソコン・タ<br>ブレットの選定  | 新規パソコン・タ<br>ブレットの決定  | パソコン・タブレ<br>ットの発注・シス<br>テム構成                   | パソコン・タブレ<br>ットの設置  |  |   |   |   | ・パソコンやネットワークの管理について職<br>員が安心して利用できること、業<br>務の効率化を図ることができること。<br>・スタッフにICT機器を活用することで、適切<br>に管理することができる。  |      |      |
| 9       |          | リクルート・広報活動の充実・推進。<br>働きやすい職場づくりと法人のブランディング戦略推進。   |  | 尾上    | 計画            | 求人リーフレット<br>掲載用写真の撮影                                    | 公式LINEの開設<br>HP応募専用<br>フォームの作成   | HPのリニューアル<br>準備①<br>マイナーチェンジ  | HPのリニューアル<br>準備②<br>マイナーチェンジ  | HPのリニューアル<br>準備③<br>マイナーチェンジ   |  | HPのデザイン会社<br>選定                                | 新しいHPの設計<br>①  | 新しいHPの設計<br>②見積もりと予算<br>化                |   |   |   | ・公式LINEを開発し、求職者との情報共有<br>をしやすいとする。<br>・ホームページに就職応募専用フォームを<br>つくる。<br>・R4年ホームページの全面リニューアルに向<br>けた準備。   |      |      |
| 10      |          | 多様な求人活動の展開・実施。<br>・合同就職説明会<br>・オンライン就職説明会<br>・法人就職相談窓口の設置<br>・ハローワーク<br>・学校訪問<br>・求人サイトの活用<br>・インターンシップの受け入れ<br>・オリジナルグッズ製作 |  | 尾上    | 計画            | 大学訪問(旭川大<br>学、名市立大学<br>ほか)                              | マイナビ中途採用<br>サイト広告準備  | マイナビ中途採用<br>サイト掲載開始<br>企業説明会(旭福<br>社)ハローワーク<br>訪問<br>オンライン就職説<br>明会開催<br>リクルートシンプ<br>更新 | ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>高収訪問(鶴橋、<br>旭東、明成、旭大<br>高、剣道)6月～<br>オリジナルグッズ<br>製作<br>ハローワーク訪問<br>求人票リニューア<br>ル | ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>オンライン就職説<br>明会(札幌)<br>就職相談窓口の<br>つどい(旭川)<br>オリジナルグッズ<br>製作<br>ハローワーク訪問 | 新卒者採用試験<br>①<br>お福祉職場説明<br>会(札幌)<br>ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>オンライン就職説<br>明会②<br>インターンシッ<br>プ受け入れ①<br>ハローワーク訪問 | 高卒者採用試験<br>②<br>ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>ハローワーク訪問 | 新卒者採用試験<br>③<br>ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>ハローワーク訪問                               | ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>ハローワーク訪問           | ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>ハローワーク訪問                    | ふくのお仕事の<br>つどい(旭川)<br>ハローワーク訪問                    | 6福祉職場説明<br>会<br>ハローワーク訪問  | ・求人情報の発信コンテンツの充実化<br>・オンライン就職説明会の実施<br>・気軽に就職相談ができる窓口の設置。<br>・インターンシップ受け入れ<br>・学校や関係機関と協働しなによりなることで円<br>滑なコミュニケーションを図ることができる関<br>係をつくる。   |      |      |
|         |          | 働きやすい職場づくりと法人のブランディング戦略の推進。<br>・自法人の強みや特性を可視化し企業価値を高める。<br>・R4年度ぐるみん認定やえるぼし認定の取得にむけた調査。                                     |  | 尾上    | 実施            |   | 法人の強みにつ<br>いての情報収集・<br>整理  | 法人の強みにつ<br>いての情報収集・<br>整理   | 法人の強みにつ<br>いての情報収集・<br>整理   |  |  | ぐるみん・えるぼ<br>しについての情報<br>収集                     | ぐるみん・えるぼ<br>しについての情報<br>収集   |  |   |   |   | ・自法人の強みを集約しリクルート、職員へ<br>積極的な発信を実施する。<br>・優良企業認定資格取得に向けた情報収集<br>と調査。   |      |      |
| 11      |          | 災害・感染症の業務継続計画(BCP)の策定。 ※3年間の経過措置あり。   | 災害・感染症の業務継続計画(BCP)の策定。 ※3年間の経過措置あり。  | 尾上    | 計画            | 非常用発電機試<br>運転(なごみ、文<br>庫)                               |  | BCP案作成①<br>情報収集   |   |  |  | BCP案作成②<br>情報収集                                | BCP案作成③  | BCP案作成④<br>必要設備・備品の<br>リストアップと平<br>準化    | BCP案作成⑤   | BCP案作成⑥   | BCP案作成⑦   | ・法人内全ての事業所BCPを策定(R3～4<br>年度にかけ)し、R4年度、BCPに基づいた<br>研修を実施を目指す。  |      |      |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 法人本部

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画<br>No. | 重点目標<br>との連動 | 取組み事項                            | 取組み内容                | 実施<br>担当者 | 4月 | 5月 | 6月            | 7月     | 8月                          | 9月  | 中間<br>評価 | 10月 | 11月 | 12月                    | 1月 | 2月                           | 3月 | ゴール<br>(達成目標)   | 最終<br>評価 | 評価内容 |  |
|-------------|--------------|----------------------------------|----------------------|-----------|----|----|---------------|--------|-----------------------------|---|----------|-----|-----|------------------------|----|------------------------------|----|---|----------|------|--|
| 12          |              | 社会福祉士実習を積極的に受入れ、将来活躍する福祉人材を育成する。 | 社会福祉士の実習プログラムの作成と受入。 | 尾上        |    |    | 相談援助実習プログラム作成 | 実習計画周知 | 8/10～9/18<br>旭川大学相談援助実習(2名) | 8/10～9/18<br>旭川大学相談援助実習(2名)<br>上旬 相談援助実習(3日間) |          |     |     | 社会福祉士実習指導者講習会(Web)申し込み |    | 社会福祉士実習指導者講習会(Web)佐藤主任、佐々木主任 |    | ・社会福祉士の相談援助実習の目的にそった実習プログラムの策定と実習受入れができる。<br>・複数の事業所で社会福祉士の実習受入れができるよう実習指導担当者を養成する。 |          |      |  |
|             |              |                                  |                      |           | 計画 |    |               |        |                             |   |          |     |     |                        |    |                              |    |   |          |      |  |
|             |              |                                  |                      |           |    |    |               |        |                             |   |          |     |     |                        |    |                              |    |   |          |      |  |
|             |              |                                  |                      |           |    |    |               |        |                             |   |          |     |     |                        |    |                              |    |   |          |      |  |

事業所名(部署)

法人本部(給食部門:なごみの家・ぬくもりの家えん・たかほ・あえーる 担当)

1. 基本方針

【良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る】

2. 重点目標

- (1) 身体の状態に合わせた栄養のある食事の提供
- (2) 衛生管理の徹底と**災害対策**
- (3) 個々に配慮した美味しい食事の提供
- (4) 多職種との連携機能の強化
- (5) 予算に合わせた食事の提供

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動   | 取組み事項  | 取組み内容  | 新規/継続 | 担当者 |                          |
|-----|------------|--|--|-------|-----|--------------------------|
|     |            |  |  |       | 主査  | 補佐                       |
| 1   | (1)<br>(4) | 健康で穏やかな生活を支えられるよう、多職種が連携し、根拠に基づいたケアを提供することで豊かな暮らしをつくる。 | <p>①低栄養状態のリスクが高い入所者に対し、<u>栄養ケア計画に従い食事の観察(ミールラウンド)を多職種連携で週3日以上行い、入所者ごとの栄養状態、嗜好などを踏まえた食事の調整等を実施し、栄養マネジメント強化加算を取得する。(特養えん)</u></p> <p>②栄養ケアマネジメントを行い、年齢、病状、摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。</p> <p>③入所者の栄養状態を把握し、<u>日常的な栄養ケアに係わる介護職員への技術的助言や指導を実施し、栄養管理体制加算を取得する。(GHなごみの家)</u></p> | 新規/継続 | 課長  | 主任<br>リーダー<br>看護師<br>栄養士 |
| 2   | (1)<br>(4) | 安全で美味しく、身体状態に合わせた食事の提供                                 | <p>①摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践</p> <p>②新人スタッフ(調理に携わる)への、基本のソフト食の勉強会を実施する。</p> <p>③見た目・味共に美味しいソフト食の提供。</p> <p>④<u>献立の作り方マニュアル(レシピ表)の作成を継続し、統一感のある食事提供に努める。</u></p>  | 継続    | 栄養士 | 課長<br>主任<br>看護師<br>リーダー  |
| 3   | (1)        | 地域住民との関わりと介護予防の取り組み                                    | <p>①子ども・高齢者に対する低栄養の改善のため、月に1回法人による地域食堂を実施する。</p> <p>②地域食堂を通して、地域住民との関わりを持ち、食事・栄養に対するニーズを把握する。</p> <p>③地域における介護予防の取り組みを促進するために、月に1回栄養士による料理教室を実施する。</p>   | 継続    | 栄養士 |                          |



### 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                      | 取組み内容  | 新規／継続 | 担当者 |                 |
|-----|----------|----------------------------|--|-------|-----|-----------------|
|     |          |                            |  |       | 主査  | 補佐              |
| 4   | (2)      | 衛生管理の徹底と災害対策<br>給食設備の確認と徹底 | ①衛生管理および給食設備を定期的にチェックし、異物混入や食中毒防止に努める。<br>また、厨房器具等の見直し・必要備品の購入をする。<br>②各現場で安全な食事が提供できるよう、年1回食中毒予防研修を実施し、安全な食事を提供する。<br>③ <u>非常災害時の食材備蓄の管理と、災害時の食事提供時の対応方法の伝達の実施。</u> | 継続    | 栄養士 | 課長<br>主任<br>看護師 |
| 5   | (3)      | 嗜好を取り入れ、楽しみのある食事の提供        | ①満足感とQOLの向上を図るため、季節感のある献立・食器への配慮をし、見た目楽しく、おいしい食事の提供の実施。<br>②年1回、栄養士による手作りおやつ提供のための計画と実施。<br>③なごみの家・ぬくもりの家えん・たかほにて嗜好調査を実施する。  | 継続    | 栄養士 | 課長<br>主任        |
| 6   | (4)      | 関係職種との連携機能の強化              | ①ご利用者により安全・安心・満足して頂ける食事提供のため、定期的な情報交換に努める。<br>②各部署との入所者・給食に関する情報を日常的に共有し、各事業所の会議にて問題点の発見と改善に努める。   | 継続    | 栄養士 | 課長<br>主任        |
| 7   | (5)      | 適正な予算管理                    | ～なごみの家・ぬくもりの家えん・ぬくもりの家たかほ～<br>①給食費の予算に合わせた献立の作成<br>②無駄のない食材の仕入れの実施<br>③食材の在庫管理の実施<br>④食材収支表の作成・原価表の作成の実施   | 継続    | 栄養士 |                 |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名:法人本部・給食部門

(評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容   | 実施担当者              | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 中間評価 | 評価内容 | 10月        | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | ゴール(達成目標) | 最終評価 | コメント |   |   |
|----------|----------|---|---|--------------------|----|----|----|----|----|----|------|------|------------|-----|-----|----|----|----|-----------|------|------|---|---|
| 1        | (1)(4)   | 健康で穏やかな生活を支えられるよう、多職種が連携し、根拠に基づいたケアを提供することで豊かな暮らしをつくる | <p>①低栄養状態のリスクが高い入所者に対し、栄養ケア計画に依り食事の観察(ミールラウンド)を多職種連携で週3日以上行い、入所者ごとの栄養状態、嗜好などを踏まえた食事の調整等を実施し、栄養マネジメント強化加算を取得する。(特養老人)</p> <p>②栄養ケアマネジメントを行い、年齢、病状、摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。<br/>③入所者の栄養状態を把握し、日常的な栄養ケアに係わる介護職員への技術的助言や指導を実施し、栄養管理体制加算を取得する。(GHなごみの家)</p> | 看護師<br>栄養士<br>リーダー | 計画 |    |    |    |    |    |      |      | ミールラウンドの実施 |     |     |    |    |    |           |      |      |   | <p>・多職種でミールラウンドの実施ができたか。</p> <p>・ぬくもりの家えんでの栄養ケアマネジメントの実施。<br/>・年1回、利用者全員のBMIを確認し、低栄養の方の食事改善を実施できたか。<br/>・GHなごみの家での食事や栄養に関する助言や指導の実施</p> |
|          |          |   |   |                    | 実施 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      |   |   |
| 2        | (1)(4)   | 安全で美味しく、身体状況に合わせた食事の提供                                | <p>①摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践。<br/>②新人スタッフ(調理に携わる)への、基本のソフト食の勉強会を実施する。<br/>③見た目・味共に美味しいソフト食の提供。<br/>④献立の作り方マニュアル(レシピ表)の作成を継続し、統一感のある食事提供に努める。</p>  | 己上                 | 計画 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      | <p>・多職種連携で個人にあった食事提供ができたか。<br/>・新人対象のソフト食勉強会が実施できたか。<br/>・見た目も美味しいソフト食が提示できていたか。<br/>・レシピ表を活用し、統一感のある食事提供ができたか。</p>   |   |
|          |          |   |   |                    | 実施 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      |   |   |
| 3        | (1)      | 地域住民との関わりと介護予防の取り組み                                   | <p>①子ども・高齢者に対する低栄養の改善のため、月に1回法人による地域食堂を実施する。<br/>②地域食堂を通して、地域住民との関わりを持ち、食事・栄養に対するニーズを把握する。<br/>③地域における介護予防の取り組みを促進するために、月に1回栄養士による料理教室を実施する。</p>  | 己上<br>鈴木           | 計画 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      | <p>・月1回地域食堂を実施できた。<br/>・月1回料理教室を実施できた。</p>  |   |
|          |          |   |   |                    | 実施 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      |   |   |
| 4        | (2)      | 衛生管理の徹底と災害対策給食設備の確認と徹底                                | <p>①衛生管理および給食設備を定期的にチェックし、異物混入や食中毒防止に努める。また、厨房機器等の見直し・必要備品の購入をする。<br/>②各現場で安全な食事が提供できるよう、年1回食中毒予防研修を実施し、安全な食事を提供する。<br/>③非常災害時の食材備蓄の管理と、災害時の食事提供時の対応方法の伝達の実施。</p>   | 己上                 | 計画 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      | <p>・給食設備の定期的チェックと厨房器具の見直し。<br/>・なごみの家・ぬくもりの家えん・たかほ・ヘルパーを対象とした食中毒予防研修の実施。<br/>・災害時の食材備蓄の確認と伝達できたか。</p>   |   |
|          |          |   |   |                    | 実施 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      |   |   |
| 5        | (3)      | 嗜好を取り入れ、楽しみのある食事の提供                                   | <p>①満足感とQOLの向上を図るため、季節感のある献立・食器への配慮をし、見た目に楽しく、おいしい食事の提供の実施。<br/>②年1回、栄養士による手作りおやつ提供のための計画と実施。<br/>③なごみの家・ぬくもりの家えん・たかほにて嗜好調査を実施する。</p>   | 己上                 | 計画 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      | <p>・不足している食器がないか確認し、数が不足しているものの購入。または新規食器の購入。<br/>・季節の食材を献立に反映し季節感を出せたか。<br/>・栄養士による手作りおやつの実施<br/>・なごみの家・ぬくもりの家えん・ぬくもりの家たかほにおいて、嗜好による調査を実施し問題点と改善に努めたか。</p> |   |
|          |          |   |   |                    | 実施 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      |   |   |
| 6        | (4)      | 関係職種との連携機能の強化   | <p>①ご利用者により安全・安心・満足して頂ける食事提供のため、定期的な情報交換に努める。<br/>②各部署との入所者・給食に関する情報を日常的に共有し、各事業所の会議にて問題点の発見と改善に努める。</p>  | 己上                 | 計画 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      | <p>・定期的に情報を共有できたか。<br/>・なごみ会議・えん特養会議・えん給食会議の毎月の参加により問題点を確認し改善へ向けてのアプローチができたか。</p>   |   |
|          |          |   |   |                    | 実施 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      |   |   |
| 7        | (5)      | 適正な予算管理   | <p>～なごみの家・ぬくもりの家えん～<br/>①給食費の予算に合わせた献立の作成<br/>②無駄のない食材の仕入れの実施<br/>③食材の在庫管理の実施<br/>④食材収支表の作成・原価表の作成の実施</p>   | 己上                 | 計画 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      | <p>・献立原価が予算内であったか。<br/>・食材収支額が年間で予算内であったか。</p>  |   |
|          |          |   |   |                    | 実施 |    |    |    |    |    |      |      |            |     |     |    |    |    |           |      |      |   |   |

事業所名(部署)

特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

1. 基本方針

『よいケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。
- (2) スタッフの専門性の向上を図るため、その方にかかわる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアサービスを展開できるよう育成する。
- (3) 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。
- (4) ご入居者の生き活きたくらしづくりと、ご家族や地域とのつながりを大切に、積極的に交流の機会をもつ。
- (5) **新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。**
- (6) 業務の効率化と業務マニュアルの整備。
- (7) 適正利益の確保と安定した運営。

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容  | 新規/継続    | 担当者 |             |
|-----|----------|---|--|----------|-----|-------------|
|     |          |   |  |          | 主査  | 補佐          |
| 1   | (1)      | 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>① <b>新規システムを運用</b>しながら、ケアチェックと多職種協働によるトータルケアを実践し病気の重症化や再発を予防と業務の効率化を図る。</li> <li>② <b>多職種で排せつ、食事の関係をしっかりと把握し、褥瘡や体調不良を要因分析と対応を強化し、症状の重症化を予防に努める。(目標:自立支援促進、排せつ加算、褥瘡マネジメント加算を積算する)</b></li> <li>③ 多職種によるカンファレンスを速やかに開催し<b>根拠に基づいた</b>要因分析と対応策をたてケアを実践。<b>(目標:年間入院日数350日以内)</b></li> </ul>   | 継続       | 課長  | 主任          |
| 2   | (1)      | 尊厳を守り、痛みや苦しみを緩和し、個々に合わせた、より良質なケアサービスを提供。          | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 下剤服用による苦痛、認知症の周辺症状の悪化を予防するため下剤使用の見直しを継続し、自然排泄のための補助療法等を多職種で実施し、画一的な下剤の使用や浣腸、摘便、坐薬の使用をできるだけ減らし、刺激性下剤常用者 全入居者の6%以内(3人)をめざす。</li> <li>② 向精神薬、眠剤、その他の薬剤について、薬剤の特性を理解し、通常期待される効果が認められていない、または、副作用が強く出ている場合など、本人の状態を踏まえたうえで医師と相談、見直しを図る。</li> <li>③ 誤嚥性肺炎を起こさないよう食事方法の見直しと口腔ケアの研修や<b>歯科衛生士の助言を受けられる体制を構築しケアの向上を図る。</b>また、本人の痛みや苦しみを緩和するために、喀痰吸引が少なくなるようなケア方法を実施する。</li> <li>④ 尊厳ある排泄をめざしその方に合わせた排泄方法、オムツ形態を見直すため、CST委員会を立ち上げます。また、尿失禁のある方に対し、排せつのタイミングを把握し、できる限りトイレでの排泄をしていたくことで清潔な状態を保つ。</li> <li>⑤ ポジショニング用品の<b>見直しと研修を実施し</b>、拘縮と褥瘡を防ぐ。</li> </ul> | 継続<br>新規 | 看護師 | 主任<br>各リーダー |

### 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                                   | 取組み内容  | 新規／継続    | 担当者       |          |
|-----|----------|---|--|----------|-----------|----------|
|     |          |   |  |          | 主査        | 補佐       |
| 3   | (2)      | 自立支援を視点におき、生き活きと暮らせる生活と環境を創る。           | ①担当スタッフが入居者個別に課題分析、計画の立案、目標に向けたケア(介護過程)を展開しQOL及びADLの向上を目指す。<br>②残存機能を活かし役割を持っていただくことで生き活きとした暮らしを提供します。<br>③アクティビティ(個別での外出、季節行事、レクリエーション活動、散歩など)を行い、スタッフも一緒に楽しめるイベントを計画的に実施する。<br>④施設内環境の <b>整理・整頓・清潔</b> を徹底し、また季節感を感じられる潤いある環境をつくることで、ご利用者が安心して落ち着いて暮らせる環境をつくる。   | 継続       | リーダー      | 主任       |
| 4   | (3)      | 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。 | ①日々の生活の中で、食を通した生活の質の向上として、季節感のあるものを食べることにより、四季の移り変わりを感じて頂けるよう、行事・祝膳の提示の提案・実施。<br>②献立のみではなく、食器へ配慮し、見た目にも楽しく食べやすい食事の提供。<br>③味も見た目にもおいしいソフト食の提供。<br>④ <b>健康を維持できる食事の提供を強化する。(便秘解消、免疫力強化、各既往症に適した食事)</b>   | 継続       | 栄養士       | 主任       |
| 5   | (3)      | 入居者の健康の維持・向上のための栄養ケアを実践する。              | ①毎月の体重の増減を確認し、改善策を都度リーダーに提案・実施。<br>②食事量、水分量、排泄状況のケアを毎週行い、食を通したアプローチを提案・実施。<br>③排泄困難者に対して、食を通して個々に合わせたアプローチする。<br>④ <b>食事量低下時における対応を柔軟に行い、食事量を戻す取り組みを行う(補助食品の見直し、食形態の見直し、嗜好品の取り入れ)</b>  | 継続<br>新規 | 栄養士       | 主任       |
| 6   | (3)      | 給食委託業者との連携強化。                           | ①衛生管理及び給食設備を定期的に確認し、食中毒の予防。<br>②委託業者との情報交換、協力体制を密にするため、毎日のミーティングと月1回の給食運営会議を実施。<br>③よりおいしい食事の提供をめざし、新たな食材の導入の検討と厨房の業務(調理行程など)の効率化。<br>④委託契約額の適正化。  | 継続       | 栄養士       | 主任<br>課長 |
| 7   | (4)      | 安心して生活できる施設づくり                          | ①事故に対する危険予測の意識を高めるための研修会を開催するほか、ヒヤリハットと過去の事故事例をユニット会議内において継続的に周知し予防意識を啓発します。(目標:事故件数、前年度より、 <b>10%減少</b> 、骨折事故ゼロ、服薬に関する事故を可能な限り無くしていく)<br>②高齢者虐待や身体拘束予防の研修会の実施のほか、毎月のユニット会議において身体拘束(及び不適切なケア)を議題にあげ対応について全員で検討、共有する。(目標:身体拘束と虐待及び不適切なケア <b>0件</b> )<br>③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウイルス等を予防する。(目標:インフルエンザ・ノロウイルス、コロナウイルス集団感染(5名以上)発症 <b>0件</b> )<br>④ <b>認知症への理解と周辺症状対応力を向上する(認知症実践者研修受講1名)</b> | 継続       | 看護師<br>主任 | 各リーダー    |

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容   | 新規/継続    | 担当者 |      |
|-----|----------|---|---|----------|-----|------|
|     |          |   |   |          | 主査  | 補佐   |
| 8   | (5)      | スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上。                            | ①全職種、全職員を対象とした研修を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性と実践力の向上を図る。<br>②根拠に基づき各研修に連動した具体的なOJTを取り入れた新任教育を継続実施する。またエルダー面談や定期面談を計画的に実施する。<br>③介護課程の展開を実践します。   | 継続       | 課長  | 主任   |
| 9   | (5)      | ご家族や地域とのつながりを大切に、積極的に交流の機会をもつ。                  | ①ご入居者とご家族と一緒に楽しめる行事を企画・実施。(目標:さつき祭、新秋祭などの全体行事)<br>②コロナウイルス感染を予防しながら家族との関わりができる取り組みの企画と実施<br>③四半期に1回、各担当からの手紙発送。   | 継続       | 各担当 | リーダー |
| 10  | (5)      | チームワークの向上と働きがいと魅力ある職場環境をつくり、退職者ゼロと適切な人材の確保を目指す。 | ②毎月の会議内において継続的に業務改善を図りサービス残業ゼロを目指す。<br>③休日の会議、研修参加について改善を図る。<br>④スタッフの成長とチームワークの向上、ユニット活動の活性化を目的とし、ユニット間の人事異動を定例実施する。<br>⑤実習生の積極的受入を図り、介護の魅力を伝えて行く。実習指導者研修の受講(1名)<br>⑥外国人採用職員が職場に慣れ、職場や地域で楽しく生活できるように支援する(法人企画B-proの参画2名) | 継続<br>新規 | 課長  | 主任   |
| 11  | (6)      | 業務の効率化とマニュアルの整備。                                | ①会議、研修の内容を見直し、効率的かつ効果な実施をすることで、開催時間・回数を見直す。<br>②毎月の会議により、業務改善について確認・検討し、業務の改善と効率化をはかる。<br>③現在行っている業務をマニュアル化し整理。<br>④各職員や担当の仕事内容の整理と仕事の仕方を身につける<br>⑤見守りセンサーやロボットの導入と記録のICT化を企画導入し職員の負担を軽減する。                               | 継続<br>新規 | 課長  | 主任   |
| 12  | (7)      | 適正利益の確保と安定した運営。                                 | ①入院者数の減少、入退居の迅速な手続きにより空床を減らし稼働率の維持、向上を目指す。(目標年間稼働率98%以上、入退居時の空床日数平均7日間以内)<br>②排泄ケア加算、褥瘡ケア加算等、ターミナルケア加算を評価、実践し取得する。<br>③目標事業活動収入:212,709,000円  | 継続       | 課長  | 主任   |

事業所名(部署)

鷹栖町ショートステイ さつき苑

## 1. 基本方針

『よいケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

## 2. 重点目標

- (1) 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。
- (2) スタッフの専門性の向上を図るため、その方にかかわる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアサービスを展開できるよう育成する。
- (3) 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。
- (4) ご入居者の生き活きたくらしづくりと、ご家族や地域とのつながりを大切にし、積極的に交流の機会をもつ。
- (5) **新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。**
- (6) 業務の効率化と業務マニュアルの整備。
- (7) 適正利益の確保と安定した運営。

## 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者  |    |
|-----|----------|---|---|-------|------|----|
|     |          |   |   |       | 主査   | 補佐 |
| 1   | (1)      | 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。 | ① <b>新規システムを運用</b> しながら、ケアチェックと多職種協働によるトータルケアを実践し病気の重症化や再発を予防と業務の効率化を図る。<br>② <b>居宅介護支援事業所や関わっている他事業所や職種によるカンファレンスを速やかに開催し根拠に基づいた要因分析と対応策をたてケアを実践。(目標:入院による停止を10件以内)</b>                    | 継続    | 課長   | 主任 |
| 2   | (1)      | 尊厳を守り、痛みや苦しみを緩和し、個々に合わせた、より良質なケアサービスを提供。          | ① <b>病状やADL状況をしっかりと把握し、本人、家族、ケアマネージャー等多職種連携を図り健康管理を実践。</b><br>②尊厳ある排泄をめざしその方に合わせた排泄方法、オムツ形態を見直しします。また、尿失禁のある方に対し、排せつのタイミングを把握し、できる限り在宅で生活できるように支援する。  | 新規・継続 | 看護師  | 主任 |
| 3   | (2)      | 自立支援を視点におき、生き活きと暮らせる生活と環境を創る。                     | ① <b>残存機能を活かし在宅生活の維持と生き活きとした暮らしができるようにケアを提供します。</b><br>②アクティビティ(季節行事、レクリエーション活動など)を充実させ、スタッフも一緒に楽しめるイベントを計画的に実施する。<br>③施設内環境の整理・整頓・清潔を徹底し、また季節感を感じられる潤いある環境をつくることで、ご利用者が安心し落ち着いて暮らせる環境をつくる。 | 継続    | リーダー | 主任 |

|    |     |  |   |       |     |       |
|----|-----|--|---|-------|-----|-------|
| 4  | (3) | 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供。  | ①日々の生活の中で、食を通した生活の質の向上として、季節感のあるものを食べることにより、四季の移り変わりを感じて頂けるよう、行事・祝膳の提示の提案・実施。<br>②献立のみではなく、食器へ配慮し、見た目にも楽しく食べやすい食事の提供。<br>③味も見た目にもおいしいソフト食の提供。<br>④健康を維持できる食事の提供を強化する。(便秘解消、免疫力強化、各既往症に適した食事)  | 継続・新規 | 栄養士 | 主任    |
| 5  | (3) | 入居者の健康の維持・向上のための栄養ケアを実践。               | ①毎月の体重の増減を確認し、栄養改善策を本人、ご家族に提案・実施。<br>②食事量、水分量、排泄状況の確認をし、食を通したアプローチを提案・実施。<br>③排泄困難者に対して、食を通して個々に合わせたアプローチする。  | 継続    | 栄養士 | 主任    |
| 6  | (3) | 外部委託業者との連携強化。                          | ①衛生管理及び給食設備を定期的に確認し、食中毒の予防。<br>②委託業者との情報交換、協力体制を密にするため、毎日のミーティングと月1回の給食運営会議を実施。<br>③よりおいしい食事の提供をめざし、新たな食材の導入の検討と厨房の業務(調理行程など)の効率化。<br>④委託契約額の適正化。   | 継続    | 栄養士 | 主任    |
| 7  | (4) | 安心して生活できる施設づくり。                        | ①事故に対する危険予測の意識を高めるための研修会を開催するほか、ヒヤリハットと過去の事件事例をユニット会議内において継続的に周知し予防意識を啓発します。(目標:事故件数、前年度より、10%減少、骨折事故ゼロ、服薬に関する事故を-30%)<br>②高齢者虐待や身体拘束予防の研修会の実施し、毎月のユニット会議において身体拘束(及び不適切なケア)を議題にあげ、対応について全員で検討、共有する。(目標:身体拘束と虐待及び不適切なケア0件)<br>③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウイルスを予防する。(目標:インフルエンザ・ノロウイルス、コロナウイルス集団(5名以上)発症0件) | 継続    | 主任  | 各スタッフ |
| 8  | (5) | スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上。                   | ①全職種、全職員を対象とした研修を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性と実践力の向上を図る。<br>②根拠に基づき各研修に連動した具体的なOJTを取り入れた新任教育を継続実施する。またエルダー面談や定期面談を計画的に実施する。  | 継続    | 課長  | 主任    |
| 9  | (5) | チームワークの向上と働きがいと魅力ある職場環境をつくり、退職者ゼロを目指す。 | ①有給休暇(7連休または2回に分けて)の計画的付与を継続。<br>②毎月の会議内において継続的に業務改善を図りサービス残業ゼロを目指す。<br>③休日の会議、研修参加について改善を図る。<br>④スタッフの成長とチームワークの向上、ユニット活動の活性化を目的とし、ユニット間の人事異動を定例実施する。<br>⑤実習生の積極的受入を図り、介護の魅力を伝えて行く。実習指導者研修の受講(1名)<br>⑥外国人採用職員が職場に慣れ、職場や地域で楽しく生活できるように支援する(法人企画B-proの参画2名)  | 継続    | 課長  | 主任    |
| 10 | (6) | 業務の効率化とマニュアルの整備。                       | ①会議、研修の内容を見直し、効率的かつ効果な実施をすることで、開催時間・回数を見直す。<br>②毎月の会議により、業務改善について確認・検討し、業務の改善と効率化をはかる。<br>③現在行っている業務をマニュアル化し整理。   | 継続    | 課長  | 主任    |
| 11 | (6) | 適正収益を確保し安定運営する。                        | ①新規利用者、ショートステイ利用の満足度を向上させ稼働率を向上させます。また、安心してご利用いただくため、感染症予防対策を徹底します。(目標年間稼働率:93%)<br>②目標事業活動収入:30,389,000円   | 継続    | 課長  | 主任    |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 生活福祉課

(評価基準) S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待通りの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動   | 取組み事項   | 取組み内容   | 実施担当者                  | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月  | 9月 | 中間評価 | 10月  | 11月                             | 12月      | 1月 | 2月       | 3月 | ゴール(達成目標)   | 最終評価   | 評価内容 |  |
|---------|------------|---|---|------------------------|--|----|----|----|---|----|------|--|---------------------------------|----------|----|----------|----|---|--|------|--|
| 1       | (1)        | 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。 | ①新規システムを導入しながら、ケアチェックと多職種協働によるトータルケアを実施し病気の重症化や再発を予防と業務の効率化を図る。<br>②多職種で排せつ、食事の関係をしっかりと把握し、褥瘡や体調不良を要因分析と対応を強化し、症状の重症化を予防に努める。<br>③多職種によるカンファレンスで要因分析と対応策をたてケアを実践。                                     | 相談員<br>ケア<br>ナー<br>ジャー | ケアチェック、随時カンファレンス<br>定期カンファレンス(月1回)   |    |    |    | 特養勉強会①                                      |    | →    | ケアチェック、随時カンファレンス<br>定期カンファレンス(月1回)<br>リーダー勉強会                              | 特養勉強会①                          | 新システムの導入 |    | リーダー勉強会② |    | ・排せつケアを見直し、褥瘡ゼロを目指す。<br>・年間入院日数350日以内。  |  |      |  |
| 2       | (1)        | 尊厳を守り、痛みや苦しみを緩和し、個々に合わせた、より良質なケアサービスを提供。          | ①下剤服用による苦痛、認知症の周辺症状の悪化を予防する。<br>②向精神薬、眠剤、その他の薬剤について、医師と相談、見直しを図る。<br>③誤嚥性肺炎を起こさない。また、本人の痛みや痛みを緩和するために、喀痰吸引が少なくするようなケア方法を実施する。<br>④専断ある排泄をめざしその方に合わせた排泄方法、オムツ形態を見直す。<br>⑤ボジョニング用品の見直しと研修を実施し、拘縮と褥瘡を防ぐ。 | 看護師<br>主任              | ナース会議、ユニット会議内にて検討(継続)<br>各ユニット会議で口腔ケアの状況確認   |    |    |    | ・CST委員会立ち上げ<br>「口腔ケア研修」準備<br>「口腔ケア研修」の実施    |    | →    | ナース会議、ユニット会議内にて検討(継続)<br>ボジョニング研修準備  |                                 |          |    |          |    | ・刺激性下剤常用者 全入居者の6%以内(3人)<br>・向精神薬、眠剤等の服用者 全入居者の12%以内を目指す。<br>・ご入居者の状況に合わせて、随時排泄ケア(トイレの使用、おむつの使用)について検討し、排泄に関する改善を図る。<br>・口腔ケアの見直しと徹底を図り、誤嚥性肺炎を5件以内とする。 |  |      |  |
| 3       | (2)<br>(4) | 自立支援を視点におき、活き活きと暮らせる生活と環境を創る。                     | ①入居者個別に課題分析、計画の立案、目標に向けたケア(介護過程)を展開しLQOL及びADLの向上を目指す。<br>②残存機能を活かし役割を持っていただく。<br>③アクティビティ(個別での外出、季節行事、レクリエーション活動、散歩など)を行い、スタッフも一緒に楽しめるイベントを計画的に実施する。<br>④施設内環境の整理・整頓・清潔を徹底し、また季節感を感じられる潤いある環境をつくる。    | リーダー                   | ・春の一斉清掃<br>・喜劇節<br>・外出行事の実施(散歩、祝賀・外食など)<br>・花壇づくり<br>・お茶会  |    |    |    | ・焼き肉会<br>・熱夏花火鑑賞<br>・担当による介護過程の振り返り(秋の一言清書) |    |      |  | ・担当による介護過程の振り返り(1人1ケース)<br>・新秋祭 |          |    |          |    |   | ・各担当が介護過程を展開できる<br>・計画通りに行事が実施できる  |      |  |
| 4       | (5)        | 安心して生活できる施設づくり。                                   | ①事故に対する危険予測の意識を高める<br>②高齢者虐待や身体拘束予防の研修会の実施のほか、毎月のユニット会議において身体拘束(及び不適切なケア)を議題にあげ、対応について全員で検討、共有する。<br>③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザを予防する   | 主任                     | ・事故発生時の対応について研修<br>・肺炎球菌ワクチン接種<br>・加湿器撤去<br>・シヤリハットメモの導入   |    | →  |    | ・食中毒予防研修(法人本部)<br>・コロナウイルス感染症予防研修           |    |      | ・インフルエンザワクチン接種<br>・インフルエンザ感染予防研修<br>・加湿器設置<br>・事故の傾向調査・分析・報告<br>・感染症予防意識啓発 |                                 |          |    |          |    | ・インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス集団発症0件。<br>・事故件数、前年度より、20%減少。<br>・服薬に関する事故を-50%。<br>・身体拘束と虐待及び不適切なケア0件。  |  |      |  |
| 5       | (3)        | 口から食べ続けられることにごだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。           | ①日々の生活の中で、食を通した生活の質の向上<br>②献立のみではなく、食器へ配慮し、見た目にも楽しく食べやすい食事の提供。<br>③味も見た目にもおいしいソフト食の提供。<br>④健康を維持できる食事の提供を強化する。(便秘解消、免疫力強化、各既往症に適した食事)   | 栄養士                    | ・昭和の日祝<br>・重たの日祝<br>・ミールワフ<br>・海の日祝<br>・七夕祝<br>・十五夜祝<br>・敬老の日祝<br>・お盆の日祝<br>・敬老の日祝<br>・お盆の日祝<br>・敬老の日祝<br>・お盆の日祝 |    |    |    |   |    |      |  |                                 |          |    |          |    |   | ・季節感を感じて頂くための年間食事計画を予定通り実施出来る。<br>・ターミナル期まで口から食べることができる                                    |      |  |
|         |            |   | ⑤献立のみではなく、食器へ配慮し、見た目にも楽しく食べやすい食事を提供する。  | 栄養士                    |  |    |    |    |   |    |      |  |                                 |          |    |          |    |   | ・計画的に食器の購入を行い、見た目にも良い食事提供を実施することが出来る。  |      |  |
| 6       |            | 入居者の健康の維持・向上のための栄養ケアを実践する。                        | ①毎月の体重の増減を確認し、改善策を都度リーダーに提案・実施。<br>②食事量、水分量、排泄状況のケアを毎週行い、食を通したアプローチを提案・実施。<br>③排泄困難者に対して、食を通して個々に合わせたアプローチする。<br>④食事量低下時における対応を柔軟に行い、食事量を戻す取り組みを行う(補助食品の見直し、食形態の見直し、嗜好品の取り入れ)                         | 栄養士<br>リーダー<br>主任      | ・体重測定<br>・Wチェック<br>・食事形態の見直し<br>・サンプルの取り寄せ   |    |    |    |   |    |      | →  |                                 |          |    |          |    |   | ・脱水による入院がない。<br>・下剤だけでは無い便秘対策を確立する<br>・体調や病状に合わせた補助食品が用意できる                                |      |  |
| 7       | (4)        | 外部委託業者との連携強化。                                     | ①衛生管理及び給食設備を定期的に確認し、食中毒の予防。<br>②委託業者との情報交換、協力体制を密にする。<br>③新たな食材の導入の検討と厨房の業務(調理工程など)の効率化。<br>④委託契約額の適正化。   | 栄養士                    | ・厨房業務、ヘルメット着用確認と効率化の検証<br>・毎日ミーティング<br>・月例会議   |    |    |    |   |    |      |  |                                 |          |    |          |    |   | おいしい食事を提供し、食事の満足度を向上させる。<br>献立の工夫や厨房作業の効率化・合理化を図り、委託契約額の適正化を図ることができる。(目標契約委託額1,800,000円/月) |      |  |



令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 生活福祉課

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動   | 取り組み事項  | 取り組み内容   | 実施担当者    | 中間評価 |    |    |    |    |    |     |     |     | ゴール(達成目標) | 最終評価 | 評価内容 |    |    |  |  |  |
|----------|------------|---|--|----------|------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----------|------|------|----|----|--|--|--|
|          |            |   |  |          | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |           |      |      | 1月 | 2月 | 3月   |  |  |
| 8        | (1)<br>(2) | 安心して生活できる施設づくり                                  | ①事故に対する危険予測の意識を高めるための研修会を開催。ヒヤリハットと過去の事故事例を継続的に周知し予防意識を啓発します。<br>②高齢者虐待や身体拘束予防の研修会の実施のほか、毎月のユニット会議において身体拘束検討する。<br>③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウイルス等を予防する。<br>④認知症への理解と周辺症状対応力を向上する(認知症実践者研修受講1名) | 課長       |      |    |    |    |    |    |     |     |     |           |      |      |    |    | ・骨折事故ゼロ<br>・身体拘束ゼロ<br>・感染症ゼロ   |  |  |
| 9        |            | ご家族や地域とのつながりを大切に、積極的に交流の機会をもつ。                  | ①ご入居者とご家族と一緒に楽しめる行事を企画・実施。<br>②コロナウイルス感染を予防しながら家族との関わりができる取り組みの企画と実施<br>③四半期に1回、各担当からの手紙発送。  | 課長       |      |    |    |    |    |    |     |     |     |           |      |      |    |    | ・入居者と家族のつながりを絶たないようにする。  |  |  |
| 10       | (6)        | チームワークの向上と働きがいと魅力ある職場環境をつくり、退職者ゼロと適切な人材の確保を目指す。 | ①有給休暇の計画的付与を継続。<br>②毎月の会議内において継続的に業務改善を図りサービス残業ゼロを目指す。<br>③休日の会議、研修参加について改善を図る。<br>④スタッフの成長とチームワークの向上、ユニット活動の活性化を目的とし、ユニット間の人事異動を定例実施する。<br>⑤実習生の積極的受入を図り、介護の魅力を伝えて行く。<br>⑥外国人採用職員が職場に慣れ、職場や地域で楽しく生活できるように支援する   | 課長<br>主任 |      |    |    |    |    |    |     |     |     |           |      |      |    |    | ・希望者全員が長期休暇(7連休または分割した連休)を取得できる。<br>・30分以上のサービス残業ゼロ。<br>・新任職員(1年未満)の職員の退職ゼロ。<br>・外国人が介護福祉士の試験に受かる。         |  |  |
| 11       | (8)        | 業務の効率化とマニュアルの整備。                                | ①会議、研修の内容を見直し、効率的かつ効果な実施をすることで、開催時間・回数を見直す。<br>②毎月の会議により、業務改善について確認・検討し、業務の改善と効率化をはかる。<br>③現在行っている業務をマニュアル化し整理。<br>④各職員や担当の仕事内容の整理と仕事の仕方を身につける<br>⑤見守りセンサーやロボットの導入と記録のICT化を企画導入し職員の負担を軽減する。                      | 課長<br>主任 |      |    |    |    |    |    |     |     |     |           |      |      |    |    | ・職員の腰痛者がいなくなる。<br>・会議時間が職員の負担にならない。  |  |  |
| 12       |            | 適正利益の確保と安定した運営。                                 | ①入院者数の減少、入退居の迅速な手続により空床を減らし稼働率の維持、向上を目指す。<br>②排泄ケア加算、褥瘡ケア加算等、ターミナルケア加算を評価、実践し取得  | 課長<br>主任 |      |    |    |    |    |    |     |     |     |           |      |      |    |    | ・年間稼働率:特養98%以上、ショート93%以上。<br>・入退居時の空床日数平均7日間以内。<br>・特養:目標介護保険収入210,121,000円。<br>・ショート:目標介護保険収入30,389,000円。 |  |  |

事業所名(部署)

鷹栖町デイサービスセンター はびねす

## 1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

## 2. 重点目標

- (1) デイセンターが「こことからだ元気になる場」を合い言葉に、利用者が選択できる多種多様なサービス提供に努めます。  
 (2) 介護予防から中重度者へ「良いケア」が提供できる、職員個々の基礎介護力と専門性の向上に努めます。  
 (3) 「良いケアをするために、良い職場をつくる」を合い言葉に、チーム一丸となり働きやすく・やがいのある職場環境をつくります。  
 (4) 「良いケア」を合い言葉に、一日平均利用者27名を目標に、適正利益の確保と無駄を省くことに努めます。

## 3. 事業所(係)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                     | 取組み内容  | 新規/継続 | 担当者           |                      |
|-----|----------|---------------------------|--|-------|---------------|----------------------|
|     |          |                           |  |       | 主査            | 補佐                   |
| 1   | (1)      | 魅力あるデイサービス<br>充実したアクティビティ | ①常に事業所内が清潔感に包まれ、利用者にとって心地よい居場所と空間を整える<br>・定期的な模様替え(テーブルクロス、家具の配置等)<br>・清潔感のあるトイレ環境の見直しを検討  | 新規/継続 | 谷             | 成田<br>藤川             |
| 2   | (1)      |                           | ①魅力ある製作レクリエーション(ハンドメイド)、楽しめる脳トレ、美容サロンを提供しご利用者様に楽しい時間を過ごしていただく。   | 新規/継続 | 成田            | 井上<br>新井<br>近藤<br>岩井 |
| 3   | (1)      |                           | ①コロナウイルス感染予防を考慮した食事の時間を提供し、「馴染みの仲間たちとのおいしい食事の場」を提供する。  | 新規/継続 | 藤川            | 谷                    |
| 4   | (1)      | 自立支援サービスの拡充               | ①理学療法士によるマシントレーニング及び非マシンによるトレーニングを提供し、リハビリテーションプログラムの拡充を図る。<br>②生活目標の設定・掲示をし計画的に機能訓練を行い、生活意欲向上、生活能力の維持向上を図る。<br>③口腔スクリーニングを定期的に行う事で口腔機能低下を早期に発見、対応する。<br>④栄養状況の把握と改善を他職種共同で行い栄養状況改善を行い、重度化予防を行う。<br>⑤上記①～④までの取り組みを科学的介護情報システム(LIFE)を活用し、フィードバック受け介護の質の向上を図る。 | 新規    | 谷<br>藤川<br>大矢 | 成田<br>大河原<br>鈴木      |

|    |         |                           |  |       |         |          |
|----|---------|---------------------------|--|-------|---------|----------|
| 5  | (2)     | 介護予防と重度化予防                | ①総合記録シートの導入とケアチェックを行い、入院リスクの軽減、中度化に対応する。<br>②学習会の実施により、利用者の健康リスクの意識啓発を行う。  | 継続    | 谷       | 成田<br>藤川 |
|    |         |                           | ③認知症予防のための学習療法の充実を図る。  | 継続    | 石坂      | 成田       |
| 6  | (2)     | 安心して利用できる<br>デイサービスづくり    | ①事故・感染症の予防を行い、安心・安全なデイサービスをつくる。<br>②緊急時に迅速に対応できる様に、情報の整備を行う。研修に参加し、適切な対応ができる様に備える。<br>デイ会議にて、リスクの高い方のカンファレンスを行う。<br>③病欠の利用者の情報の収集を行い、医療連携を迅速に行える様に相談助言を行う。<br>④コロナウイルス感染予防の研修を定期的に開催・参加し、最新の感染予防・感染対応について学習する。 | 新規/継続 | 藤川      | 井上       |
| 7  | (1)     | 地域資源の活用                   | ①地域のボランティアとの連携を図り、プログラムを充実させる。<br>②地域の活動に積極的に利用者に関わることができる様支援を行う。(子供体験教室、地域サロン活動への参加・訪問)   | 新規/継続 | 谷       | 成田       |
| 8  | (2)     | ケアスキル<br>接遇マナー向上          | ①研修・勉強会・接遇マナーに参加し、ケアスキルの向上、接遇マナーの基本を学ぶ。<br>②全職員が認知症介護の理念、知識、技術を習得する。   | 継続    | 谷       | 成田       |
| 9  | (3).(4) | スタッフの働きやすさ<br>働きがい向上と業務改善 | ①業務改善を定期的に行い、無理無駄を削減する。<br>②スタッフ自身も生き活きと働けるよう、長期休暇(7連休)を計画的に取得する。<br>③介護記録のIT化導入・促進し、働きやすい職場作りと業務効率化を図る。   | 継続    | 谷<br>藤川 | 成田       |
| 10 | (4)     | 適正収益の確保                   | ①新規パンフレット作成の準備を行う。<br>②適切な利益の確保し、健全な経営ができる様にする。<br>(令和2年度 平均利用者数 23.9名 介護報酬 59,909,000円 (R2当初予算)<br>(令和3年度 平均利用者数 27.0名 介護報酬 65,401,000円 (R3当初予算)  | 継続    | 谷       | 成田       |

令和9年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 デイサービスはびわす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                 | 取組み内容  | 実施担当者        | 4月                                 | 5月 | 6月  | 7月                     | 8月                                      | 9月   | 中間評価      | 10月 | 11月                      | 12月     | 1月                                   | 2月                 | 3月     | ゴール(達成目標)  | 最終評価  | 評価内容         |  |                            |  |  |
|---------|----------|-----------------------|--|--------------|------------------------------------|----|---|------------------------|---|--|-----------|-----|--------------------------|---------|--------------------------------------|--------------------|--------|--|---|--------------|--|----------------------------|--|--|
| 1.2.3   | (1)      | 魅力あるデイサービス充実したアクティビティ | 常に事業所内が清潔感に包まれ、利用者にとって心地よい居場所と空間を整える。  | 谷/成田/藤川      | 計画<br>車内清掃機器購入(谷)                  |    |   | 古い靴見直し(成田・藤川)          | 靴箱造設(谷)                                 | トイレ環境見直し(谷)<br>(カーテン・フォルダー)<br>デイ食器見直し(谷・藤川) | 新車購入期限(谷) |     | レイアウト変更(谷)               |         |                                      |                    |        | ①車輛の定期的清掃を行う事で衛生的な車輛にする<br>②環境を見直し、おしゃれで使い勝手の良いデイサービスにする |   |              |  |                            |  |  |
|         |          |                       | 魅力ある製作レクリエーション(ハンドメイド)、楽しめる脳トレ、美容教室を提供しご利用者様に楽しい時間を過ごしていただく。                     | 成田/井上新井/近藤若井 | 計画<br>鷹栖の果てまでいってQ略THQ(外出写真撮影(芽吹き)) |    | しょうぶ湯(近藤)<br>フェイシャルエステ(成田)<br>THQ(バレットヒールズ) | 外出レク(井上)<br>THQ(メロディ橋) | 外出レク(井上)<br>プロの小イベント(成田)<br>THQ(パークゴルフ) | THQ(BBQ)                                     | THQ(田んぼ)  |     | スマホ教室(井上)<br>THQ(紅葉ベッソド) | THQ(初雪) | ゆず湯(若井)<br>THQ(クリスマス)<br>カレンダー作成(成谷) | 鷹栖の果てまでいってQカレンダー発売 | 節分(成田) |  | ①感染予防を考慮しつつ、ソーシャルディスタンスを保ったイベントの開催<br>②製作レク月2回以上の実施<br>③思い出にのこるカレンダーの製作 |              |  |                            |  |  |
|         |          |                       | コロナウイルス感染予防を考慮した食事の時間を提供し、「馴染みの仲間たちとのおいしい食事の場」を提供する。                             | 藤川/谷         | 計画<br>野外焼き肉(BBQ)                   |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              | ①食事時のコロナウイルス感染予防をクラスター化防止する<br>②感染予防を行い野外でのバーベキューの開催 |                            |  |  |
|         |          |                       |  |              |                                    |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              |  |                            |  |  |
|         |          |                       |  |              |                                    |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              |  |                            |  |  |
|         |          |                       |  |              |                                    |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              |  |                            |  |  |
| 4       | (1)      | 自立支援プログラムの構築          | 理学療法士によるマシントレーニング及び非マシンによるトレーニングを提供し、リハビリテーションプログラムの拡充を図る。                       | 大矢/大河原       | 計画<br>フットケアコーナー(大矢)                |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   | ①リハビリアイテムの設置 |  |                            |  |  |
|         |          |                       | 生活目標の設定・掲示をし計画的に機能訓練を行い、生活意欲向上、生活能力の維持向上を図る。                                     | 大河原/藤川       | 計画<br>生活目標掲示(藤川・大河原)               |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         | 生活目標掲示(藤川・大河原)                       |                    |        |  |   |              | ①生活目標達成者10名<br>②7月と12月に表彰各一名行える                      |                            |  |  |
|         |          |                       | 口腔スクリーニングを定期的に行う事で口腔機能低下を早期に発見、対応する。   | 藤川/谷/成田      | 計画<br>口腔スクリーニング開始                  |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              |  | ①全利用者の口腔状態の把握              |  |  |
|         |          |                       | 栄養状況の把握と改善を他職種共同で行い栄養状況改善を行い重度化予防を行う。  | 谷/鈴木/成田      | 計画<br>養改善アセスメント                    |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              |  | ①全利用者の栄養状況の把握              |  |  |
|         |          |                       | リハビリ、機能訓練、口腔機能スクリーニング、栄養状況の把握の4つの取り組みを科学的介護情報システム(LIFE)を活用し、フィードバック受け介護の質の向上を図る。 | 谷/大矢         | 計画<br>LIFEシステムデータ提出                |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              |  | ①科学的介護の導入により、PDCAサイクルを実施する |  |  |
|         |          |                       |  |              |                                    |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              |  |                            |  |  |
| 5.6     | (2)      | 介護予防と重度化予防            | 総合記録シートの導入とケアチェックを行い入院リスクの低減、中重度化に対応する。  | 谷/成田/藤川      | 計画<br>ケアチェック                       |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  | 入院による休止件数 2割削減(R2 33名見込み R3 26名)  |              |  |                            |  |  |
|         |          |                       | 学習会(健康立ち話)の実施による利用者の健康リスクの意識啓発を行う。   | 谷/成田/藤川      | 計画<br>健康立ち話                        |    |   |                        |   |  |           |     |                          |         |                                      |                    |        |  |   |              | 職員全員(パート含む)が健康立ち話(15分程度)の運営が出来る                      |                            |  |  |

令和9年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 デイサービスはびわす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待通りの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No.   | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容  | 実施担当者   | 中間評価                            |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    | ゴール(達成目標) | 最終評価  | 評価内容  |  |  |  |  |
|---|----------|---|--|---------|---------------------------------|---|----|----|---------------|----|--------|-------|-----|----|----|----|-----------|---|---|--|--|--|--|
|   |          |   |  |         | 4月                              | 5月  | 6月 | 7月 | 8月            | 9月 | 10月    | 11月   | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |           |   |   |  |  |  |  |
| 7   | (2)      | 安心して利用できる<br>デイサービスづくり                                  | 認知症予防のための学習療法の充実をはかる。  | 石坂/成田   | 計画                              | 学習療法  |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   | 12名の学習療法の実施(R2 8名)   |  |  |  |
|   |          |   |  | 実施      |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
|   |          |   | 事故・感染症の予防を行い安心・安全なデイサービスをつくる。  | 藤川/井上   | 計画                              | フェイスシールドの購入(谷)                                  |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  | インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス<br>感染0件   |  |  |
|   |          |   |  | 実施      |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
|   |          |   | 緊急時に迅速に対応できる様に情報の整理を行う。研修に参加し適切な対応ができるように備える。デイ会議にて、リスクの高い方のカンファレンスを行う。  | 藤川/井上   | 計画                              | 救命救急講習(デイ)                                      |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  | 介護事故発生3割削減<br>(R2 8件見込み R3 5件)   |  |  |
|   |          |   |  | 実施      |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
|   |          | 病欠の利用者の情報の収集を行い、医療連携を迅速に行える様に相談助言を行う。                   | 藤川/井上  | 計画      | 随時                              |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   | 入院による休止件数 2割削減<br>(R2 33名見込み R3 26名)                                 |  |  |  |
|   |          |   | 実施   |         |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
|   |          | コロナウイルス感染予防の研修を定期的<br>に開催・参加し、最新の感染予防・感染対応<br>について学習する。 | 藤川/井上  | 計画      | 随時                              |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   | コロナウイルスのクラスター<br>発生させない  |  |  |  |
|   |          |   | 実施   |         |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
|   |          | 8   | (1)  | 地域資源の活用 | 地域のボランティア団体との連携を図り、プログラムを充実させる。 | 谷/成田  | 計画 | 随時 |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  | コロナウイルスの感染状況を<br>ふまえ柔軟に対応する。<br>収束傾向があれば、迅速にボ<br>ランティアの方々へ連絡を取<br>り再開の段取りを整える。 |  |  |
|   |          |   |  |         |                                 | 実施  |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
| 地域の活動に積極的に利用者が関わることが<br>できる様支援を行う。<br>(子供体験教室、地域サロン活動への参加・訪<br>問) | 谷/成田     |   |  | 計画      | 随時                              |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   | コロナウイルスの感染状況を<br>ふまえ柔軟に対応する。<br>感染予防を行いながら、地<br>域に貢献できる仕組みの検<br>討する。 |  |  |  |
|   | 実施       |   |  |         |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
| 9   | (2)      | ケアスキル<br>接遇マナー向上  | 研修・勉強会・接遇マナーに参加しケアスキル<br>向上、接遇マナーの基本を学ぶ。全職員が認<br>知症介護の理念、知識、技術を習得する。(医<br>療福祉関係の資格のないものから優先し認知<br>症実践者研修の参加令和3年度 田中岩井) | 谷/成田    | 計画                              | マナー・モラル<br>研修<br>(デイ)<br>認知症介護実<br>践者研修日時<br>確認 |    |    | 食中毒研修<br>(デイ) |    | 基礎介護研修 | 感染症研修 |     |    |    |    |           | 基礎介護研修参加<br>接遇マナー研修の実施<br>接遇マナーに関する苦情0<br>件<br>重度化への対応<br>(平均介護度 R2 1.57<br>R2 1.7) |   |  |  |  |  |
|   |          |   |  | 実施      |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
| 10  | (3)/(4)  | スタッフのやりがいと<br>業務改善                                      | 業務改善を定期的に行い、無理無駄を削減す<br>る。   | 谷/成田    | 計画                              | リーダー会議<br>にて実施                                  |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   | オペレーションの見直しを行<br>い、効率化を図る。業務時<br>間内に行える業務を増加さ<br>せる(環境整備、室内しつら<br>え、ハンドメイド準備、買い<br>出し等) |  |  |  |  |
|   |          |   |  | 実施      |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
|   |          | スタッフ自身も生き活きと働けるよう、長期休暇<br>(7連休)を計画的に取得する。               | 谷/成田   | 計画      |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   | 希望者全員のリフレッシュ休<br>暇取得   |  |  |  |
|   |          |   | 実施   |         |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |
|   |          | 介護記録のIT化導入・促進し、働きやすい職場<br>作りと業務効率化を図る。                  | 藤川/谷   | 計画      |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   | 請求システム検討   |  |  |  |
|   |          |   | 実施   |         |                                 |   |    |    |               |    |        |       |     |    |    |    |           |   |   |  |  |  |  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 デイサービスはぴはす (評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画<br>No. | 重点目標<br>との連動 | 取組み事項   | 取組み内容  | 実施<br>担当者 |    | 4月                   | 5月                        | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 中間<br>評価               | 10月 | 11月                  | 12月 | 1月                   | 2月 | 3月 | ゴール<br>(達成目標) | 最終<br>評価   | 評価内容 |  |  |  |  |  |  |
|-------------|--------------|---------|--|-----------|----|----------------------|---------------------------|----|----|----|----|------------------------|-----|----------------------|-----|----------------------|----|----|---------------|--|------|--|--|--|--|--|--|
|             |              |         |  |           |    |                      |                           |    |    |    |    |                        |     |                      |     |                      |    |    |               |  |      |  |  |  |  |  |  |
| 11          | (4)          | 適正収益の確保 | 新規パンフレット準備・作成  | 谷/成田      | 計画 |                      |                           |    |    |    |    | 新パンフレット<br>作成計画<br>(谷) |     | 新パンフレット<br>完成<br>(谷) |     |                      |    |    |               | 月間利用者数 平均27.0名<br>以上<br>目標収益<br>76,019,000円<br>※登録利用者数、34名定員 |      |  |  |  |  |  |  |
|             |              |         |  |           | 実施 |                      |                           |    |    |    |    |                        |     |                      |     |                      |    |    |               |  |      |  |  |  |  |  |  |
|             |              |         | 適切な利益の確保し、健全な経営ができる様にする。<br>(令和2年 平均利用者数 23.9名 当初予算 59,909,804円)<br>(令和3年 平均利用者数 27.0名 当初予算 66,794,779円) | 谷/成田      | 計画 | 居宅用チラシ<br>作成<br>(大矢) | ホームページ<br>画像リニューアル<br>(谷) |    |    |    |    |                        |     | 定員34名真栄<br>(谷)       |     | 新パンフレット<br>完成<br>(谷) |    |    |               |  |      |  |  |  |  |  |  |
|             |              |         |  |           | 実施 |                      |                           |    |    |    |    |                        |     |                      |     |                      |    |    |               |  |      |  |  |  |  |  |  |

事業所名(部署)

介護センターさつき苑

1. 基本方針

良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る

2. 重点目標

- (1) 健康リスク管理(自立支援)と生き活きはびねすプラン(QOL向上)の継続
- (2) 事業所内のケアカンファレンス・会議・勉強会及び外部研修、外部機関とのケア会議を通じて、ケアマネジメントの実践力を向上
- (3) 地域への貢献を通して、利用者の在宅生活を地域機関・住民と共に支える人的ネットワークを拡充
- (4) 事業所の運営管理を円滑に実施
- (5) 適正利益の確保とリフレッシュ休暇の推進

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項  | 取組み内容  | 新規/継続 | 担当者 |          |
|-----|----------|--|--|-------|-----|----------|
|     |          |  |  |       | 主査  | 補佐       |
| 1   | (1)      | 利用者の課題に対し具体的なケアの方針が立てられるように、在宅版トータルケアシートの活用と多職種連携を強化 | ①在宅版トータルケアシート導入とケアチェック強化(ケアマネ1人4ケースを目標)  | 継続    | 佐藤  | 山本<br>正広 |
|     | (1)      | 「生き活きハピネスプラン」の策定とケアの提供                               | ①利用者の笑顔や喜びを導き出すため、「生き活きはびねすプラン」を策定し、ケアマネジャー自身が外出支援(コーヒー茶ろんでく、朝市など)を実施(1ケース)とブログアップ | 継続    |     |          |

### 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項               | 取組み内容  | 新規/継続 | 担当者  |      |
|-----|----------|---------------------|--|-------|------|------|
|     |          |                     |  |       | 主査   | 補佐   |
| 2   | (2)      | 専門的知識と技術の向上         | ①法人内研修(基礎介護力向上・マナー接客研修等)に参加して知識・技術を習得<br>②ケアマネ会議・地域ケア会議・地域ケアマネジメント会議での研修・カンファレンスを実施<br>③外部研修を受講し最新の知識・技術を習得<br>④介護支援専門員法令研修の受講(1名)と年2回自己点検用紙にて自主点検を実施<br>⑤ケアマネジャーの接遇及びケアマネジメントの満足度を把握するため、満足度調査を実施<br>⑥職員面談の実施<br>⑦サービス向上発表の実施 | 継続    | 山本裕子 | 坂林   |
| 3   | (3)      | 地域への貢献              | ①地域住民に対する講話などにより貢献活動を実施  | 継続    | 山本正広 | 佐藤   |
| 4   | (4)      | マニュアル作成にて業務分担管理     | ①請求業務<br>②物品発注・書類補充<br>③提供表発送<br>④減算チェック   | 継続    | 坂林   | 山本裕子 |
| 5   | (5)      | 適正利益の確保とリフレッシュ休暇の推進 | ①目標利用者人数(期初170名→期中175名→期末180名:年間平均利用者数180名)<br>②目標収益:25,138千円(前年度当初予算22,740千円)<br>③集中減算資料を年2回(3月～8月・9月～2月)作成<br>④全職員が5日間リフレッシュ休暇を取得  | 継続    | 佐々木  |      |



令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項  | 取組み内容   | 実施担当者     | 4月    | 5月  | 6月                 | 7月                  | 8月                 | 9月                 | 中間評価               | 10月                | 11月                | 12月                 | 1月                 | 2月        | 3月 | ゴール(達成目標)       | 最終評価                      | 評価内容 |                    |   |    |    |
|----------|----------|--|---|-----------|-------|---|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------|-----------|----|-----------------|---------------------------|------|--------------------|---|----|----|
|          |          |  |   |           | 計画    | 実施  | 計画                 | 実施                  | 計画                 | 実施                 |                    | 計画                 | 実施                 | 計画                  | 実施                 | 計画        | 実施 |                 |                           |      | 計画                 | 実施                                      | 計画 | 実施 |
| 1        | (1)      | 利用者の課題に対し具体的なケアの方針がたてられるように、在宅版トータルケアシートの活用と多種職連携を強化 | ①在宅版トータルケアシート導入とケアチェック強化(ケアマネー4ケースを目標)  | 佐藤(山本)(正) | 計画    | 実施人数                                      |                    |                     |                    |                    | →                  |                    |                    |                     |                    |           |    | ・平均4ケース実施       |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           | 実施    | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤                        | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤 | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤  | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤 | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤 | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤 | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤 | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤 | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤  | 佐々木 坂林 佐藤 山本 山本 佐藤 |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          | 「生き活きはびねすプラン」の策定とケアの提供                               | ①利用者の笑顔や喜びを導き出すため、「生き活きはびねすプラン」を策定し、ケアマネジャー自身が外出支援(コーヒー茶ろんでく、朝市など)を実施。(ケアマネー1ケース) |           | 計画    | 随時実施                                      |                    |                     |                    |                    | →                  |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           | 実施    |   |                    |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
| 2        | (2)      | 専門的知識と技術の向上  | ①法人内研修(基礎介護力向上・マナー接客研修等)に参加して、知識・技術を取得。   | 山本(裕) 坂林  | 計画    |   |                    |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 | ・計画通り全員参加                 |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           | 実施    |   |                    |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       | ②ケアマネ会議・地域ケア会議・地域マネジメント会議での研修・カンファレンスを実施  | 計画                 | CM会議内容 法令研修         |                    | CM会議内容 制度の研修       |                    | CM会議内容 スーパービジョン    |                    |                     |                    | CM会議内容 IT |    |                 |                           |      |                    | ・計画通り会議を実施                              |    |    |
|          |          |  |   |           |       |   | 実施                 |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       | ③外部研修を受講し最新の知識・技術を習得。                     | 計画                 | 外部研修 受講             |                    |                    |                    |                    |                    |                     | →                  |           |    |                 |                           |      |                    | ・1人1回外部研修を受講                            |    |    |
|          |          |  |   |           |       |   | 実施                 |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       | ④介護支援専門員法令研修の受講(1名)と年2回自己点検用紙にて自主点検を実施    | 計画                 | -                   | -                  | -                  | 自己点検 実施            | 更新研修               |                    |                     |                    |           |    | 自己点検            |                           |      |                    | ・法定研修の参加と、自己点検シートで自己評価し、専門職としての振り返りができる |    |    |
|          |          |  |   |           |       |   | 実施                 | -                   | -                  | -                  |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       | ⑤ケアマネジャーの接遇及びケアマネジメントの満足度を把握する為、満足度調査を実施。 | 計画                 | -                   | -                  | -                  |                    |                    |                    |                     | 起案書                | 準備 配布     | 回収 | 集計 提出           |                           | 提出   | 結果 改善案             | ・満足度調査を実施し、集計・情報を踏まえ、次年度の計画に活かす         |    |    |
|          |          |  |   |           |       |   | 実施                 | -                   | -                  | -                  |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          | ⑥職員面談の実施   | 計画  | -         | -     | -   | 面談                 |                     |                    |                    |                    |                    |                    | 面談                  |                    |           |    | ・面談を実施          |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  | 実施  | -         | -     | -   |                    |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          | ⑦サービス向上発表の実施   | 計画  | -         | 5月14日 | 発表者 佐々木                                   | 内容の 検討             | 実践                  | 実践                 |                    |                    | 実践                 | 進捗状況               | 発表に向けて 資料作成         |                    |           | 発表 | ・サービス向上で発表      |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  | 実施  |           |       |   |                    |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
| 3        | (3)      | 地域への貢献   | ①地域住民に対する講話などにより貢献活動を実施   | 山本(正) 佐藤  | 計画    | 介護の入門 的研修                                 |                    | 認知症サポーター キーパーバ ンメイト |                    |                    |                    |                    |                    | 認知症サポーター キーパーバ ンメイト |                    |           |    | ・講座を2回以上計画通りに実施 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           | 実施    |   |                    |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
| 4        | (4)      | マニュアル作成にて統一した業務分担管理                                  | ①請求業務   | 坂林(山本)(裕) | 計画    | 山本(正) 補:佐藤(裕)                             | 佐々木 補:山本(正)        | マニュアル更新 山本(裕) 佐々木   |                    |                    |                    | →                  |                    |                     |                    |           |    |                 | ・マニュアル通り実施し、入力ミスによる返戻をなくす |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           | 実施    |   |                    |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       | ②物品発注・書類補充                                | 計画                 | 作成                  |                    |                    |                    |                    |                    |                     | →                  |           |    |                 |                           |      | ・予算通り物品購入を実施       |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       |   | 実施                 |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       | ③提供表発送                                    | 計画                 | 作成                  |                    |                    |                    |                    |                    |                     | →                  |           |    |                 |                           |      | ・マニュアル通り実施し業務効率を図る |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       |   | 実施                 |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       | ④減算チェック                                   | 計画                 | 作成                  |                    |                    |                    |                    |                    |                     | →                  |           |    |                 |                           |      | ・書類、システム管理を確実に実施   |   |    |    |
|          |          |  |   |           |       |   | 実施                 |                     |                    |                    |                    |                    |                    |                     |                    |           |    |                 |                           |      |                    |   |    |    |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 \_\_\_\_\_ [評価基準] S: チャレンジした企画が成功 A: 期待以上の結果 B: 期待どおりの結果 C: アクションしたが結果不十分、D: まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との運動 | 取組み事項               | 取組み内容                                       | 実施担当者 | 4月    | 5月     | 6月 | 7月 | 8月 | 9月     | 中間評価   | 10月 | 11月   | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | ゴール(達成目標) | 最終評価        | 評価内容           |         |  |  |
|----------|----------|---------------------|---|-------|-------|--------|----|----|----|--------|--------|-----|-------|-----|----|----|----|-----------|-------------|----------------|---------|--|--|
| 5        | (5)      | 適正利益の確保とリフレッシュ休暇の推進 | ①目標利用者人数(初期175名→期中180名→期末185名:年間平均利用者数180名) | 佐々木   | 計画    | 初期175名 |    |    |    |        | 期中180名 |     |       |     |    |    |    | 期末185名    | 平均目標180名を達成 |                |         |  |  |
|          |          |                     | 実施  |       |       |        |    |    |    |        |        |     |       |     |    |    |    |           |             |                |         |  |  |
|          |          |                     | 計画  |       | 達成・未達 | →      |    |    |    |        |        |     | 達成・未達 | →   |    |    |    |           |             | ・目標収益を達成       |         |  |  |
|          |          |                     | 実施  |       |       |        |    |    |    |        |        |     |       |     |    |    |    |           |             |                |         |  |  |
|          |          |                     | 計画  |       | -     | -      | -  | -  | -  | 集中減算作成 |        |     |       |     | -  | -  | -  | -         | -           | 集中減算作成         | ・資料作成実施 |  |  |
|          |          |                     | 実施  |       | -     | -      | -  | -  | -  |        |        |     |       | -   | -  | -  | -  | -         |             |                |         |  |  |
|          |          |                     | 計画  |       | 随時実施  | →      |    |    |    |        |        |     | 随時実施  | →   |    |    |    |           |             | ・全員リフレッシュ休暇を取得 |         |  |  |
|          |          |                     | 実施  |       |       |        |    |    |    |        |        |     |       |     |    |    |    |           |             |                |         |  |  |

事業所名(部署)

多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

1. 基本方針

『良いケア、良い職場、良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 知識・技術の専門性の向上を図り 安全で根拠に基づく介護サービスを提供する
- (2) 主体性をもって介護過程を展開し利用者の満足度を高める
- (3) 職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる
- (4) 業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する

3. 事業所(係)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項            | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者        |             |
|-----|----------|------------------|---|-------|------------|-------------|
|     |          |                  |   |       | 主査         | 補佐          |
| 1   | (1)      | 安全で根拠に基づくサービスの提供 | ①ケアチェック、根拠に基づきカンファレンスを実施し、中重度化に対応したケアを提供する<br>②アセスメントシートの定期更新(ケアプラン更新時)<br>③安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ(事故件数R2年33件→R3年25件)<br>④身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回研修実施) | 継続    | 各リーダー      | 主任          |
| 2   | (1)      | 安全で美味しい食事の提供     | ①より見た目もきれいで美味しいソフト食の提供<br>②現病の悪化、既往症の再発予防するための治療食の充実化   | 継続    | 各スタッフ      | 栄養士         |
| 3   | (1)      | 疾病の管理と医療的ケアの充実   | ①ケアチェックを強化し、病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ(入院延べ日数R2年 67日→R3年 60日)<br>②誤嚥性肺炎による入院者0名(R2年 1名→R3年0名)   | 継続    | リーダー<br>主任 | 課長          |
| 4   | (1)      | 食中毒・感染症の予防       | ①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める。(集団感染0件)<br>②非常災害時における訓練と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。  | 新規・継続 | 課長         | 主任<br>各リーダー |
| 5   | (1)      | 基礎介護力の向上         | ①法人全体で基礎介護力向上研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る<br>②外部研修の計画・実施  | 継続    | 課長         | 主任          |

### 3. 事業所(係)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項              | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者        |       |
|-----|----------|--------------------|---|-------|------------|-------|
|     |          |                    |   |       | 主査         | 補佐    |
| 6   | (2)      | 心身機能の維持向上を図る暮らしの充実 | ①利用者の課題を分析し、計画の立案、目標に向けたケアを展開しADL及びQOLの向上を目指す<br>② <u>楽しみや喜びのあるアクティビティーを計画・実施する</u>   | 新規・継続 | 大懸         | 出倉    |
| 7   | (3)      | 働きやすい職場づくり         | ①不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期的に職員面談を実施する<br>②リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化<br>③退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)<br>④介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT、IOT化の推進 | 新規・継続 | 課長主任       | 大倉    |
| 8   | (3)      | チームワークの向上          | ①週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする<br>②職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう一年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)   | 継続    | リーダー       | 各スタッフ |
| 9   | (5)      | 業務の効率化             | ①業務の見直しを行い業務分担を明確にし見える化する<br>②従来のマニュアルの見直しと整理   | 継続    | 主任<br>リーダー | 課長    |
| 10  | (5)      | 適正利益の確保            | ①ケアの質向上により入院者数を減少させ、目標稼働率98%を達成する。(目標介護保険事業収入:84,654,000円)<br>②光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める(前年度より-3%)<br>③ <u>新たな加算を取得とLIFEとの情報連携の推進。</u>                  | 新規・継続 | 課長         | 各スタッフ |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

例)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項            | 取組み内容  | 実施担当者         |    | 4月                         | 5月 | 6月     | 7月     | 8月     | 9月       | 中間評価 | 10月    | 11月      | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | ゴール(達成目標) | 最終評価 | 評価内容                                 |   |                                 |  |
|----------|----------|------------------|--|---------------|----|----------------------------|----|--------|--------|--------|----------|------|--------|----------|-----|----|----|----|-----------|------|--------------------------------------|---|---------------------------------|--|
|          |          |                  |  |               |    |                            |    |        |        |        |          |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      |   |                                 |  |
| 1        | (1)      | 安全で根拠に基づくサービスの提供 | ケアチェック、根拠に基づきカンファレンスを実施し、中重度化に対応したケアを提供する            | 主任リーダー        | 計画 | Wチェック<br>モニタリング<br>カンファレンス |    |        |        |        |          |      |        |          |     |    |    |    |           |      | ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持する。 |   |                                 |  |
|          |          |                  | アセスメントシートの定期更新(ケアプラン更新時)                             | 主任リーダー        | 計画 | ケアプラン更新<br>アセスメントシート更新     |    |        |        |        |          |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      |   | アセスメントシートの定期更新を実施する。            |  |
|          |          |                  | 安全で予防的なケアに努め、事故及び事故の再発を防ぐ                            | 主任リーダー        | 計画 | 毎月の会議<br>での事故報告・分析         |    | 救命救急研修 |        |        |          |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      |   |                                 | 転倒、転落事故21件→15件<br>薬に関する事故 3件→0件<br>(事故件数R2年33件→R3年25件) |
|          |          |                  | 身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回研修実施)                      | リーダー          | 計画 |                            |    |        |        |        | 虐待予防研修   |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      |   |                                 | 年2回研修を実施する。<br>身体拘束・虐待0件。                              |
| 2        | (1)      | 安全で美味しい食事の提供     | より見た目もきれいで美味しいソフト食の提供                                | リーダー<br>栄養士   | 計画 | ソフト食の提供                    |    |        |        |        | ソフト食の評価  |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      | 嚥下困難な方が安全に食事(口腔摂取)ができる。                       |                                 |  |
|          |          |                  | 現病の悪化、既往症の再発予防するための治療食の充実化                           | リーダー<br>栄養士   | 計画 | 治療食提供                      |    |        |        |        | 治療食評価    |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      |   |                                 | 現病の悪化、既往症の再発予防する。                                      |
| 3        | (1)      | 疾病の管理と医療的ケアの充実   | ケアチェックを強化し病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ                         | 主任リーダー<br>看護師 | 計画 | 体調不良者・入院者の分析               |    |        | 健康診断   |        |          |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      | 病気の発症を防ぎ重症化や再発をさせない。<br>(入院延べ日数R2年67日→R3年60日) |                                 |  |
|          |          |                  | 誤嚥性肺炎による入院者0名  | 主任リーダー<br>看護師 | 計画 | 食事チェック<br>口腔ケアの徹底          |    |        |        |        |          |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      |   |                                 | 誤嚥性肺炎による入院者0名<br>(R2年1名→R3年0名)                         |
| 4        | (1)      | 食中毒・感染症の予防       | 感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める | 課長<br>主任リーダー  |    |                            |    |        |        |        | 感染症予防研修会 |      |        |          |     |    |    |    |           |      |                                      | 食中毒、感染症の集団感染0件                                |                                 |  |
|          |          |                  | 非常災害時における訓練と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える         | 課長<br>主任リーダー  | 計画 | 防護服脱着訓練                    |    |        |        |        |          |      | 非常災害訓練 |          |     |    |    |    |           |      |                                      |   |                                 | 非常災害時訓練と感染症対策訓練の実施。全職員が感染症対策対応ができる。                    |
| 5        | (2)      | 基礎介護力の向上         | 法人全体で段階別基礎介護研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る         | 課長<br>主任      |    |                            |    |        |        | 基礎介護研修 |          |      | 基礎介護研修 | 基礎介護研修   |     |    |    |    |           |      |                                      | 経験・スキルに合わせた研修の実施により職員のケアのレベルアップができる。          |                                 |  |
|          |          |                  | 外部研修の計画・実施   | 課長<br>主任      | 計画 |                            |    |        | 新任職員研修 |        |          |      |        | 認知症実践者研修 |     |    |    |    |           |      |                                      |   | 外部研修に参加し、ケアの向上を図る。(職場に1つ以上還元する) |  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 多機能型グループホーム鷹栖なごみの家

例)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項              | 取組み内容   | 実施担当者    |    | 4月               | 5月     | 6月           | 7月                               | 8月             | 9月              | 中間評価 | 10月     | 11月            | 12月             | 1月      | 2月      | 3月           | ゴール(達成目標)  | 最終評価                      | 評価内容  |                      |  |  |  |
|----------|----------|--------------------|---|----------|----|------------------|--------|--------------|----------------------------------|----------------|-----------------|------|---------|----------------|-----------------|---------|---------|--------------|--|---------------------------|---|----------------------|--|--|--|
|          |          |                    |   |          |    |                  |        |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           |   |                      |  |  |  |
| 6        | (3)      | 心身機能の維持向上を図る暮らしの充実 | 利用者の課題を分析し、計画の立案、目標に向けたケアの展開しQOL及びADLの向上を目指す                  | リーダー各担当  | 計画 |                  |        | 面談による取組み目標設定 | ・アセスメント(情報収集、課題分析)実施<br>・ケアプラン立案 | ケアプランに基づくケアの実施 | モニタリングとケアプラン見直し |      | ケアプラン評価 | ケアプランに基づくケアの実施 | モニタリングとケアプラン見直し | ケアプラン評価 | ケアプラン評価 | 総括、成果の確認(面談) | 全職員が、担当利用者のADLとQOLそれぞれの向上を目指したプランを立て、取組み、成果をふりかえる。 |                           |   |                      |  |  |  |
|          |          |                    | 楽しみや喜びのあるアクティビティを計画・実施  | リーダー各担当  | 計画 | 各ユニットのアクティビティ担当者 | 年間計画作成 |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           | 計画どおり実施することで利用者のQOLの向上を目指す。                                   |                      |  |  |  |
| 7        | (3)      | 働きやすい職場づくり         | 不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、職員面談を実施する                           | 主任リーダー   | 計画 |                  |        | 面談の実施        |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  | 面接を実施することで不安や悩みを軽減・解消する。  |   |                      |  |  |  |
|          |          |                    | リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化                                       | 課長主任     | 計画 | 連続休暇調整           |        |              | 連続有給休暇取得                         |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           | 1人8日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を4日つける)<br>有給休暇は、年間5日以上とする。 |                      |  |  |  |
|          |          |                    | 退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)                                 | 課長主任リーダー | 計画 | 退職者0             |        |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           | 結婚・出産以外での退職者をださない。  |                      |  |  |  |
|          |          |                    | 介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT、IOT化の推進                    | 課長主任     | 計画 | 介護ロボット導入         |        |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           |   | 介護負担の軽減と業務の効率化を図る。   |  |  |  |
| 8        | (3)      | チームワークの向上          | 週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする                                   | 主任リーダー   | 計画 | 毎日の引継ぎで目標を共有する   |        |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  | 思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。 |   |                      |  |  |  |
|          |          |                    | 職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表) | 主任リーダー   | 計画 | 取組み内容決定          | 取組み    |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           |   | 一つのテーマにチームで取組み成果を出す。 |  |  |  |
| 9        | (5)      | 業務の効率化             | 業務の見直しを行い業務分担を明確にする   | 主任リーダー   | 計画 |                  |        | 業務整理         | 業務見直し                            |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           | 業務を見直し、業務分担を明確にすることにより、業務の効率を図る。                              |                      |  |  |  |
|          |          |                    | 従来のマニュアルの見直しと整理   | 主任リーダー   | 計画 |                  |        |              |                                  | 従来マニュアルの確認     | マニュアルの整備        |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           |   | 従来のマニュアルの見直しと整理      |  |  |  |
| 10       | (5)      | 適正利益の確保            | ケアの質向上により入院者数を減少させ、目標稼働率98%を達成する(目標介護保険事業収入84,642,915円)       | 課長主任リーダー | 計画 | 稼働率98%           |        |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           | 長期入院者を出さない。(入院延べ日数60日)<br>目標介護保険事業収入達成                        |                      |  |  |  |
|          |          |                    | 光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める                                       | 主任リーダー   | 計画 | 節約運動強化月間         |        |              | 節約運動強化月間                         | 節約運動強化月間       |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           |   |                      | 光熱使用量を前年度より3%削減する。                         |  |  |
|          |          |                    | 新たな加算の取得とLIFEとの情報連携の推進  | 課長主任リーダー | 計画 | 新加算取得開始          |        |              |                                  |                |                 |      |         |                |                 |         |         |              |  |                           |   |                      | 新たな加算を取得し、LIFEからのフィードバックを活用し効果的なサービスを提供する。 |  |  |

事業所名(部署)

小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

## 1. 基本方針

『良いケア、良い職場、良い経営をみんなの力で創る』

## 2. 重点目標

- (1) 知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスを提供する
- (2) 主体性をもって介護過程を展開し利用者の満足度を高める
- (3) 職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる
- (4) 業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する

## 3. 事業所(係)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項               | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者       |             |
|-----|----------|---------------------|---|-------|-----------|-------------|
|     |          |                     |   |       | 主査        | 補佐          |
| 1   | (1)      | 安全で根拠に基づくサービスの提供    | ①アセスメントシートの整理と定期的なデータ更新<br>②ダブルチェック、ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する<br>③安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ(R2年度 12件→R3年度 10件)<br>④身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回研修実施)  | 継続    | 主任        | リーダー        |
| 2   | (1)      | 安全で美味しい楽しみのある食事の提供  | ①個別に合わせた適切な食事形態を提供する<br>②利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事・行事食を計画し実施する   | 継続    | 高橋        | 栄養士<br>リーダー |
| 3   | (1)      | 食中毒・感染症の予防          | ①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウィルス、ノロウィルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める。(集団感染0件)<br>②非常災害時における訓練と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。  | 新規・継続 | 主任<br>看護師 | 課長          |
| 4   | (1)      | 疾病の管理と医療的ケアの充実      | ①ケアチェックを強化し、病気の発症及び重症化を防ぐ。医療と介護連携により、入院での利用休止を減らす(R2年度1名→R3年度0名)<br>③在宅生活を継続できるよう、ケアマネジメントの強化(訪問サービスの提供で在宅での健康管理を強化し、介護者の介護力を見極め必要な支援・援助を行う)<br>④総合記録シート・あったかす健康ノートの活用をし、主治医・かかりつけ医との医療連携の強化を図る | 継続    | 看護師       | 主任          |
| 5   | (1)      | 基礎介護力の向上            | ①法人全体で基礎介護力向上研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る<br>②外部研修の計画・実施  | 継続    | 主任        | リーダー        |
| 6   | (2)      | アクティビティの充実          | ①楽しみ・喜び・やりがいのあるアクティビティーを計画・実施する(思い出に残るもの、持ち帰りできる物、成果のある物、発表・展示できる物)<br>②学習療法をより多くの方に参加していただくために、定期的に利用者・ご家族へPRをおこなう。定期的に楽習診断を行い評価を行う  | 継続    | 川口        | リーダー        |
| 7   | (2)      | 環境を改善し過ごしやすい生活環境を作る | ①施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る   | 継続    | 小林        | 田中          |

3. 事業所(係)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項      | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者 |            |
|-----|----------|------------|---|-------|-----|------------|
|     |          |            |   |       | 主査  | 補佐         |
| 8   | (3)      | 働きやすい職場づくり | ①不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期的に職員面談を実施する<br>②リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化<br>③退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)<br>④介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT、IOT化の推進   | 新規・継続 | 主任  | 高橋         |
| 9   | (3)      | チームワークの向上  | ①週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする<br>②職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう一年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)   | 継続    | 主任  | リーダー       |
| 10  | (4)      | 業務の効率化     | ①業務の見直しを行い業務分担を明確にし見える化する<br>②従来のマニュアルの見直しと整理<br>③訪問サービス(安否確認・生活援助・家事援助)専属スタッフの採用   | 新規・継続 | 主任  | 課長<br>リーダー |
| 11  | (4)      | 適正利益の確保    | ①新規登録者の確保(R2年度6名→R3年度7名)の為に計画をたてPR活動を行う(登録目標人数23名)<br>②目標介護保険事業収入 65,416,000円(前期:65,403,000円)<br>③ダブルチェックの徹底と総合記録シートを活用し予防的なケアに努め、長期入院、施設入居を減らす(R2年度長期入院1名→R3年度1名 R2年度施設入居5名→R3年度3名)<br>④光熱費に対するコスト意識を高め、節約に努める(前年度より-3%)<br>⑤新たな加算を取得とLIFEとの情報連携の推進。 | 新規・継続 | 主任  | リーダー       |



令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

例)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項               | 取組み内容   | 実施担当者    | 月別進捗 |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    | ゴール(達成目標) | 最終評価 | 評価内容                           |   |   |  |   |
|----------|----------|---------------------|---|----------|------|----|----|----|----|----|------|-----|-----|-----|----|----|-----------|------|--------------------------------|---|---|--|---|
|          |          |                     |   |          | 4月   | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 中間評価 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |           |      |                                | 3月  |   |  |   |
| 1        | (1)      | 安全で根拠に基づくサービスの提供    | アセスメントシートの整理と定期的なデータ更新  | 主任リーダー   | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                | データ更新                                     |   | アセスメントシートの整理と定期的なデータ更新   |   |
|          |          |                     | ダブルチェック、ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する                                    | 主任リーダー   | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | Wチェック<br>ヒアリング<br>カンファレンス                   |  | ケア困難ケースにおいて随時ケースカンファレンスをし本人の状態を維持                                       |
|          |          |                     | 安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ  | 主任リーダー   | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | 毎月の会議での事故報告・分析                              |  | 事故件数前年度比-2件(R2年度12件→R3年度10件)<br>薬に関する事故0件。                              |
|          |          |                     | 身体拘束及び虐待防止の取組みを継続して行う(年2回研修実施)  | 主任リーダー   | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | 虐待予防研修                                      |  | 年2回研修を実施する。<br>身体拘束・虐待0件。   |
| 2        | (1)      | 安全で美味しく楽しみのある食事の提供  | 個別に合わせた適切な食事形態を提供する   | 高橋栄養士    | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      | 食事ケアチェック                       |   | 食事形態の多様化により、全員口腔摂取ができ、食事が安定する。              |  |   |
|          |          |                     | 利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画し実施する  | 高橋栄養士    | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                | 出前<br>お茶会<br>祝日行事食                        |   | 満足度調査を実施し、食事に関して90%が良いの評価。   |   |
| 3        | (1)      | 食中毒・感染症の予防          | 感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒の感染予防に努める(集団感染0件)             | 主任看護師課長  | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      | 食中毒研修                          |   | 食中毒、感染症の集団感染0件                              |  |   |
|          |          |                     | 非常災害時における訓練と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。                           | 主任リーダー   | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | 防護服脱着訓練                                     |  | 非常災害時訓練と感染症対策訓練の実施。全職員が感染症対策対応ができる。                                     |
| 4        | (1)      | 疾病の管理と医療的ケアの充実      | ケアチェックを強化し、病気の発症及び重症化を防ぐ。医療と介護連携により入院での利用休止を減らす                         | 看護師主任    | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                | 的確なケア<br>チェック。受診<br>時の同行支援<br>必要者随時<br>同行 |   | 健康管理・病状の把握(利用者全員、血液検査データを提出してもらう)<br>入院による利用休止を減らす。(R2年度1名→R3年度0名) |   |
|          |          |                     | 在宅生活を継続できるよう、ケアマネジメントの強化(訪問サービスの提供で在宅での健康管理を強化し、介護者の介護力を見極め必要な支援・援助を行う) | 看護師主任    | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | 再アセスメント<br>在宅服薬合<br>記録シート購<br>入者ビッグ<br>アップ  |  | あつたかす健康ノートを使用し、在宅での生活習慣、状況の把握。病状悪化を防ぎ、在宅生活を継続ができる。(あつたかす健康ノート取り組み3名→5名) |
|          |          |                     | 総合記録シート・あつたかす健康ノートの活用をし、主治医・かかりつけ医との医療連携の強化を図る。                         | 看護師主任    | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | 受診時同行・<br>連携シート持<br>参                       |  | 受診時の同行、もしくは連携シートの持参で医療連携を図る   |
|          |          |                     | 法人全体で段階別基礎介護研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る                            | 主任リーダー   | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | 基礎介護研<br>修                                  |  | 経験・スキルに合わせた研修の実施により職員のケアのレベルアップができる。                                    |
| 5        | (1)      | 基礎介護力の向上            | 外部研修の計画・実施  | 主任リーダー   | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      | 認知症実<br>践者研修                   |   | 外部研修に参加し、ケアの向上を図る。(職場に1つ以上還元する)             |  |   |
|          |          |                     |   | 主任リーダー   | 実施   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                | 高齢者ケア研<br>究会参加                            |   |  |   |
| 6        | (2)      | アクティビティの充実          | 楽しみ・喜び・やりがいのあるアクティビティを計画・実施する(思い出に残る物、持ち帰りができる物、成果のある物、発表・展示できる物)       | 川口月担当    | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      | 運動会<br>買い物ツアー<br>月のレク<br>作品づくり |   | 計画どおり実施でき、持ち帰りができる作品作りや成果の見えるアクティビティを取り入れる。 |  |   |
|          |          |                     | 学習療法をより多くの方に参加していただくために、定期的に利用者・ご家族へPRを行う。定期的に学習診断を行い、評価を行う。            | 学習療法マスター | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   | 学習療法案<br>内配布                                |  | 学習療法参加人数の確保<br>(R2年度2名→R3年度5名)  |
| 7        | (2)      | 環境を改善し過ごしやすい生活環境を作る | 施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る  | 小林田中     | 計画   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      | 月担当しつら<br>え(植物管理含<br>む)        |   | 四季の感じられるしつらえを楽しんでいただく。植物を置いて担当が管理する。        |  |   |
|          |          |                     |   | 小林田中     | 実施   |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |           |      |                                |   |   |  |   |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

制S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分 D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項      | 取組み内容  | 実施担当者            |    | 4月   | 5月 | 6月                     | 7月                     | 8月       | 9月 | 中間評価 | 10月 | 11月           | 12月      | 1月             | 2月 | 3月 | ゴール(達成目標) | 最終評価                      | 評価内容  |  |  |  |
|----------|----------|------------|--|------------------|----|------|----|------------------------|------------------------|----------|----|------|-----|---------------|----------|----------------|----|----|-----------|---------------------------|---|--|--|--|
|          |          |            |  |                  |    |      |    |                        |                        |          |    |      |     |               |          |                |    |    |           |                           |   |  |  |  |
| 8        | (3)      | 働きやすい職場づくり | 不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期的に職員面談を実施する                        | 課長<br>主任<br>リーダー | 計画 |      |    | 面談の実施                  |                        |          |    |      |     | 面談の実施         |          |                |    |    |           | 面接を実施することで不安や悩みを軽減・解消する。  |   |  |  |  |
|          |          |            | リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化  | 課長<br>主任         | 計画 |      |    | 連続有給休暇調整               |                        |          |    |      |     |               | 連続有給休暇取得 |                |    |    |           |                           | 1人8日間の連続休暇を計画的に取得し、リフレッシュを図る。(必ず有給を4日つける)有給休暇は、年間5日以上とする。 |  |  |  |
|          |          |            | 退職者を減らし、安定した運営に取り組み(退職者0を目指す)                                  | 課長<br>主任<br>リーダー | 計画 | 退職者0 |    |                        | 面談                     |          |    |      |     |               |          | 退職者0           |    |    |           |                           |   | 結婚・出産以外での退職者をださない。   |  |  |
|          |          |            | 介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT、IOT化の推進                     | 高橋               | 計画 |      |    |                        | 介護ロボット導入               |          |    |      |     |               |          |                |    |    |           |                           |   | 介護負担の軽減と業務の効率化を図る。   |  |  |
| 9        | (3)      | チームワークの向上  | 週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする                                    | 主任<br>リーダー       | 計画 |      |    | 毎日の引継で目標を共有する          |                        |          |    |      |     | 毎日の引継で目標を共有する |          |                |    |    |           | 思いを一つにすることで、チームワークの強化を図る。 |   |  |  |  |
|          |          |            | 職員が楽しみ・やりがいを見つけて出し、達成感を感じられるよう年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表) | 主任<br>リーダー       | 計画 |      |    | 取組み内容決定                |                        | 取組み      |    |      |     |               |          | 取組み            |    |    |           |                           | 一つのテーマにチームで取り組み成果を出す。                                     |  |  |  |
| 10       | (5)      | 業務の効率化     | 業務の見直しを行い、業務分担を明確にし見える化する                                      | 課長<br>主任<br>リーダー | 計画 |      |    | 業務整理                   | 業務見直し                  |          |    |      |     |               |          |                |    |    |           |                           | 業務分担を明確にし見えるかすることで、業務の効率化を図る。                             |  |  |  |
|          |          |            | 従来のマニュアルの見直しと整理  | 主任<br>リーダー       | 計画 |      |    | 従来マニュアルの確認             | マニュアルの整備               |          |    |      |     |               |          |                |    |    |           |                           | 従来のマニュアルの見直しと整理   |  |  |  |
|          |          |            | 訪問サービス(安否確認、生活支援・家事支援) 専門 ケアアシスタントの導入                          | 課長<br>主任         | 計画 |      |    | ケアアシスタント募集             | ケアアシスタント導入             |          |    |      |     |               |          |                |    |    |           |                           |   | ケアアシスタント導入し、業務の効率化を図る  |  |  |
| 11       | (7)      | 適正利益の確保    | 新規登録者の確保の為に計画を立てPR活動を行う(目標登録人数23名)                             | 主任<br>リーダー       | 計画 |      |    | 医療機関・老人保健施設PR/シフト確保・補充 | 医療機関・老人保健施設PR/シフト確保・補充 |          |    |      |     |               | 新規登録者の確保 |                |    |    |           |                           | 新規登録者の確保と登録人数の維持(R2年度6名→R3年度7名)(登録目標人数23名)                |  |  |  |
|          |          |            | 目標介護保険事業収入67,100,987円  | 主任<br>リーダー       | 計画 |      |    | 新規登録者確保登録終了者ゼロ         |                        |          |    |      |     |               |          | 新規登録者確保登録終了者ゼロ |    |    |           |                           |   | 目標介護保険事業収入達成   |  |  |
|          |          |            | ダブルチェックの徹底と総合記録シートを活用し予防的なケアに努め、長期入院、施設入居を減らす                  | 主任<br>リーダー       | 計画 |      |    | 体調不良者・入院者の分析           |                        |          |    |      |     |               |          | 体調不良者・入院者の分析   |    |    |           |                           |   | 長期入院での停止者・施設入居での登録終了者を減らす。(R2年度長期入院停止者1名→R3年度1名)(R2年度施設入居停止者5名→R3年 |  |  |
|          |          |            | 光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める(前年度より-3%)                              | 主任<br>リーダー       | 計画 |      |    | 節約運動強化月間               | 節約運動強化月間               | 節約運動強化月間 |    |      |     |               |          | 節約運動強化月間       |    |    |           |                           |   | 節約運動強化月間   |  |  |
|          |          |            | 新たな加算の取得とLIFEとの情報連携の推進   | 課長<br>主任         | 計画 |      |    | 新加算取得開始                |                        |          |    |      |     |               |          |                |    |    |           |                           |   |  | 新たな加算を取得し、LIFEからのフィードバックを活用し効果的なサービスを提供する。 |  |

事業所名(部署)

地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん

1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 健康で穏やかな生活を支えられるよう多職種連携で ケアを提供すると共に、豊かな暮らしをつくる。
- (2) 感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める。
- (3) 知識・技術の専門性を持ち、自主性・主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高め、自ら働きがいのある職場をつくる。
- (4) チームワークの向上と業務改善と業務の効率化を図ることで、安心していきいきと働ける職場づくりを目指す。介護ロボットの導入とICT化による業務の効率化と職員の負担軽減。

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動          | 取組み事項  | 取組み内容  | 新規/継続 | 担当者          |                    |
|-----|-------------------|--|--|-------|--------------|--------------------|
|     |                   |  |  |       | 主査           | 補佐                 |
| 1   | (1)<br>(2)<br>(3) | 健康で穏やかな生活を支えられるよう、多職種が連携し、根拠に基づいたケアを提供することで豊かな暮らしをつくる。 | ①病気の悪化を防ぎ、予防的なケアを実践する。また日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防。<br>②褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践。<br>③褥瘡のアセスメント、モニタリングをケアプランと連動させて標準化する。<br>④便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画・実践し排泄ケアマネジメントを標準化する。 | 継続    | 課長主任         | リーダー<br>看護師<br>栄養士 |
|     |                   |  | ⑤快適な生活を守るため新規おむつの導入と評価。  | 新規    | 松原主任         |                    |
|     |                   |  | ⑥事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止。  | 継続    | 澤田           | リスクマネジメント委員会       |
|     |                   |  | ⑦介護過程の展開を担当者が行い、個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしづくり。  | 継続    | 松原主任<br>設楽主任 |                    |
| 2   | (2)               | リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり。                                | ①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウィルス、ノロウィルス、インフルエンザの感染予防に努める。<br>②感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。  | 継続    | 谷水看護師        |                    |
|     |                   |  | ③非常災害時における訓練を実施する。   | 新規    | 尾上部長         | 志知課長               |

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動   | 取組み事項  | 取組み内容   | 新規／継続    | 担当者          |            |
|-----|------------|--|---|----------|--------------|------------|
|     |            |  |   |          | 主査           | 補佐         |
| 3   | (1)<br>(3) | 安全で美味しく楽しい食事の提供。   | ①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供。<br>②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践<br>③治療食の提供に幅を設け、病気があっても楽しみのある食事を提供。<br>④栄養ケアマネジメントを行い、年齢、病状、摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。<br>⑤入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。 | 継続       | 己上<br>栄養士    |            |
| 4   | (1)        | 平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくり。  | ①日々の生活の中にご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ年間レク計画をたて計画的に実施。<br>②地域の方々やご家族と共に楽しむことのできる行事を実施。  | 継続       |              | アクティビティ委員会 |
|     |            |  | ③共有スペースの整理整頓と潤いのある生活環境づくり。<br>④環境委員会による定期的な環境チェックを実施し心地よい環境づくりと清潔・整理整頓の維持する。  | 新規       |              | 環境委員会      |
| 5   | (3)<br>(4) | 新任・現任職員の育成と働きやすく、チームワークの高い職場の風土づくり。<br><u>介護ロボットの導入とICT化による業務の効率化と職員の負担軽減。</u> | ①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差がないように統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成。<br>②すべての職員が気持ち良い接遇を実践する。<br>③現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるよう育成する。<br>④業務改善(ファイリング、仕事の見える化、オペレーションの随時見直し等)により安心して働ける職場環境をつくる。               | 継続       | 志知課長         | 主任<br>リーダー |
|     |            |  | ⑤有給休暇とリフレッシュ休暇(7連休)のほか、3連休の取得を推進。   | 新規       | 松原主任         |            |
|     |            |  | ⑥介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT・IOT化の推進。  | 新規       | ICT推進<br>チーム |            |
|     |            |  | ⑦外国人スタッフの受入・サポート体制をつくり、安心して働ける環境をつくる。   | 新規       | B-Pro        |            |
| 6   | (5)        | 適正利益の確保。   | ①ケアの質向上により入院者を減少させ、目標稼働率(98%)を達成する。(目標介護保険事業収入:102,317,000円)(前期:100,408,000円)<br>②全職員がコスト意識を持ち、消耗品、光熱水費の節約に努める。(前年比使用量-3%)<br>③新たな加算を取得とLIFEとの情報連携の推進。                                      | 新規<br>継続 | 課長           | 主任         |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 地域密着特別介護老人ホーム めくもりの家 えん

(評価基準) S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画№  | 重点目標との連動 | 取組み事項  | 取組み内容  | 実施担当者                    | 4月                        | 5月                                | 6月              | 7月                                 | 8月                                 | 9月                                 | 中間評価                               | 評価内容                               | 10月                           | 11月                        | 12月                                | 1月                                 | 2月                                 | 3月                                 | ゴール(達成目標)                               | 最終評価   | 評価内容   |   |   |  |  |
|--|----------|--|--|--------------------------|---------------------------|-----------------------------------|-----------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|----------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|---|--|--|---|---|--|--|
|  |          |  |  |                          |                           |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    | 10月                           | 11月                        | 12月                                | 1月                                 | 2月                                 | 3月                                 |   |  |  |   |   |  |  |
| 1  | (1)(3)   | 健康で穏やかな生活を支えられるよう、多職種が連携し、根拠に基づいたケアを提供することで豊かな暮らしづくりを行う。 | ①病気の悪化を防ぎ、予防的なケアを実践する。また日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防。  | 課長<br>主任<br>看護師          |                           |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               | 水分表・食事形態見直し                | 定期検査(血液)                           | 定期検査(血液)                           | 食事形態見直し                            | 定期検査(血液)                           | 定期検査(血液)                                | 脱水症・低栄養・肺感染性肺炎による入院ゼロ。<br>・体調不良時等7日以内のカンファレンス実施<br>・入院50日以内。 |  |   |   |  |  |
|  |          |  | ②褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践。  | 計画<br>実施                 | 褥瘡アセスメントの準備               | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄に関するアセスメント準備 | 褥瘡アセスメントの実施(4名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) |                               |                            | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 褥瘡アセスメントの実施(4名)<br>排泄アセスメントの実施(3名) | 以降継続                                    | 以降継続   | ・全入居者の褥瘡リスクのアセスメントの実施を標準化。<br>・褥瘡のリスクをスタッフ間で共有し、新たな褥瘡発症をゼロにする。<br>・刺激性下剤の使用5%以内の維持。<br>・排せつケアに関するアセスメント・計画・評価の標準化と加算の取得。 |   |   |  |  |
|  |          |  | ③褥瘡のアセスメント、モニタリングをケアプランと連動させて標準化する。  |                          | 下痢便使用者の確認<br>新しいおむつの導入検討  | 新しいおむつの導入                         | 評価見直し           | 評価見直し                              | 評価見直し                              | 評価見直し                              | 評価見直し                              | 評価見直し                              | 評価見直し                         |                            |                                    | 評価見直し                              | 評価見直し                              | 評価見直し                              | 評価見直し                                   | 評価見直し  | ・新しいオムツの導入と適切な使用<br>・オムツコストの管理   |   |   |  |  |
|  |          |  | ④便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画、実践し排泄ケアマネジメントを標準化する。  |                          | 澤田<br>リスクマネジメント委員会        | 事故検証<br>再発防止                      | →               | →                                  | →                                  | →                                  | →                                  | →                                  | →                             | →                          |                                    |                                    | 事故検証<br>再発防止                       | →                                  | →                                       | →  | →  | → | ・事故件数前年比-10%。<br>・服薬・骨折事故ゼロ。  |  |  |
|  |          |  | ⑤介護過程の展開を担当者が行い、個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしづくり。  |                          | 松原主任<br>設楽主任              | 介護過程の展開の継続実施                      | →               | →                                  | →                                  | →                                  | →                                  | →                                  | →                             | →                          |                                    |                                    | 介護過程の展開ケアプランの立案                    | →                                  | →                                       | →  | →  | → | ・スタッフが担当入居者1名の介護過程の展開ができるようになる。<br>・ケアプランからケアプランの立案まで担当スタッフができるようにする。 |  |  |
| 6  | (2)      | リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり                                   | ①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染予防に努める。<br>②感染症対策訓練を計画・実施する<br>③非常災害訓練を実施し、予防意識の向上と万が一の事態に備える。                    | 谷水看護<br>師尾上部長            | 計画<br>実施                  | 感染症研修(新任)                         | 避難訓練(日中想定)      |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    | 感染症対策確認<br>加算施設<br>避難訓練(夜間想定) | インフルエンザ<br>予防接種<br>感染症予防研修 | 感染症予防強化                            | →                                  | →                                  | 年間報告                               | ・感染症集団感染ゼロ。<br>・コロナウイルスに対応した感染症予防研修の実施。 |  |  |   |   |  |  |
| 7  | (1)(3)   | 安全で美味しく楽しい食事の提供  | ①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供。   | 己上栄養士                    | 計画<br>実施                  |                                   |                 | 食中毒予防研修(法人)                        | 給食会議での確認(毎月)                       | 給食会議での確認(毎月)                       | 給食会議での確認(毎月)                       |                                    |                               | 給食会議での確認(毎月)               | 給食会議での確認(毎月)                       | 給食会議での確認(毎月)                       | 給食会議での確認(毎月)                       | 給食会議での確認(毎月)                       | 1年間のモニタリング                              | 食中毒感染者ゼロ。  |  |   |   |  |  |
| ②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案・実践。   |          |  | 己上栄養士  | 計画<br>実施                 | 食事形態見直し<br>適温確認           | 食事形態見直し<br>適温確認                   | 食事形態見直し<br>適温確認 | 食事形態見直し<br>適温確認                    | 食事形態見直し<br>適温確認                    | 食事形態見直し<br>適温確認                    | 食事形態見直し<br>適温確認                    |                                    |                               | 食事形態見直し<br>適温確認            | 食事形態見直し<br>適温確認                    | 食事形態見直し<br>適温確認                    | 食事形態見直し<br>適温確認                    | 食事形態見直し<br>適温確認                    | 食事形態見直し<br>適温確認                         | ・食事形態の多様化により、全員経口摂取ができる。<br>・適時適温ができ、満足度調査80%満足が得られる。        |  |   |   |  |  |
| ③治療食の提供に幅を設け、病気があっても楽しみのある食事を提供。   |          |  | 己上栄養士  | 計画<br>実施                 | ケアマネジメント<br>カンファレンス<br>評価 | →                                 | →               | →                                  | →                                  | →                                  | →                                  | →                                  |                               |                            | 食事形態見直し<br>適温確認                    | →                                  | →                                  | →                                  | →                                       | →  | ・状態や健康状態に合わせた食事提供を実施できる。   |   |   |  |  |
| ④栄養ケアマネジメントを行い、年齢、病状、摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。                         |          |  | 己上栄養士  | 計画<br>実施                 |                           |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               |                            |                                    |                                    |                                    |                                    |   |  |  |   |   |  |  |
| ⑤入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。   |          |  | 己上栄養士  | 計画<br>実施                 |                           |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               |                            |                                    |                                    |                                    |                                    |   |  |  |   |   |  |  |
| 10   |          |  | ⑤入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。   | 己上栄養士                    | 計画<br>実施                  |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               |                            |                                    |                                    |                                    |                                    |   |  |  |   |   |  |  |
| 11   | (1)      | 平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくり                                       | ①日々の生活の中にご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ、年間レク計画をたて計画に基づいて実施。<br>②地域の方々やご家族と共に楽しむことのできる行事を実施。<br>③ご家族が安心できるように、毎月電話にてご様子をお伝えする。 | アクティビティ委員会               | 計画<br>実施                  |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               |                            |                                    |                                    |                                    |                                    |   |  |  |   |   |  |  |
| ③共有スペースの整理整頓と潤いのある生活環境づくり。<br>④心地よい環境づくりと清潔・整理整頓の維持のため、環境委員会による定期的な環境チェックの実施 |          |  | 環境委員会  | 計画<br>実施                 |                           |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               |                            |                                    |                                    |                                    |                                    |   |  |  |   |   |  |  |
| 12   |          |  | ③共有スペースの整理整頓と潤いのある生活環境づくり。<br>④心地よい環境づくりと清潔・整理整頓の維持のため、環境委員会による定期的な環境チェックの実施   | 環境委員会                    | 計画<br>実施                  |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               |                            |                                    |                                    |                                    |                                    |   |  |  |   |   |  |  |
| 13   |          |  | ①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差がないように統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成。  | 課長<br>主任<br>リーダー<br>エルダー | 計画<br>実施                  |                                   |                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                               |                            |                                    |                                    |                                    |                                    |   |  |  |   |   |  |  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 地域密着特別介護老人ホーム めくもりの家 えん

(評価基準) S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                                | 取組み内容  | 実施担当者            | 4月 | 5月                         | 6月               | 7月               | 8月               | 9月               | 中間評価             | 評価内容         | 10月              | 11月                 | 12月     | 1月           | 2月                           | 3月            | ゴール(達成目標)  | 最終評価               | 評価内容                               |  |  |
|---------|----------|--------------------------------------|--|------------------|----|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------|------------------|---------------------|---------|--------------|------------------------------|---------------|--|--------------------|------------------------------------|--|--|
| 14      | (3)      | ③ 新任・現任職員の育成と働きやすく、チームワークの高い職場の風土づくり | ②基礎介護知識・技術を段階別に行い、高度化対応や根拠に基づくケアを実践する。       | 課長<br>主任<br>リーダー | 計画 | 接遇・マナー研修                   | 救急救命研修(たかほ合同)    | 定期面談             | 全道老人福祉施設研究発表大会   | ターミナルケア研修        | 認知症実践リーダー研修      |              | 認知症実践者研修         | 基礎介護研修①<br>定期面談(後期) | 基礎介護研修② | 基礎介護研修③      | 先端ケア研究会<br>基礎介護研修④<br>虐待予防研修 | サービス向上発表会(澤田) | ・現任職員が研修等を通じて成長ができる。<br>・すべての職員が気持ちの良い接遇ができる。<br>・現任職員の退職ゼロ  |                    |                                    |  |  |
|         |          |                                      | ③すべての職員が気持ち良い接遇と介護専門職としての自覚を持ち働く。            |                  | 実施 |                            |                  |                  |                  |                  |                  |              |                  |                     |         |              |                              |               |  |                    |                                    |  |  |
|         |          |                                      | ④現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるよう育成する。           | 志知課長             | 計画 | 業務改善(以降)書類の整理              | オペレーションの見直し①     | →                | →                | →                | →                | オペレーションの見直し② |                  | 業務改善                | →       | オペレーションの見直し③ | →                            | →             | →  | オペレーションの見直し④       | ・業務改善を随時行い、働きやすい環境をつくる。<br>・退職者ゼロ。 |  |  |
|         |          |                                      | ⑤業務改善により安心して働ける職場環境をつくる。                     |                  | 実施 |                            |                  |                  |                  |                  |                  |              |                  |                     |         |              |                              |               |  |                    |                                    |  |  |
| 16      | (4)      | 介護ロボットの導入とICT化による業務の効率化と職員の負担軽減。     | ⑥介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT・IOT化の検証。 | 井内               | 計画 |                            | 介護記録電子化に向けての準備ほか | 介護記録電子化に向けての準備ほか | 介護記録電子化に向けての準備ほか | 介護記録電子化に向けての準備ほか | 介護記録電子化に向けての準備ほか |              | 介護記録電子化に向けての準備ほか | 介護記録の電子化導入          | 運用評価見直し | 運用評価見直し      | 運用評価見直し                      | 運用評価見直し       | ・介護記録の電子化への運用切り替えと定着<br>・介護ロボットの導入やIOT・ICTの活用により労働環境を向上する。   |                    |                                    |  |  |
|         |          |                                      | 実施   |                  |    |                            |                  |                  |                  |                  |                  |              |                  |                     |         |              |                              |               |  |                    |                                    |  |  |
| 17      | (4)      | 介護ロボットの導入とICT化による業務の効率化と職員の負担軽減。     | ⑦有給休暇とりフレッシュ休暇(7連休)と3連休の計画的取得を推進。            | 松原主任             | 計画 | 休暇計画の作成                    | 連休取得実績確認         | →                | →                | →                | →                |              | 連休取得実績確認         | →                   | →       | →            | →                            | →             | →  | ・常勤職員全員が7連休を取得できる。 |                                    |  |  |
|         |          |                                      | 実施   |                  |    |                            |                  |                  |                  |                  |                  |              |                  |                     |         |              |                              |               |  |                    |                                    |  |  |
| 18      | (5)      | 適正収益の確保                              | ①ケアの質向上により入院者を減少させ、目標稼働率を達成する。               | 志知課長             | 計画 | 業績・収支状況確認(毎月継続) LIFEへの情報提供 |                  | →                | →                | →                | 上半期評価            |              | 業績・収支状況確認(毎月継続)  | →                   | →       | →            | →                            | 年間報告          | ・稼働率98%目標達成。(目標介護保険収入102,449,177円)<br>・毎月の業績を確認する。<br>・消耗品の支出を確認し、コスト意識を高める。(おむつ、電気、水道、灯油使用量-3%)<br>・新たな加算を取得する。 |                    |                                    |  |  |
|         |          |                                      | 実施   |                  |    |                            |                  |                  |                  |                  |                  |              |                  |                     |         |              |                              |               |  |                    |                                    |  |  |

事業所名(部署)

小規模多機能ホーム めくもりの家えん

1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 健康で穏やかな生活を支えられるよう多職種連携で ケアを提供すると共に、豊かな暮らしをつくる。
- (2) 感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める。
- (3) 地域の会合に参加し、小規模多機能ケアへの理解を広める。
- (4) 知識・技術の専門性を持ち、自主性・主体性を持って介護課程を展開し利用者の満足度を高め、自ら働きがいのある職場をつくる。
- (5) チームワークの向上と業務改善と業務の効率化を図ることで、安心していきいきと働ける職場づくりを目指す。
- (6) 適正利益の確保。

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動          | 取組み事項  | 取組み内容   | 新規/継続    | 担当者   |                     |
|-----|-------------------|--|---|----------|-------|---------------------|
|     |                   |  |   |          | 主査    | 補佐                  |
| 1   | (1)<br>(2)<br>(4) | 健康で穏やかな生活を支えられるよう、多職種が連携し、根拠に基づいたケアを提供することで豊かな暮らしをつくる。 | ①看護職員と介護職員と栄養士と連携を図り、日々の健康管理を適切に行う。(水分・必要栄養量の確認と把握)<br>医療と介護の連携により、入院による停止者を増やさない。(R2 3件→ 2件)   | 継続       | 能登主任  | 林リーダー<br>看護師<br>栄養士 |
|     |                   |  | ②事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止。(R2 25件(予測)→ 20件)<br>特に薬に関する事故を前年度件数より -30%(R2 10件(予測) → 7件)<br>自宅での転倒があるため、家屋状況のチェックを実施し、再発防止。                | 継続       | 寒河江   | リスクマネジメント委員会        |
|     |                   |  | ③退院支援のシステム化を行い、入院時、迅速な状況把握を行い、在宅復帰への支援を提供する。  | 継続       | 能登主任  | 林リーダー<br>看護師        |
| 2   | (2)               | リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり。                                | ①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウィルス、ノロウィルス、インフルエンザの、食中毒等の感染予防に努める。(集団感染 0件)<br>②感染症発症者が在宅では対応困難な場合の対応策と支援内容の明確化。 <u>感染症発生時の対応策の明確化と職員への定期的な研修。</u> | 継続<br>新規 | 能登主任  | 看護師<br>志知課長         |
|     |                   |  | ③地域との連携による緊急時(火災・行方不明)の体制の確認と訓練の実施を行う。(年1回)   | 継続       | 尾上部長  | 能登主任                |
| 3   | (1)<br>(4)        | 安全で美味しく楽しい食事の提供。                                       | ①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供。<br>②栄養スクリーニングを行い、年齢、病状、家庭の状況を摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。<br>③利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。満足度調査による評価の実施。     | 継続       | 己上栄養士 |                     |

## 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動   | 取組み事項   | 取組み内容  | 新規/継続    | 担当者          |                |
|-----|------------|---|--|----------|--------------|----------------|
|     |            |   |  |          | 主査           | 補佐             |
| 4   | (1)<br>(4) | 平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくり。   | ①コロナ禍の中にも、日々の生活の中にご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ、思い出をつくる。   | 継続       | 沼野           | アクティビティ委員会     |
|     |            |   | ②利用者・家族に成果の見えるアクティビティの実施。  | 継続       | 林リーダー        | 能登主任           |
|     |            |   | ③介護過程の展開を担当者が行い、個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしづくり。  | 継続       | 山内           | 環境委員会<br>林リーダー |
|     |            |   | ④密を避け、共有スペースの整理整頓と潤いのある生活環境づくり。<br>⑤心地よい環境づくりと清潔・整理整頓の維持。  | 継続       | 山内           | 環境委員会<br>林リーダー |
| 5   | (3)        | ご家族・住民との協働  | ①地域住民の学習療法サポーター再開に向けて検討を行い、役割と生きがいをつくる。また、サポーター間の意見交換や実施報告等の機会を設ける。  | 新規       | 山内           | 能登主任           |
|     |            |   | ②2ヶ月に1回の運営推進会議開催と家族会・ぬくもり友の会・行政機関等の第三者からの意見や要望を取り入れた健全で地域に根付いた事業所運営を行う。  | 継続       | 能登主任         | 志知課長           |
| 6   | (4)<br>(5) | 新任・現任職員の育成と働きやすく、チームワークの高い職場の風土づくり。<br><u>介護ロボットの導入とICT化による業務の効率化と職員の負担軽減</u> | ①基礎介護知識・技術を段階別に行い、重度化対応や根拠に基づくケアを実践する。   | 継続       | 能登主任         | 林リーダー          |
|     |            |   | ②すべての職員が気持ち良い接遇ができる。<br>③現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるよう育成する。<br>④業務改善(仕事の見える化、ファイリング、オペレーションの見直し等)により安心して働ける職場環境をつくる。<br>⑤有給休暇とリフレッシュ休暇(7連休)のほか3連休の取得の推進。  | 継続<br>新規 | 能登主任         | 林リーダー          |
|     |            |   | ⑥介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT・IOT化の推進。   | 新規       | ICT推進<br>チーム |                |
|     |            |   | ⑦外国人スタッフの受入・サポート体制をつくり、安心して働ける環境をつくる。  | 新規       | B-Pro        |                |
| 7   | (6)        | 適正利益の確保。  | ①利用者目標人数23.5名(R2 24.1名)。新規登録者8名を増やす。(目標介護保険事業収入 55,820,000円)(前期:56,390,000円)<br>②市内の病院の相談室・老人保健施設を訪問し、新規利用につなげる。<br>町内の児童民生委員の総会にて、説明会を開く(年1回)<br>③全職員がコスト意識を持ち、消耗品費高熱水費の節約に努める。<br>④新たな加算(口腔・栄養スクリーニング、科学的介護推進体制加算)の取得。 | 継続<br>新規 | 能登主任         | 林リーダー          |



令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム めぐもりの家 えん

(評価基準)S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動          | 取組み事項  | 取組み内容  | 実施担当者                           | 4月 | 5月                                | 6月                     | 7月                            | 8月             | 9月               | 中間評価              | 評価内容                           | 10月                                 | 11月                                   | 12月              | 1月                           | 2月            | 3月                   | ゴール(達成目標)  | 最終評価  | 評価内容   |  |
|---------|-------------------|--|--|---------------------------------|----|-----------------------------------|------------------------|-------------------------------|----------------|------------------|-------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------|------------------------------|---------------|----------------------|--|---|--|--|
| 1       | (1)<br>(2)<br>(4) | 健康で穏やかな生活を支えられるよう、多職種が連携し、根拠に基づいたケアを提供することで豊かな暮らしづくりを行う。             | ①看護職員と介護職員と栄養士と連携を図り、日々の健康管理を適切に行う。(水分・必要栄養素の確保と把握)医療と介護の連携により、入院による停止者を増やさない。(R2 3件→ 2件)  | 主任<br>リーダー<br>看護師<br>実施         | 計画 | ケアチェックとカンファレンス徹底                  | 水分表・食事形態見直し            | 脱水予防研修                        | ハイリスク者の血液データ確認 | ハイリスク者以外の血液データ確認 | モニタリング<br>ダブルチェック |                                | 水分表・食事形態見直し                         | ハイリスク者の血液データ確認                        | ハイリスク者以外の血液データ確認 | 食事形態見直し                      | 水分表・食事形態見直し   | モニタリング<br>ダブルチェック    | ・脱水症・低栄養・誤嚥性肺炎による入院ゼロ。<br>・体調不良時等7日以内のカンファレンス実施。<br>・入院による停止者2名。 |   |  |  |
| 2       |                   |  | ②事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止。<br>特に薬に関する事故を前年度件数より30%(R2 10件→ 7件)<br>家屋状況を再確認し再発防止。  | リーダー<br>実施                      | 計画 | 事故検証再発防止                          | →                      | →                             | →              | →                | →                 | →                              |                                     | 事故検証再発防止                              | →                | →                            | →             | →                    | →  | ・事故件数前年比-20%。<br>・薬の事故件数前年比-30%。<br>・転倒による入院がゼロ(R2年度 0件)  |  |  |
| 3       |                   |  | ③退院支援のシステム化を行い、入院時、迅速な状況把握を行い、在宅復帰への支援を提供する。   | 主任<br>実施                        | 計画 | →                                 | 入院発生時の対応マニュアル作成        | →                             | →              | →                | →                 | →                              |                                     | 入院発生時対応実施                             | →                | →                            | →             | →                    | →  | ・入院1週間以内に、面会・医療相談室と連携を行う。<br>・入院中支援マニュアル作成し実施。  |  |  |
| 4       | (2)               | リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり   | ①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染予防に努める。<br>②感染症発症者が在宅では対応困難な場合の対応策と支援内容の明確化。<br>③感染症発生時の対応策の明確化と職員への定期的な研修                            | 主任<br>看護師<br>栄養士<br>実施          | 計画 | 感染症研修(新任)                         | 避難訓練(日中想定)             | 感染症発症時に在宅対応困難者への対応策マニュアル確認と研修 | →              | →                |                   | 感染症対策確認<br>加温器設置<br>避難訓練(夜間想定) | インフルエンザ予防接種<br>感染予防強化               | →                                     | →                | →                            | →             | 年間報告                 | ・感染症集団感染ゼロ。  |   |  |  |
| 5       | (1)<br>(4)        | 安全で美味しく楽しい食事の提供  | ①食中毒対策を継続し、安全な食事を提供。   | 栄養士<br>調理員<br>感染症対策委員会<br>実施    | 計画 | →                                 | →                      | →                             | →              | →                |                   | 給食会議での確認(毎月)                   | 給食会議での確認(毎月)                        | 給食会議での確認(毎月)                          | 給食会議での確認(毎月)     | 給食会議での確認(毎月)                 | 給食会議での確認(毎月)  | 1年間のモニタリング           | ・食中毒感染者ゼロ。   |   |  |  |
| 6       |                   |  | ②栄養スクリーニングを行い、年齢、病状、家庭の状況などから食生活、活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。  | 栄養士<br>調理員<br>主任<br>実施          | 計画 | ケアマネジメント<br>カンファレンス<br>評価         | →                      | →                             | →              | →                | →                 |                                | 食事形態見直し<br>適量確認                     | →                                     | →                | →                            | →             | →                    | →  | ・状態や健康状態に合わせた食事提供を実施できる。  |  |  |
| 7       |                   |  | ③利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。満足度調査による評価の実施。   | 栄養士<br>調理員<br>アクティビティー委員会<br>実施 | 計画 | 毎月のおやつの日<br>の設定制と実施               | 開設記念<br>こどもの日<br>憲法記念日 | →                             | →              | →                | →                 | →                              |                                     | 体育の日<br>出前の日                          | 文化の日<br>勤労感謝の日   | クリスマス<br>忘年会                 | おせち料理<br>成人の日 | 節分<br>建国記念日<br>天皇誕生日 | ひな祭り<br>春分の日   | ・年間計画に基づいた行事食の実施。<br>・満足度調査を実施し、食事に関して80%が良いの評価を得る。   |  |  |
| 8       | (1)               | 平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくり   | ①コロナ禍の中にも、日々の生活の中にご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ、思いをつくる。  | リーダー<br>アクティビティー委員会<br>実施       | 計画 | 毎月のおやつの日<br>の設定制と実施               | 花見<br>チャレンジデー          | →                             | →              | →                | →                 |                                | →                                   | →                                     | →                | →                            | →             | →                    | →  | ・ご利用者が楽しく、笑顔あふれる思い出ができる。<br>・職員も楽しむことができる行事の実施。<br>・ブログを計画通りアップする。<br>・ボランティアに感謝の気持ちを伝えることができる。 |  |  |
| 9       |                   |  | ②利用者・家族に成果の見えるアクティビティの実施。  | アクティビティー委員会<br>実施               | 計画 | →                                 | →                      | →                             | →              | →                | →                 |                                | 創作系アクティビティの実施                       | 創作系アクティビティの実施                         | 創作系アクティビティの実施    | 創作系アクティビティの実施                | 創作系アクティビティの実施 | 創作系アクティビティの実施        | →  | ・満足度調査を実施し、80%が良いの評価。   |  |  |
| 10      |                   |  | ③介護過程の展開を担当者が行い、個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしづくり。  | リーダー<br>各担当<br>実施               | 計画 | 介護過程の展開の継続実施                      | →                      | →                             | →              | →                | →                 | →                              |                                     | 介護過程の展開<br>ケアプランの立案                   | →                | →                            | →             | →                    | →  | →   | ・スタッフが担当利用者2名の介護過程の展開ができる。<br>・再アセスメントからケアプランの立案まで担当スタッフができるようにする。 |  |
| 11      | (3)               | ご家族・住民との協働   | ④窓を避け、共有スペースの整理整頓と調いのある生活環境づくり。<br>⑤心地よい環境づくりと清潔・整理整頓の維持。  | 環境委員会<br>リーダー<br>実施             | 計画 | →                                 | →                      | →                             | →              | →                |                   | 春のしつらえ<br>居室環境確認<br>(以降継続)     | →                                   | →                                     | →                | →                            | →             | →                    | →  | ・季節に合わせた環境作りと入居者の居室環境を清潔に維持することができる。  |  |  |
| 12      |                   |  | ①地域住民の学習療法サポーター再開に向けた活動を行い、役割と生きがいをつくる。また、サポーター間の意見交換や実施報告等の機会を設ける。  | 山内<br>実施                        | 計画 | 学習療法サポーター再開に向けた活動の計画              | 学習療法サポーター再開に向けた活動の計画   | →                             | →              | →                | →                 |                                | 学習療法サポーター交流会                        | 学習療法サポーター再開                           | →                | →                            | →             | →                    | →  | ・ボランティアとの交流が継続出来る。<br>・学習療法サポーター交流会にてやりがいや役割を再確認することが出来る。                                       |  |  |
| 13      |                   |  | ②2ヶ月に1回の運営推進会議開催と家族会・ぬくもりの会・行政機関等の第三者からの意見や要望を取り入れた健全で地域に根付いた事業所運営を行う。   | 課長<br>主任<br>実施                  | 計画 | →                                 | →                      | →                             | →              | →                | →                 | →                              |                                     | →                                     | →                | →                            | →             | →                    | →  | →   | ・計画通りの実施が出来る。  |  |
| 14      | (4)<br>(5)        | 新任・現任職員の育成と働きやすく、チームワークの高い職場の風土づくり<br>介護ロボットの導入とICT化による業務の効率化と職員負担軽減 | ①基礎介護知識・技術を段階別に行い、高度化対応や根拠に基づいたケアを実践する。<br>②すべての職員が知識が深い・接遇ができる。<br>③現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が得られるよう育成する。<br>④外国人スタッフの導入とサポート体制をつくり、安心して働ける環境をつくる。 | 主任<br>リーダー<br>実施                | 計画 | →                                 | →                      | →                             | →              | →                |                   | 認知実実践者研修                       | 基礎介護研修①<br>定期研修(夜間)<br>道北老老施設介護職員研修 | 基礎介護研修②                               | 基礎介護研修③          | 先端ケア研究会<br>基礎介護研修④<br>虐待予防研修 | →             | →                    | →  | ・現任職員が研修を通じて成長ができる。<br>・すべての職員が気持ちの良い接遇ができる。<br>・現任職員の退職ゼロ                                      |  |  |
| 15      |                   |  | ⑤業務改善(仕事の見える化、フィードバック、オムニバックスの見直し等)により安心して働く職場環境をつくる。<br>⑥介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT・IoT化の推進<br>⑦有給休暇とリフレッシュ休暇(7連休)のほか3連休の取得の推進          | 主任<br>リーダー<br>実施                | 計画 | 業務改善・オペレーション見直し<br>連休の取得<br>書類の整理 | →                      | →                             | →              | →                | →                 | →                              |                                     | 業務改善・オペレーション見直し<br>連休の取得<br>介護ロボットの導入 | →                | →                            | →             | →                    | →  | ・業務改善を随時行い、働きやすい環境をつくる。<br>・介護ロボットの導入やIoT・ICTの活用により労働環境を向上する。<br>・常勤職員全員が7連休を取得できる。<br>・退職者ゼロ。  |  |  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 小規模多機能ホーム めくもりの家 えん

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容  | 実施担当者       | 4月                  | 5月                 | 6月              | 7月                  | 8月 | 9月 | 中間評価 | 評価内容 | 10月                 | 11月                                    | 12月                 | 1月 | 2月 | 3月   | ゴール(達成目標)   | 最終評価 | 評価内容 |
|---------|----------|---------|--|-------------|---------------------|--------------------|-----------------|---------------------|----|----|------|------|---------------------|--|---------------------|----|----|------|---|------|------|
| 16      | (6)      | 適正収益の確保 | ①利用者目標人数23.5名(R2 24.1名)。新規登録者8名を増やす。<br>②市内病院の相談室・老人保健施設を訪問し、新規利用に繋げる。<br>③全職員がコスト意識を持ち、消耗品費高熱水費の節約に努める。<br>④新たな加盟(口腔・栄養スクリーニング、科学的介護推進体)加盟の取組 | 環境委員会<br>主任 | 業績・収支状況確認<br>(毎月継続) | 地域への啓発活動(児童民生委員総会) | 啓発活動(病院・老人保健施設) | 業績・収支状況確認<br>(毎月継続) | →  | →  |      |      | 業績・収支状況確認<br>(毎月継続) | 業績・収支状況確認<br>(毎月継続)<br>啓発活動(病院・老人保健施設) | 業績・収支状況確認<br>(毎月継続) | →  | →  | 年間報告 | ・登録者数23.5名目標達成。(目標介護保険事業収入 58,317,645円)<br>・毎月の業績を確認する。<br>・地域への啓発活動が実施出来る。<br>・消耗品の支出を確認し、コスト意識を高める。(電気、水道、灯油使用量-3%) |      |      |
|         |          |         |  | 実施          |                     |                    |                 |                     |    |    |      |      |                     |  |                     |    |    |      |   |      |      |

事業所名(部署)

サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの家たかほ

1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 自分の持てる力を活用して、安心して自分らしい生活を継続できるよう支援する
- (2) 社会参加・社会交流の機会を通して、地域で暮らす楽しめとつながりを感じることができるよう支援する
- (3) 適正利益の確保

3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項               | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者 |    |
|-----|----------|---------------------|---|-------|-----|----|
|     |          |                     |   |       | 主査  | 補佐 |
| 1   | (1)      | 生活支援ならびに状況把握サービスの提供 | ①入居者一人ひとりに必要なサービス(介護保険サービス・有料サービス・地域資源など)を見極め、入居者・家族への提案や相談、関係各所との連携を速やかに行う<br>②入居者・家族同士と職員が相互に意見を交換できる機会を設ける(年1回)  | 継続    | 佐藤  |    |
| 2   | (1)      | 入居者の健康管理            | ①入居者へ向けた健康講座の実施(月1回、15分程度)<br>②アセスメントを徹底し、既往歴や現病歴から起こりうるリスクを念頭に置いて日々の体調確認を行う<br>③受診・入院へと繋がりうる体調不良に対して早期に対処できるよう、水分摂取量の把握に努める。<br>④受診や服薬状況などを把握し、必要に応じて主治医や訪問看護との連携を図る<br>⑤目標年間入院延べ人数7名以内、目標年間入院延べ日数100日以内 | 新規・継続 | 佐藤  | 藤原 |
| 3   | (1)      | 安全で美味しく楽しい食事の提供     | ①食中毒予防対策を厳守し、安全な食事を提供する<br>②入居者の摂食状況を確認し、変化に迅速に対応する<br>③入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。満足度調査による評価の実施  | 継続    | 栄養士 | 佐藤 |
| 4   | (1)      | 心身機能の維持向上と日常生活の活性化  | ①指導士やサポーターの協力を得ながらあったかすリハビリ体操教室・ふまねつと教室を実施し、交流を楽しみながら心身機能の維持向上を図る<br>②併設のフィットネス倶楽部の利用啓発   | 継続    | 佐藤  | 藤原 |
| 5   | (1)      | 安全で過ごしやすい環境づくり      | ①共有スペースの清掃・整理整頓と、植物に囲まれ潤いのある季節感を感じる生活環境づくり<br>②施設内設備の点検及び定期的なメンテナンスの実施<br>③冬期間の計画的な除雪作業の実施  | 継続    | 佐藤  | 藤原 |

### 3. 事業所(課)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項       | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者 |    |
|-----|----------|-------------|---|-------|-----|----|
|     |          |             |   |       | 主査  | 補佐 |
| 6   | (2)      | 役割のある暮らしの支援 | ①入居者の有する能力に応じた役割を選定し、声かけをはじめ掲示板や回覧を通して活動への参加を促す<br>②日々の中で入居者が自発的に活動に取り組めるよう、レクリエーションの道具類を準備する<br>③入居者の喜びや楽しみにつながるレクリエーションや行事を計画し、実施する   | 継続    | 佐藤  | 藤原 |
| 7   | (3)      | 適正利益の確保     | ①満室18名を達成・維持する(R2年度 平均17.3戸、平均実績稼働率95.4%)<br>目標稼働率95%(17.1戸)、目標事業収益23,666,000円(前期:24,094,000円)<br>②鷹栖町内・旭川市内の地域包括支援センターを訪問もしくは電話での空室情報提供を行い、待機者獲得につなげる(月1回)<br>③入居者募集チラシを作成し、近隣地域へ配布<br>④広報やブログを通して、魅力を感じてもらえる情報の発信を積極的に行う<br>⑤全職員がコスト意識を持ち、消耗品費や光熱費、暖房費の節約に努める | 新規・継続 | 佐藤  |    |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの家たかほ [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                | 取組み内容  | 実施担当者       | 4月 | 5月    | 6月    | 7月            | 8月          | 9月          | 中間評価           | 10月      | 11月               | 12月           | 1月                      | 2月               | 3月           | ゴール(達成目標)   | 最終評価   | 評価内容                     |  |                                   |                                       |                  |  |                  |
|----------|----------|----------------------|--|-------------|----|-------|-------|---------------|-------------|-------------|----------------|----------|-------------------|---------------|-------------------------|------------------|--------------|-------------|--------|--------------------------|--|-----------------------------------|---------------------------------------|------------------|--|------------------|
| 1        | (1)      | 生活支援ならびに状況把握サービスの提供  | ①入居者一人ひとりに必要なサービス(介護保険サービス・有料サービス・地域資源など)を見極め、入居者・家族への提案や相談、関係各所との連携を速やかに行う。 | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                | モニタリング訪問 |                   |               |                         |                  |              |             |        | 遅滞なくケアマネジメント業務を行うことができる。 |  |                                   |                                       |                  |  |                  |
|          |          |                      | ②入居者・家族同士と職員が意見交換や交流を図る機会を設ける。   | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   | 入居者懇親会(企画)    | 年末大掃除・入居者懇親会(準備)        | 年末大掃除・入居者懇親会     |              |             |        |                          |  | 家族を交えた年1回の入居者懇親会(交流会)の開催。         |                                       |                  |  |                  |
| 2        | (1)      | 入居者の健康管理             | ①入居者へ向けた健康講座の実施(月1回、15分程度)。  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 | 健康講座① | 健康講座② | 健康講座③         | 健康講座④       | 健康講座⑤       | 健康講座⑥          |          | 健康講座⑦             | 健康講座⑧         | 健康講座⑨                   | 健康講座⑩            | 健康講座⑪        | 健康講座⑫       |        |                          | 月1回の健康講座を計画通りに実施できる。                       |                                   |                                       |                  |  |                  |
|          |          |                      | ②アセスメントを徹底し、既往歴や現病歴から起こりうるリスクを念頭に置いて日々の体調確認を行う。                              | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   |               | 日常生活の体調確認、会議内カンファレンス    |                  |              |             |        |                          |  |                                   | 目標年間入院延べ人数7名以内、目標年間入院延べ日数100日以内にする。   |                  |  |                  |
|          |          |                      | ③受診・入院へと繋がる体調不良に対して早期に対処できるよう、水分摂取量の把握に努める。                                  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   |               | 水分量の把握、会議内カンファレンス       |                  |              |             |        |                          |  |                                   | 定期受診以外の受診を年間3回以内にする。                  |                  |  |                  |
|          |          |                      | ④受診や服薬状況などを把握し、必要に応じて主治医や訪問看護との連携を図る。  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   |               | 薬剤情報/確認(口頭・書面での情報提供)の実施 |                  |              |             |        |                          |  |                                   | 入居者全員の最新の服薬情報を管理できる。                  |                  |  |                  |
| 3        | (1)      | 安全で美味しく楽しい食事の提供      | ①季節感のある食事や行事食を計画し、実施する。  | 佐藤/能登 村上    | 計画 |       | こどもの日 | 焼き肉昼食(流しそうめん) | 流しそうめん      | 敬老の日        |                |          |                   | クリスマス鍋昼食会     | おせち料理                   | 鍋昼食会             | ひな祭り         |             |        |                          | 祝日や季節の行事ごとに、季節を感じられる食事を提供することができる。         |                                   |                                       |                  |  |                  |
|          |          |                      | ②日々の開き取りとともに、食事アンケートを行い質の向上に努める。   | 佐藤/能登 藤原 村上 | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   | 日々の開き取り       |                         |                  | 食事アンケート(作成)  | 食事アンケート(実施) |        |                          |  |                                   | 食事アンケートを実施し、80%が「おいしい」「ちょうどよい」の評価になる。 |                  |  |                  |
| 4        | (1)      | 心身機能の維持向上と日常生活の活性化   | ①指導士やサポーターの協力を得ながらあったかすリハビリ体操教室、ふまねっと教室を実施し、交流を楽しみながら心身機能の維持向上を図る。           | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          | リハビリ体操教室(ふまねっと)教室 |               |                         |                  |              |             |        |                          | あったかすリハビリ体操教室は週1回、ふまねっと教室は月2回実施できる。        |                                   |                                       |                  |  |                  |
|          |          |                      | ②併設のフィットネス倶楽部への登録・利用啓発。  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   |               |                         |                  |              |             |        |                          |  | 入居者のフィットネス登録が半数(9名)以上になる。         |                                       |                  |  |                  |
| 5        | (1)      | 安全で過ごしやすい環境づくり       | ①季節感のあるしつらえの実施。  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       | 鯉のぼり  | 夏のしつらえ        | 七夕飾り        | 秋のしつらえ      |                |          | 冬のしつらえ(クリスマス)     | 正月飾り          | 節分飾り                    | ひな飾り             | 華のしつらえ       |             |        |                          | 玄関カウンター・エレベーターホール・食堂を、季節に合ったしつらえで飾ることができる。 |                                   |                                       |                  |  |                  |
|          |          |                      | ②施設内・外の設備の定期点検およびメンテナンスを計画的に実施する。  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   | 環境整備表の作成      | 電気保安点検                  | 電気保安点検           | 電気保安点検       | 電気保安点検      | 電気保安点検 |                          |  |                                   | 環境整備表を活用して、計画的に実施することができる。            |                  |  |                  |
| 6        | (2)      | 役割のある暮らしの支援          | ①入居者の有する能力に応じた役割を選定し、声かけをはじめ掲示板や回覧を通して活動への参加を促す。                             | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       | 花壇整備(畑作業)     |             |             |                |          | 積木の冬囲い(花壇片付け)     |               | 正月用生け花(除雪作業)            | アイスキャンデー作り(除雪作業) | おひな様飾り(除雪作業) | 除雪作業        |        |                          |  | 地域や地域住民に関わりのある役割を、年間で2つ以上用意し実行する。 |                                       |                  |  |                  |
|          |          |                      | ②入居者の喜びや楽しみにつながるレクリエーションや行事を計画し、実施する。  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               | チャレンジジデー(春) | まつき祭(観覧ツアー) | ろうそくくらし(北野盆踊り) |          |                   |               | チャレンジジデー(秋)             | 餅つき大会(まつき祭)      | 書き初め(正月遊び)   | 豆まき         | 甘酒作り   |                          |  |                                   | 計画通り行事を実施することができる。                    |                  |  |                  |
| 7        | (3)      | 新規入居者獲得のための営業・広報活動強化 | ①近隣地域の包括支援センターを訪問もしくは電話での空室情報提供を行い、新規入居者・待機登録者獲得につなげる。                       | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          | 訪問電話              |               |                         |                  |              |             |        |                          | 待機者を確保し、退去後の速やかな契約手続きを行うことで、空室を最低限にとどめる。   |                                   |                                       |                  |  |                  |
|          |          |                      | ②ホームページ上で空室状況等の情報を提供する。定期的にブログをあげ、興味を持ってもらうきっかけを作る。                          | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   | HPの更新(ブログアップ) | ブログアップ                  | ブログアップ           | ブログアップ       | ブログアップ      | ブログアップ |                          |  |                                   | 半年に1回HPを更新、年に8回以上ブログをアップする。           |                  |  |                  |
| 8        | (3)      | 適正利益の確保              | ①満室18名を達成・維持する。  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   |               |                         |                  |              |             |        |                          | 待機者の確認・整理                                  |                                   |                                       | 目標稼働率97%(17.5戸)。 |  |                  |
|          |          |                      | ②コスト意識を持ち、消耗品や光熱費、暖房費  | 佐藤/能登 藤原    | 計画 |       |       |               |             |             |                |          |                   |               |                         |                  |              |             |        |                          |  |                                   | 節約の啓発                                 |                  |  | 前年 대비 -1%の削減を目指す |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 サービス付き高齢者向け住宅 ぬくもりの家たかひ [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項 | 取組み内容    | 実施担当者 |    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 中間評価 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | ゴール(達成目標) | 最終評価 | 評価内容 |
|----------|----------|-------|----------|-------|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|-----|-----|----|----|----|-----------|------|------|
|          |          |       | の節約に努める。 | 藤原    | 実施 |    |    |    |    |    |    |      |     |     |     |    |    |    |           |      |      |

事業所名(部署)

鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑

## 1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

## 2. 重点目標

- (1) 根拠に基づく介護サービスを確実に提供するための基盤を整備する。
- (2) 地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤を整備する。
- (3) 職業倫理を遵守し、自立支援を念頭においた介護サービスを提供する。
- (4) 自己課題の克服とチーム力の向上を目指し研修プログラムの充実を図る。
- (5) 効率的・安定的な事業所運営の基盤を整備する。

## 3. 事業所(係)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項             | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者 |    |
|-----|----------|-------------------|---|-------|-----|----|
|     |          |                   |   |       | 主査  | 補佐 |
| 1   | (1)      | 根拠に基づくサービス提供      | ①丁寧なアセスメントを行い、課題・ニーズを的確に捉え、自立支援の視点から、質の高いサービスを提供する。<br>②訪問後の報告を受け、次回訪問時の留意点をヘルパーに伝え、きめの細かいサービスを提供する。<br>③サービス提供後の効果を把握するため、モニタリングを実施し、サービス提供の効果や変更の必要性について確認する。           | 継続    | 米澤  | 深瀬 |
| 2   | (1)      | サービスの内容及び提供方法の標準化 | ①利用者の残存能力を活かす関わりを、ヘルパーが共通理解するために、自立支援を具体化したサービス手順書を作成する。<br>②定期的な同行訪問を行い、ケアの質の向上やサービス内容の見直しを図ることで業務改善を図る。<br>③ヘルパー会議で支援の困難な利用者についてカンファレンスを行い、サービス提供方法の詳細について意見交換し、標準化を図る。 | 継続    | 米澤  | 伊藤 |
| 3   | (2)      | サービス評価と自己研鑽の取組み   | ①より質の高いサービス提供ができるよう、各自が目標を立て、会議や研修を通じて個々の能力や技術の向上を図る。<br>③利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公表する。  | 継続    | 米澤  | 深瀬 |
| 4   | (2)      | 地域・家族との関係強化の取組み   | ①ケアマネ・家族と連携して、総合記録シートを活用し、健康管理を行い、基礎体力の維持向上を図る。<br>②茶話会や個別交流会を継続して行い、職員自身が地域を知り、学び、地域住民の潜在しているニーズを把握する。   | 新規/継続 | 伊藤  | 深瀬 |

3. 事業所(係)における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                 | 取組み内容   | 新規／継続 | 担当者 |    |
|-----|----------|-----------------------|---|-------|-----|----|
|     |          |                       |   |       | 主査  | 補佐 |
| 5   | (2)      | 利用者・家族と職員との交流促進       | ①利用者・家族と職員との繋がりを大切にし、お互いの交流を促進するため、個別での交流会を開催する。<br>②入院中の利用者へ見舞いのカードを送り、退院後の不安への軽減を図る。  | 新規／継続 | 上野  | 伊藤 |
| 6   | (3)      | 組織的・総合的な安全確保の推進       | ①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につけ安全確保に徹したサービスを提供する。<br>②「業務日誌」を活用し、報告・連絡・相談を徹底することにより、注意事項の確認もれを防ぐ。   | 継続    | 米澤  | 上野 |
| 7   | (4)      | 専門性と介護技術の向上           | ①計画的に外部研修に参加し、知識・技術の習得をはかり、事業所内で報告会を行い、内容を共有する。<br>②ヘルパー会議を月1回定例で開催し、事業所内の問題解決の協議やヘルパー内のケアの統一を図ることで、サービスの質の向上を図る。<br>③ヘルパー研修を通し、各自が講師を行うことで知識と技術の習得を図る。 | 新規／継続 | 米澤  | 深瀬 |
| 8   | (4)      | 職場環境の改善               | ①面談や訪問記録を通し、業務や人間関係等、抱える問題に気付き、感情労働への配慮・精神衛生・チーム力の向上を図る。<br>②書庫・事業所内の整理整頓を行い、業務効率をアップさせる。   | 継続    | 米澤  | 上野 |
| 9   | (5)      | 社内業務の基準化・標準化・効率化      | ①実績管理の責任・手順を明確にし、月末業務の効率を上げ、請求ミスをゼロにする。<br>②ヘルパー車の管理・業務のマニュアル化を行うことで、効率的に統一した業務が行えるようにする。<br>③介護記録のIT・TCT化を導入・促進し、働きやすさの向上と業務の効率化を図る。                   | 継続    | 深瀬  | 米澤 |
| 10  | (5)      | 利用者獲得のための営業・広報活動を強化する | ①登録者数86人(R2, 88人)新規利用者31人(R2.32人)月間述べ訪問回数900回(R2, 916回)を目標に掲げ毎月実績確認を行い、その都度収益増減の原因を明らかにする。  | 継続    | 米澤  | 上野 |
| 11  | (5)      | 適正利益の確保               | ①目標介護保険収入を37,187,000円(令和2年度 35,723,000円)月間訪問件数900回に掲げ、加算取得・交流会活動を展開する。目標達成に向け、会議で実績報告を行い、サービスの不足している状況がないか確認する。   | 継続    | 米澤  | 伊藤 |



令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動 | 取組み事項             | 取組み内容  | 実施担当者 | 期間 |                                |        |           |           |            |        |        |                                |          |          |        | ゴール(達成目標) | 最終評価  | 評価内容  |   |  |
|---------|----------|-------------------|--|-------|----|--------------------------------|--------|-----------|-----------|------------|--------|--------|--------------------------------|----------|----------|--------|-----------|---|---|---|--|
|         |          |                   |  |       | 4月 | 5月                             | 6月     | 7月        | 8月        | 9月         | 中間評価   | 10月    | 11月                            | 12月      | 1月       | 2月     |           |   |   | 3月  |  |
| 1       | (1)      | 根拠に基づくサービス提供      | ①丁寧なアセスメントを行い、課題・ニーズを的確に捉え、自立支援の視点から、質の高いサービスを提供する。            | 米澤 深瀬 | 計画 | ← 一居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する → |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← 一居宅支援計画更新後2週間以内にケアプランを更新する → |          |          |        |           |   | 従来のプランを見直し、利用者の自立支援を具体的に盛り込んだプランを遅滞なく作成する。  |   |  |
|         |          |                   | ②訪問後の報告を受け、次回訪問時の留意点をヘルパーに伝え、きめ細かいサービスを提供する。                   | 米澤 深瀬 | 計画 | ← 報告、連絡、相談を迅速に行う →             |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← 報告、連絡、相談を迅速に行う →             |          |          |        |           |   | ミーティングの内容を業務日誌に記録し、把握した課題を放置せず、改善への取り組み、評価を行うことで利用者の生活改善が実現できる。                         |   |  |
|         |          |                   | ③サービス提供後の効果を把握するため、モニタリングを実施し、サービス提供の効果や変更の必要性について確認する。        | 米澤 深瀬 | 計画 | ← モニタリングを遅れずに実施する →            |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← モニタリングを遅れずに実施する →            |          |          |        |           |   | 毎月モニタリングと都度ケアマネジャーへの報告を行い、改善点があれば速やかに居宅支援事業所、地域包括支援センターに提案する。                           |   |  |
| 2       | (1)      | サービスの内容及び提供方法の標準化 | ①利用者の残存能力を活かす関わりを、ヘルパーが共通理解するために、自立支援を具体化したサービス手順書と配置図を作成する。   | 米澤 伊藤 | 計画 | ← 手順書見直し →                     |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← 手順書見直し →                     |          |          |        |           |   | 訪問介護計画書に手順書を載せ、利用者の「できること」を盛り込み、ヘルパーの支援のポイントを示す手順書を作成する。新規利用者の手順書は初回訪問から3回目の訪問時には作成できる。 |   |  |
|         |          |                   | ②定期的な同行訪問を行い、ケアの質の向上やサービス内容の見直しを図ることで業務改善を図る。                  | 米澤 伊藤 | 計画 | 同行訪問                           | 同行訪問   | 同行訪問      | 同行訪問      | 同行訪問       | 同行訪問   | 同行訪問   | 同行訪問                           | 同行訪問     | 同行訪問     | 同行訪問   | 同行訪問      | 同行訪問  | 同行訪問後、サービス内容の見直しが必要かを迅速に判断し1週間以内にケアマネへ報告、検討ができる。  |   |  |
|         |          |                   | ③ヘルパー会議で支援の困難な利用者についてカンファレンスを行い、サービス提供方法の詳細について意見交換し、標準化を図る。   | 米澤 伊藤 | 計画 | ← カンファレンスの開催 →                 |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← カンファレンスの開催 →                 |          |          |        |           |   | 支援の困難な利用者のケースカンファレンスを開催し、課題を改善できる。(年間20件以上)   |   |  |
| 3       | (2)      | サービス評価と自己研鑽の取り組み  | ①より質の高いサービス提供ができるよう、各自が目標を立て、会議や研修を通じて個々の能力や技術の向上を図る。          | 米澤 深瀬 | 計画 | ヘルパー研修                         | ヘルパー研修 | ヘルパー研修    | ヘルパー研修    | ヘルパー研修     | ヘルパー研修 | 個別研修   | 個別研修                           | 個別研修     | 個別研修     | 個別研修   | 効果測定      | 効果測定を年1回を行い、自分が立てた目標に対するの評価を行うことで自己研鑽ができる。        |   |   |  |
|         |          |                   | ②利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公表する。                                  | 米澤 深瀬 | 計画 |                                |        |           |           |            |        |        |                                | 満足度調査票作成 | 満足度調査の実施 |        | 調査結果公表    |   | 満足度調査を実施し、「良い」「概ね良い」の回答が昨年を上回り950名以上になる。(R1年度 良い:43名 概ね良い:3名)                           |   |  |
| 4       | (2)      | 地域・家族との関係強化の取り組み  | ①ケアマネ・家族と連携して、総合記録シートを活用し、健康管理を行い、基礎体力の維持向上を図る。                | 伊藤 深瀬 | 計画 | ← ヘルパー会議で体調に関する情報交換 →          |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← ヘルパー会議で体調に関する情報交換 →          |          |          |        |           |   | 健康状況を把握して入院件数を月間3名以下にする。  |   |  |
|         |          |                   | ②茶話会や個別交流会を継続して行い、職員自身が地域を知り、学び、地域住民の潜在しているニーズを把握する。           | 伊藤 深瀬 | 計画 | 個別                             | 茶話会準備  | 茶話会(高住R1) | 茶話会(高住R2) | 茶話会(春光台地区) |        |        |                                |          |          |        |           |   | 個別  | 年3回の茶話会と個別での交流会を開催し、参加延べ人数50名を目指す。各地域の住民と交流会を行うことで、事業所を知っていただき関係性を築ける。(各回、目標参加者17名) |  |
| 5       | (2)      | 利用者・家族・職員との交流促進   | ①利用者・家族と職員との繋がりを大切にし、お互いの交流を促進するため、個別での交流会を開催する。               | 上野 伊藤 | 計画 | 交流会計画書作成                       | 案内文書配布 | 交流会実施     | 交流会実施     | 交流会実施      | 交流会実施  | 交流会実施  | 交流会実施                          | 交流会実施    | 交流会実施    | 交流会実施  | 交流会実施     | 利用者・家族、24名以上の参加を得る。(R1年度食事も参加者35名)                |   |   |  |
|         |          |                   | ②入院中の利用者へ見舞いのカードを送り、退院後の不安への軽減を図る。                             | 上野 伊藤 | 計画 | カード送付                          | カード送付  | カード送付     | カード送付     | カード送付      | カード送付  | カード送付  | カード送付                          | カード送付    | カード送付    | カード送付  | カード送付     | カード送付   | 入院中の利用者を見舞い、利用者・家族を励まし、利用再開ができる。(1入院に1回以上)  |   |  |
| 6       | (3)      | 組織的・総合的な安全確保の推進   | ①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につけ安全確保に徹したサービスを提供する。                  | 米澤 上野 | 計画 |                                |        |           |           |            |        | 集団指導参加 |                                |          |          |        |           | 集団指導の報告から管内の不適切事例等を学び職業倫理を再確認し、接遇マナーに関する苦情をゼロにする。 |   |   |  |
|         |          |                   | ②「業務日誌」を活用し、報告・連絡・相談を徹底することにより、注意事項の確認もれを防ぐ。                   | 米澤 上野 | 計画 | ← 「業務日誌」の活用 →                  |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← 「業務日誌」の活用 →                  |          |          |        |           |   | 訪問前の指示、訪問後の報告、連絡を密にすることできめ細かい、サービスの提供ができる。  |   |  |
| 7       | (4)      | 専門性と介護技術の向上       | ①計画的な外部研修の参加と、内部研修で各自が知識・技術の習得を図る。                             | 米澤 深瀬 | 計画 | 内部研修参加                         | 外部研修参加 | 内部研修参加    | 内部研修参加    | 内部研修参加     | 外部研修参加 |        | 内部研修参加                         | 内部研修参加   | 内部研修参加   | 内部研修参加 | 内部研修参加    | 年2回以上、外部研修に参加し、事業所内報告会で他のヘルパーと知識を共有する。            |   |   |  |
|         |          |                   | ②ヘルパー会議を月1回定例で開催し、事業所内の問題解決の協議やヘルパー内のケアの統一を図ることで、サービスの質の向上を図る。 | 米澤 深瀬 | 計画 | ← ヘルパー会議の開催 →                  |        |           |           |            |        | 中間評価   | ← ヘルパー会議の開催 →                  |          |          |        |           |   | ヘルパー会議を月1回開催し、他事業所と連携し、利用者ニーズに即したサービスを提供する。居宅・包括に対しサービス向上について年間10件以上の提案ができる。            |   |  |
|         |          |                   | ③ヘルパー研修を通し、各自が講師を行うことで知識と技術の習得を図る。                             | 米澤 深瀬 | 計画 | 準備/実施                          | 実施     |           |           |            | 準備/実施  | 準備/実施  |                                | 準備/実施    |          |        |           |   | 講師をするために必要な情報や準備を円滑に行い、自分自身がしっかりと理解し伝えることができる。  |   |  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑 [評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:アクションしたが結果不十分、D:まったくアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画No. | 重点目標との連動 | 取組み事項                | 取り組み内容   | 実施担当者 |    | 4月            | 5月     | 6月         | 7月      | 8月     | 9月     | 中間評価      | 10月    | 11月    | 12月        | 1月    | 2月 | 3月 | ゴール(達成目標) | 最終評価  | 評価内容 |  |
|---------|----------|----------------------|--|-------|----|---------------|--------|------------|---------|--------|--------|-----------|--------|--------|------------|-------|----|----|-----------|---|------|--|
|         |          |                      |  |       |    |               |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           |   |      |  |
| 8       | (4)      | 職場環境の改善              | ①面談や訪問記録を通し、業務や人間関係等、抱える問題に気づき、感情労働への配慮・精神衛生・チーム力の向上を図る。<br>②書庫・事業所内の整理整頓を行い、業務効率をアップさせる。                | 米澤上野  | 計画 | 訪問記録の活用       |        | 面談         | 訪問記録の活用 |        |        |           |        | 面談     | 訪問記録の活用    |       |    |    |           | 訪問記録から困難ケースを把握し、ヘルパーに日常的に声をかけることで悩みや課題の早期相談・解決への糸口を探り、深刻化を予防する。 |      |  |
|         |          |                      |  |       | 実施 |               |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           |   |      | ファイルや書類の整理整頓を行い、業務の効率を上げる。(停止者の事務処理等のマニュアル化を図り、1ヶ月内に受理を行う) |
| 9       | (5)      | 社内業務の基準化・標準化・効率化     | ①実績管理の責任・手順を明確にし、月末業務の効率を上げ、請求ミスゼロにする。   | 深瀬米澤  | 計画 | マニュアルの見直し     |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           | 日々の訪問チェックを確実にし、月末業務の負担を軽減し、請求ミスゼロにする。                           |      |  |
|         |          |                      |  |       | 実施 |               |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           |   |      |  |
| 9       | (5)      | 社内業務の基準化・標準化・効率化     | ②ヘルパー車の管理・業務のマニュアル化を行うことで、効率的に統一した業務が行えるようにする。   | 深瀬米澤  | 計画 | 公用車の管理マニュアル作成 | 公用車の管理 | 公用車の管理業務管理 | 公用車の管理  | 公用車の管理 | 公用車の管理 | マニュアルの見直し | 公用車の管理 | 公用車の管理 |            |       |    |    | マニュアルの評価  | 公用車の管理手順、業務の手順を作成する。  |      |  |
|         |          |                      |  |       | 実施 |               |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           |   |      |  |
| 9       | (5)      | 社内業務の基準化・標準化・効率化     | ③介護記録のIT・ICTの導入・促進し働きやすさの向上と効率化を図る。  | 深瀬米澤  | 計画 |               |        |            |         |        |        |           | IT導入準備 | IT導入準備 | 介護記録のIT化導入 |       |    |    |           | 介護記録のIT・ICT化を導入、実用することで記録、報告の漏れを防ぎ業務の効率化が図れる。                   |      |  |
|         |          |                      |  |       | 実施 |               |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           |   |      |  |
| 10      | (5)      | 利用者獲得の為の営業・広報活動を強化する | 登録者数88人(R2.88人)新規利用者32人(R2.32人)月間訪→訪問回数900回(R2.916回)を目標に掲げ毎月実績確認を行い、その都度収益増減の原因を明らかにする。                  | 米澤上野  | 計画 |               | 具体策検討  |            | 具体策検討   |        |        |           |        | 具体策検討  |            | 具体策検討 |    |    |           | 茶話会で訪問介護についてのPRを行い、ヘルパー業務の周知を図り、新規利用者32名に繋げる。(R2新規32名)          |      |  |
|         |          |                      |  |       | 実施 |               |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           |   |      |  |
| 11      | (5)      | 適正収益の確保              | ①目標収益を35,715,000円(前年度35,715,000円)月間訪問件数300件に掲げ、加算取得・茶話会活動を展開する。目標達成に向け、会議で実績報告を行い、サービスの不足している状況がないか確認する。 | 米澤伊藤  | 計画 |               |        | 茶話会        | 茶話会     | 茶話会    |        |           |        |        |            |       |    |    |           | 月の訪問件数目標900回/月<br>目標収益35,715,000円を達成する。                         |      |  |
|         |          |                      |  |       | 実施 |               |        |            |         |        |        |           |        |        |            |       |    |    |           |   |      |  |

事業所名(部署)

地域介護予防活動支援事業 ・ 地域リハビリテーション活動支援事業 ・ 介護予防普及啓発支援事業 ・ 法人自主事業

1. 基本方針

基本方針(さつき会)

「良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力を創る」

総合事業 基本目標(鷹栖町)

「高齢者が生涯活躍し、助け合い・支えあいによるお互いさまのまちづくり」

2. 重点目標

- (1) 住民が主体となって参加し、住民が住民を支える仕組みを作り、地域に根差した「楽しい」介護予防活動を推進
- (2) 地域における介護予防の取り組みの強化を図る
- (3) 医学的根拠に基づいた運動指導等を実施
- (4) 根拠に基づいた知識を住民に教育し、ヘルスリテラシーを高める

3. 事業所における取組み

| No. | 重点目標との連動 | 取組み事項  | 取組み内容   | 新規/継続 | 担当者 |    |
|-----|----------|--|---|-------|-----|----|
|     |          |  |   |       | 主査  | 補佐 |
| 1   | (1)      | ① あったかすリハビリ体操の普及<br>② あったかすリハビリ体操指導士の養成<br>③ 住民主体の通いの場の立ち上げ・活動支援<br>④ サーキットトレーニングの運営<br>⑤ 学会発表<br>(地域介護予防活動支援事業) | ① 体操指導士による住民主体のあったかすリハビリ体操教室を月10団体運営する(R2年度平均4.9回/月)<br>② 体操指導士のための定期的なミーティング(年2回)や復習会(年1回)の開催、住民主体の通いの場の活動支援(月1回)<br>③ あったかすリハビリ体操指導士養成講座の開催を開催し、新規体操指導士を10名養成する(R2年度9名)<br>④ 月実利用人数100名を目標に、サーキットトレーニングでの運動指導を行う(R2年度平均43.1名/月)<br>⑤ コレカラ利用促進のためのイベントを年5回開催し、それぞれ3名の新規利用登録につなげる(チャレンジデー、無料体験会、男の運動教室等)<br>⑥ 鷹栖町と協働して、介護保険証交付時にコレカラ利用促進のための広報活動を月1回実施する(新規)<br>⑦ 北海道理学療法学会での成果発表 | 新規/継続 | 大河原 | 大矢 |

3. 事業所における取組み

|   |     |  |  |       |     |     |
|---|-----|--|--|-------|-----|-----|
| 2 | (2) | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 身体機能評価の実施</li> <li>② 包括支援センターからの相談対応</li> <li>③ 町主催の体操教室の活動支援</li> <li>④ 一人暮らし高齢者への介護予防活動</li> <li>⑤ フレイル会議の開催</li> <li>⑥ 老人会における介護予防活動</li> <li>⑦ 学会発表</li> </ul> <p>(地域リハビリテーション活動支援事業)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 月3名を目標に、コレカラ新規利用者に身体機能評価を実施し、適切な運動内容の指導 (R2年度平均1.8名)</li> <li>② 月1件を目標に、地域包括支援センターからの相談対応を行う (R2年度0件)</li> <li>③ 町主催の体操教室の見学、参加者の状況把握を年3回実施する (R2年度0回)</li> <li>④ 一人暮らし高齢者へ運動プログラムの提供を月1回実施する</li> <li>⑤ フレイル会議を3ヶ月に1回開催する (理学療法士、包括支援センター、保健推進係)</li> <li>⑥ 年15団体を目標に、老人会に出向き、体力測定会や健康講話の実施 (R2年度0団体)</li> <li>⑦ 日本予防理学療法学会での成果発表</li> </ul> | 新規/継続 | 大矢  | 大河原 |
| 3 | (3) | <ul style="list-style-type: none"> <li>① レッドコード教室の運営</li> <li>② コレカラサポーターの活動支援</li> <li>③ フレイル高齢者への介護予防の推進</li> </ul> <p>(介護予防普及啓発支援事業)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 月実利用人数62名を目標に、レッドコード教室での運動指導を行う (R2年度平均61.5名)</li> <li>② 月実人数10名を目標に、コレカラサポーターの活動再開、復習会の実施 (R2年度未実施)</li> <li>③ 各講座につき10名のフレイル高齢者に対する運動教室や講習会を年2回開催する (新規)</li> <li>④ 月実利用人数20名を目標に、くちトレブースを運営する (新規)</li> </ul>  | 新規/継続 | 大河原 | 大矢  |
| 4 | (4) | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 介護予防に関する基本的な知識の普及啓発</li> <li>② 互助活動の推進</li> <li>③ オンラインを活用した介護予防の推進</li> </ul> <p>(法人自主事業)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 月実人数60名を目標に、レッドコード教室にてヘルスリテラシー講座の実施 (R2年度未実施)</li> <li>② 月実人数10名の継続利用を目標に、健康手帳の配布および利用促進する</li> <li>③ 2ヶ月に1回、フレイルに関する情報の掲示</li> <li>④ ボランティア交流会 (目標20名) やボランティアによる大掃除 (目標15名) 等の実施 (R2年度未実施)</li> <li>⑤ 月10名の利用登録を目標に、コレカラの公式LINEアカウントを運用する (新規)</li> </ul>   | 新規/継続 | 大河原 | 大矢  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名

地域介護予防活動支援事業・地域リハビリテーション活動支援事業  
介護予防普及啓発支援事業・法人自主事業

[評価基準] S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組む事項  | 取組み内容  | 実施担当者 | 4月 |           |          |      |           |          | 中間評価   | 10月   |     |     |    |    |    | ゴール(達成目標)  | 最終評価        |  |               |  |
|----------|----------|--|--|-------|----|-----------|----------|------|-----------|----------|--------|-------|-----|-----|----|----|----|------------|-------------|--|---------------|--|
|          |          |  |  |       | 4月 | 5月        | 6月       | 7月   | 8月        | 9月       |        | 10月   | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |            |             |  |               |  |
| 1        | (1)      | ① あったかすリハビリ体操の普及<br>② あったかすリハビリ体操指導士の養成<br>③ 住民主体の通いの場の立ち上げ・活動支援<br>④ サーキットトレーニングの運営<br>⑤ 学会発表<br><br>(地域介護予防活動支援事業)                             | ①体操指導士による住民主体のあったかすリハビリ体操教室を月10団体運営する                              | 大河原大矢 | 計画 |           |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            | 指導団体 10団体/月 |  |               |  |
|          |          |  | ②体操指導士のための定期的なミーティング(年2回)や復習会(年1回)の開催、住民主体の通いの場の活動支援(月1回)          | 大河原大矢 | 計画 | 高齢者住宅活動支援 | 木曜教室活動支援 | 復習会  | 女性サロン活動支援 | 木曜教室活動支援 | ミーティング |       |     |     |    |    |    |            |             | 木曜教室支援 1回/3ヶ月<br>ミーティング 2回/年<br>復習会 1回/年 |               |  |
|          |          |  | ③あったかすリハビリ体操指導士養成講座の開催を開催し、新規体操指導士を10名養成する                         | 大河原大矢 | 計画 |           |          |      |           |          | チラシ作成  | チラシ配布 |     |     |    |    |    |            |             |  | 新規参加人数 10名/月  |  |
|          |          |  | ④月実利用人数100名を目標に、サーキットトレーニングでの運動指導を行う                               | 大河原大矢 | 計画 |           |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 実利用人数 100名/月  |  |
|          |          |  | ⑤コレカラ利用促進のためのイベントを年5回開催し、それぞれ3名の新規利用登録につなげる(チャレンジデー、無料体験会、男の運動教室等) | 大河原大矢 | 計画 |           | チャレンジデー  |      | 男の運動教室    | 男の運動教室   |        | 無料体験会 |     |     |    |    |    |            |             |  | 新規登録者 3名/イベント |  |
|          |          |  | ⑥鷹栖町と協働して、介護保険証交付時にコレカラ利用促進のための広報活動を月1回実施する                        | 大河原大矢 | 計画 | 文書配布      | 文書配布     | 文書配布 | 文書配布      | 文書配布     | 文書配布   | 文書配布  |     |     |    |    |    |            |             |  | 文書配布 1回/月     |  |
|          |          |  | ⑦北海道理学療法学会での成果発表   | 大河原大矢 | 計画 |           | 学会発表     |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 成果発表          |  |
| 2        | (2)      | ① 身体機能評価の実施<br>② 包括支援センターからの相談対応<br>③ 町主催の体操教室の活動支援<br>④ 一人暮らし高齢者への介護予防活動<br>⑤ フレイル会議の開催<br>⑥ 老人会における介護予防活動<br>⑦ 学会発表<br><br>(地域リハビリテーション活動支援事業) | ①月3名を目標に、コレカラ新規利用者に身体機能評価を実施し、適切な運動内容の指導                           | 大河原大矢 | 計画 |           |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            | 評価人数 3名/月   |  |               |  |
|          |          |  | ②月1件を目標に、地域包括支援センターからの相談対応を行う                                      | 大矢大河原 | 計画 |           |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             | 相談件数 1件/月                                |               |  |
|          |          |  | ③町主催の体操教室の見学、参加者の状況把握を年3回実施する                                      | 大矢大河原 | 計画 |           | 見学       |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 見学 3回/年       |  |
|          |          |  | ④一人暮らし高齢者へ運動プログラムの提供を月1回実施する                                       | 大河原大矢 | 計画 | 配布        | 配布       | 配布   | 配布        | 配布       | 配布     | 配布    |     |     |    |    |    |            |             |  | 配布 1回/月       |  |
|          |          |  | ⑤フレイル会議を3ヶ月に1回開催する(理学療法士、包括支援センター、保健推進係)                           | 大河原大矢 | 計画 | 会議開催      |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 会議 1回/3ヶ月     |  |
|          |          |  | ⑥年15団体を目標に、老人会に出向き、体力測定会や健康講話の実施                                   | 大河原大矢 | 計画 |           |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 実施団体 15団体/年   |  |
|          |          |  | ⑦日本予防理学療法学会での成果発表  | 大河原大矢 | 計画 |           | 抄録提出     |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 成果発表          |  |
| 3        | (3)      | ① レッドコード教室の運営<br>② コレカラサポーターの活動支援<br>③ フレイル高齢者への介護予防の推進<br><br>(介護予防普及啓発支援事業)  | ①月実利用人数62名を目標に、レッドコード教室での運動指導を行う                                   | 大河原大矢 | 計画 | R3上半期教室開催 |          |      |           |          | 申込み    |       |     |     |    |    |    |            | 参加人数 62名/月  |  |               |  |
|          |          |  | ②月実人数10名を目標に、コレカラサポーターの活動再開、復習会の実施                                 | 大河原大矢 | 計画 | 復習会       | 復習会      | 活動再開 |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             | 参加人数 10名/講座                              |               |  |
|          |          |  | ③各講座につき10名のフレイル高齢者に対する運動教室や講習会を年2回開催する                             | 大河原大矢 | 計画 |           |          | 運動教室 |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 参加人数 10名/講座   |  |
|          |          |  | ④月実利用人数20名を目標に、くちトペースを運営する   | 大河原大矢 | 計画 |           |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    |            |             |  | 参加人数 20名/月    |  |
|          |          |  | ①月実人数60名を目標に、レッドコード教室にてヘルストラナシー講座の実施                               | 大河原大矢 | 計画 | R3上半期教室開催 |          |      |           |          |        |       |     |     |    |    |    | 参加人数 60名/月 |             |  |               |  |

令和3年度 部門(事業所)別活動計画

部門(事業所)名 地域介護予防活動支援事業・地域リハビリテーション活動支援事業  
介護予防普及啓発支援事業・法人自主事業

[評価基準]S:チャレンジした企画が成功 A:期待以上の結果 B:期待どおりの結果 C:取り組んだ D:全くアクションなし ※ゴールは定量化し、証がみえる表現とする。

| 事業計画 No. | 重点目標との連動 | 取組み事項   | 取組み内容                                     | 実施担当者 |        | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月      | 中間評価   | 10月    | 11月   | 12月   | 1月     | 2月     | 3月     | ゴール(達成目標)  | 最終評価   |           |                          |  |
|----------|----------|---|---|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|------------|--------|-----------|--------------------------|--|
|          |          |   |   |       |        |        |        |        |        |        |         |        |        |       |       |        |        |        |            |        |           |                          |  |
| 4        | (4)      | ① 介護予防に関する基本的な知識の普及啓発<br>② 互助活動の推進<br>③ オンラインを活用した介護予防の推進<br><br>(法人自主事業) | ②月実人数10名の継続利用を目標に、健康手帳の配布および利用促進する        | 大河原大矢 | 計画     |        |        |        |        |        |         |        |        |       |       |        |        |        | 継続利用 10名/月 |        |           |                          |  |
|          |          |   |   | 実施    | 継続人数名  | 継続人数名  | 継続人数名  | 継続人数名  | 継続人数名  | 継続人数名  |         |        |        | 継続人数名 | 継続人数名 | 継続人数名  | 継続人数名  | 継続人数名  |            |        |           |                          |  |
|          |          |   | ③2ヶ月に1回、フレイルに関する情報の掲示                     | 大河原大矢 | 計画     |        | 掲示     |        | 掲示     |        | 掲示      |        |        |       |       | 掲示     |        | 掲示     |            | 掲示     | 掲示 1回/2ヶ月 |                          |  |
|          |          |   |   | 実施    |        | 実施 非実施 |        | 実施 非実施 |        | 実施 非実施 |         |        |        |       |       | 実施 非実施 |        | 実施 非実施 |            | 実施 非実施 |           |                          |  |
|          |          |   | ④ボランティア交流会(目標20名)やボランティアによる大掃除(目標15名)等の実施 | 大河原大矢 | 計画     |        | 大掃除    |        |        |        | ログクらしらい |        |        |       |       |        |        | 大掃除    |            |        | 交流会       | 大掃除 15名/1回<br>交流会 20名/1回 |  |
|          |          |   |   | 実施    |        | 参加人数名  |        |        |        |        | 参加人数名   |        |        |       |       |        |        | 参加人数名  |            |        | 継続人数名     |                          |  |
|          |          |   | ⑤ 月10名の利用登録を目標に、コレカラの公式LINEアカウントを運用する     | 大河原大矢 | 計画     |        |        |        |        |        |         |        |        |       |       |        |        |        |            |        |           | 登録者数 10名/月               |  |
|          |          |   |   | 実施    | 新規登録者名 | 新規登録者名 | 新規登録者名 | 新規登録者名 | 新規登録者名 | 新規登録者名 | 新規登録者名  | 新規登録者名 | 新規登録者名 |       |       | 新規登録者名 | 新規登録者名 | 新規登録者名 | 新規登録者名     | 新規登録者名 | 新規登録者名    |                          |  |

令和3年度 行事・研修予定表

| 年次       | R2          | 令和3年度               |                  |                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |           |
|----------|-------------|---------------------|------------------|--------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------|
| 月        | 3月          | 4月                  | 5月               | 6月                 | 7月                                 | 8月                                 | 9月                                 | 10月                                | 11月                                | 12月                                | 1月                                 | 2月                                 | 3月                                 |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |                                    |           |
| 日        | 19<br>20-31 | 1<br>1-6            | 21<br>21         | 29<br>29           | 1<br>1                             | 10<br>10                           | 24-29<br>24-29                     | 11<br>11                           | 20<br>20                           | 28<br>28                           | 6<br>6                             | 19<br>19                           | 27<br>27                           | 7<br>7                             | 16<br>16                           | 24<br>24                           | 31<br>31                           | 7<br>7                             | 14<br>14                           | 22<br>22                           | 29<br>29                           | 5<br>5                             | 12<br>12                           | 19<br>19                           |           |
| 法人全体     | 予算算理事       | 新任職員研修<br>入社式・指令交付式 | 新任職員研修<br>新任職員研修 | 総合職昇格試験<br>総合職昇格試験 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 | 令和2年度分サービス向上発表会(延期分)<br>障がい者雇用状況報告 |           |
| 総務課      | 補助金事務実績報告   | 補助金事務実績報告           | 補助金事務実績報告        | 補助金事務実績報告          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告                          | 補助金事務実績報告 |
| さつき苑     | 外国人受け入れ研修   | 外国人受け入れ研修           | 外国人受け入れ研修        | 外国人受け入れ研修          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修                          | 外国人受け入れ研修 |
| なごみの家    | ひな祭り        | ひな祭り                | ひな祭り             | ひな祭り               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り      |
| めぐもりの家えん | ひな祭り        | ひな祭り                | ひな祭り             | ひな祭り               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り                               | ひな祭り      |
| デイセンター   | 新任職員研修(法人)  | 新任職員研修(法人)          | 新任職員研修(法人)       | 新任職員研修(法人)         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         | 新任職員研修(法人)                         |           |
| ステーション   | 利用者個別交流     | 利用者個別交流             | 利用者個別交流          | 利用者個別交流            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流                            | 利用者個別交流   |
| 居宅介護支援   | 法令改正研修      | 法令改正研修              | 法令改正研修           | 法令改正研修             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修                             | 法令改正研修    |
| サ高住・総合事業 | 消防設備点検      | 消防設備点検              | 消防設備点検           | 消防設備点検             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検                             | 消防設備点検    |

令和3年度  
(第48期)  
資金収支予算書

作成日：令和2年3月19日

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人 さつき会



社会福祉事業区分 資金収支予算書(当初予算)

(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

| 勘定科目                            |               | 予算額(A)      | 前年度予算額(B)   | 増減(A)-(B)   |
|---------------------------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 事業活動による収支                       | 収入            |             |             |             |
|                                 | 介護保険事業収入      | 684,709,000 | 702,471,000 | △17,762,000 |
|                                 | 老人福祉事業収入      | 23,664,000  | 23,411,000  | 253,000     |
|                                 | その他事業収入       | 13,914,000  | 13,710,000  | 204,000     |
|                                 | 経常経費寄付金収入     | 100,000     | 295,000     | △195,000    |
|                                 | その他の収入        | 3,812,000   | 5,993,000   | △2,181,000  |
|                                 | 事業活動収入計(1)    | 726,199,000 | 745,880,000 | △19,681,000 |
| 支出                              | 人件費支出         | 468,080,000 | 454,026,000 | 14,054,000  |
|                                 | 事業費支出         | 106,722,000 | 106,924,000 | △202,000    |
|                                 | 事務費支出         | 93,519,000  | 108,233,000 | △14,714,000 |
|                                 | 利用者負担軽減額      | 1,007,000   | 1,204,000   | △197,000    |
|                                 | 支払利息支出        | 1,312,000   | 1,017,000   | 295,000     |
|                                 | その他の支出        | 1,001,000   | 1,038,000   | △37,000     |
| 事業活動支出計(2)                      | 671,641,000   | 672,442,000 | △801,000    |             |
| 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)           | 54,558,000    | 73,438,000  | △18,880,000 |             |
| 施設整備等による収支                      | 収入            |             |             |             |
|                                 | 施設整備等補助金収入    | 11,466,000  | 19,865,000  | △8,399,000  |
|                                 | 施設整備等収入計(4)   | 11,466,000  | 19,865,000  | △8,399,000  |
|                                 | 支出            |             |             |             |
|                                 | 設備資金借入金元金償還支出 | 13,769,000  | 13,769,000  | 0           |
| 固定資産取得支出                        | 33,002,000    | 36,960,000  | △3,958,000  |             |
| 施設整備等支出計(5)                     | 46,771,000    | 50,729,000  | △3,958,000  |             |
| 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)          | △35,305,000   | △30,864,000 | △4,441,000  |             |
| その他の活動による収支                     | 収入            |             |             |             |
|                                 | 積立資産取崩収入      | 1,000,000   | 2,014,000   | △1,014,000  |
|                                 | その他の活動収入計(7)  | 1,000,000   | 2,014,000   | △1,014,000  |
|                                 | 支出            |             |             |             |
| 積立資産支出                          | 8,320,000     | 38,071,000  | △29,751,000 |             |
| その他の活動支出計(8)                    | 8,320,000     | 38,071,000  | △29,751,000 |             |
| その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)         | △7,320,000    | △36,057,000 | 28,737,000  |             |
| 予備費支出(10)                       |               |             |             |             |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | 11,933,000    | 6,517,000   | 5,416,000   |             |
| 前期末支払資金残高(12)                   | 238,979,828   | 232,462,828 | 6,517,000   |             |
| 当期末支払資金残高(11)+(12)              | 250,912,828   | 238,979,828 | 11,933,000  |             |